



親・支援者から見た障害者虐待
あるいは不適切な対応に関する実態調査
〈結果2〉自由記述による事例

■自由記述の原文のまま。読み取り不明は○○、固有名詞は●●、文中①いつ、②どこで、③だれに、④どんなことを、⑤なぜ気がついたか、⑥どこに相談したか、⑦解決したか、⑧そのあとどうしたか、⑨そのことをどう思うか、⑩なぜおこった。

事例1 自閉症（重度）

①家から車で20分後の街の中心地に祖母の家があり、長男は現在35歳でその頃小学部5、6年位から一人で自転車に乗って中心地の繁華街に目を盗んでは抜け出し、スーパーや、○○屋さんに入って、好きな菓子を欲しいから取って食べるという事が再々ありました。歩き始めて少し立った1才3カ月頃には、もう多重に規制が効○○けられる位でした。店の人は長男は自閉症なので重度であっても見たところ、そう重くもないと思ったのか、障害がないと見たのか、万引きだと思われ、○○を突かれ地面に倒した様で、祖母の家にいつの時も泣かない子供が泣いて、「ワーン、ワーン」と入っていった様でした。私は家から現場まで捜し回り、店員が数名を笑いながら道路で、その様子をおしおきをしてやるとばかりに、笑いころげている所に出くわしました。まさか自分の子供がそんな目に遇っているとは、思わないで、その場を通り過ぎてしまいました。私は現場を直視していないので、確かな事も言えず、次の日問はず、時間すらもなし、子供には可哀相な事をしたと、その時ばかりは思いました。いつも行方不明に○○○、行く先々で「しっし」と動物を扱う様に店から出されるのを見た事があります。家の物も一瞬に出てしまうので目が届かず、解らない人がその様な事をするのも仕方ないと思うのですが、○○なる子供を手にかけるのは許せません。私が長男（障害当事者）が住まう近所の住人から、障害の無理理解から、○○になる厭がらせを受けました。障害の事が解らないのと、共有地の既得権のある持ち物の件で了解の上解決にしている土地の事を不服とする事が絡み、多動で重度障害児の起こした、めったにない迷惑行為を吹聴される等の親切人や、○○○○をした人使いも全然ない○○で暮らすには、大変な忍耐力や、精神力のいる○○○でした。耐え難い苦痛でこの人達は、人間なのかと思う程でした。注目される、厭な顔で睨む、おかしな顔は日常的でした。とうとう爆発して、大喧嘩になり、その後は吹き出す様に住民と言い争う事が続きました。何の理由も言わないで、喧嘩をふっかける行為に、(道を歩いていると、近所の住民から音を鳴らされる)車を出すとわざと車を対抗させてくる、歩いていると家の中から、わざと厭がらせととれる、その家の住人が出てくる等)理不尽も甚だしい事を受けました(自治会、市、県、警察、県議会、県の社会福祉協議会、弁護士、連合自治会)。効き目のありそうな機関を巡りました。が、強力な手立てとは、なりません。効き目のありそうな事をやってみても続く、原因は何か○○と考えると近所は○○ばし、人は10人10色という事で片づけられている事ではないかと思われ。重度障害者を抱える保護者にとっては、○常になって人権問題です。現在の地に移り住んで23年の間、苦しみ、自分の周りの○○で○○整備が遅々としていましたが進み、表に出せる様になって13年位です。引越すには、長男の事での様な設備、周りの条件が必要ですし、昼食もなしでは、叶わない事でした。警察に訴えると声なき声という事でしたが、本当だろうか疑念を持ちました。こんな理不尽な事は、許せません。

事例2 自閉症（重度）

中学の時に学校の役員をやっていたのでよくよく学校に行っていました。ある日、息子の笑い声がきこえ(おかしくて笑っているのではない。笑いが止まらない)のぞいて見ると、ちょうど担任が「うるせえぞ!と足でけているのを見ました。回りに生徒もいるし、他の先生方がいるのに、それに対して何も言いませんでした。血の気が引く思いでした。私とはとても仲よくしている先生でした。家に帰ってから、信頼している先生に相談し、どうしたら良いかとつたえると、連絡帳に、今日、見に行きましたと書いたらわかるのではないかとアドバイスももらい、そのようにしました。その先生はその他にも、他の子をひいきや、うちの息子のあたまをぶっていると同級生の子から聞いた事があります。そのことは、その子の親が、先生に直接言ってくれ、家に、言い訳に来た事があります。やはり、先生など見てもらっているという引け目から、なかなか強く言って行けません。学校の先生達も、たぶん目になっているのだと思いますが、同僚と言う事もあり、表に出さないのだと思います。言葉に出せない子など、何をされても

何も言えないので、どこにあずけても、とても心配です。

事例3 自閉症（重度）

・高校で2年の時、学校に2日宿泊する課題があり、参加。終了後、帰宅して、異常に荒れた。何があったのか先生からは聞けず。いじめとは違うかもしれないが、強要されたと感じたか○○(本人は言葉がない)
・施設入所後、1.こうがん炎になった。多分けられたのだと思う。2.中指骨折。いづれも、通常けがするところでないのに、何らかの暴力だと思ふ。施設がわにいくら聞いても、内容、原因不明。ただちに治療した。いわゆる継続的いじめは経験ないが、こうした突発的(?)暴力による場合、関係者に隠されると、真相はわからない。
・施設で、ひっかきやかみつき傷は毎度のことである。これは多分他の入所者によるものと思われる。この場合も、施設側は、加害者○○は教えない はっきりわかるいじめは、幸い、これ迄経験していません。

事例4 自閉症（重度）

S55、小学1年生の頃、送りむかえの途中 通学路で近くの小学生にランドセルの中味を調べられたり、歩き方や声をまねされた。知っている小学生だったので、障害の事を教えた。H2、中学2年の頃 トイレへ何度も行くこだわりがあり、普通学級の生徒にからかわれ、馬乗りになって床に押しつけられた。クラスの先生が気がついてくれた。

事例5 自閉症（重度）

・H20年、職務先で、雇用企業の職員に、何度注意してもわかってもらえないとバ声をあびせられたり、目の前でバケツを投げたり、追いかけられたりした。地元の○・が気がついた、雇用してもらっている弱みできつろ言えず、迷惑をかけるからと就労をやめた。本当はかわり方をきっちり伝えて、本人にも何度も教えて欲しかった。企業の上の人は理解していても、現場の職員にまできっちり伝わってなかったと思う。非常に残念でした。現在は違う職場に通っていて、とてもあたたかく見守ってもらって幸せだが収入は半減、勤務時間も短くなった。本人は今の方が幸せだと思う。表情がとてもよくなった事が唯一の救いです。
・就労継続A・Bの○○○に通う女性です。両親共亡きあと妹さんがかわっておられますが、金銭的に困っておられるみたいで、姉の年金等を使いこんでいる事が通○○○の職員やケアホームの職員からの相談でわかりました。(地元の相談支援○○者と育成会と通所と市の福祉職員)ケアホームの職員がケース会議を開き、何度も会議を開いた結果、後見人の手続きをし、妹さんからの金銭的虐待を阻止する事が出来ました。唯一の身内から受けた事で本人はどう思ったか複雑ですが、救えてよかったです。

事例6 自閉症（重度）

13年前、障害児学級の教室で、障坦の教室、朝教室に行くと、後ろにマットや遊具を積み上げてロープをはって立入禁止にしていた。子どもがロープをくぐってマットにのぼろうとしたら、すごい顔をして、入っちゃだめ!!と子どもをたたいた(私はずっと教室まで送っていつていました)こんな荷物を積んであぶないし、入るという方がおかしいでしょ、と抗議したら、だからロープをはってるんです、とか言っていました。話しが通じないので、教頭、校長、教育委員会にも言ったけれど、教師を指導するとの返答がもらえなかった。運が悪いというか、弱い立場の人間が被害を受けるのだと思いました。結局、主人の両親の面倒を見はしてはいけなこともあって、他○○に引越しました。その教師は退職したあとやめたと聞きました。定年まで2-3年という年齢でした。指導能力がないので、障坦にまわされたようでしたし、うわさの届かない市内にも離れている私どもが○○校に転動させたようでした。

事例7 自閉症（重度）

約7年前、家の中で父親から「お前とは一緒に暮らせない!」「ちかよるな!」などの暴言をはかれた。父親が食事をしていると近づいた子供に「さわるな!」と言いながら突飛ばした。ニラムなどはいつもしていた。子供の障害が分かり、統合失調症になってしまった。保健センター児童相談所に行きました。私は子供を連れて、離婚しました。

事例8 自閉症（重度）

平成8年頃、通所施設送迎バス乗り場 駅前での乗降で、高校生からかわれ、いじわるされる。本人は相手をよく覚えていて、油断している相手に自分がされた通りの事をして、相手が施設職員に通報。本人は弁解出来ず、一方的に悪者にされ、又、施設の職員も味方にならず、バスに乗せてもらえなくなり、自転車で通うようになる。その後、施設に親が呼び出され、施設長から高校長からの苦情を全部そのまま親に言われ、こちらは障害のある子供なので、相手の高校にはその事情を話してもらえたのか聞かぬが「そんな事は出来る訳がない」と言われビックリ。その後、別の通所施設を見つけ、移る。現在は何も問題なく安心して通所しています。前の施設の時はいじめられ、本人はくやしがいじめた相手には手が出せず、自分より弱い子に手を出すとそこを所だけを見てすぐ親を呼びつけ、苦情を言われ、最初にいじわるをした子には何も言わない様子で親として納得出来なかった。

事例9 自閉症（重度）

①養護学校小学部2年生の頃から、本人が私に付いて来ないでと言うようになってから、1人で出掛ける事が多くなり、その頃からいじめられる事が多くなりました。小4の時、近くの公園に連れ込まれ、上半身裸にされ、なぐる蹴られる。複数の地域の小学校に通う生徒です。たまたまそれを見た人が、本人を可愛がってくれたPTAの会長さんでしたので、学校に知らせ、やった子の事もしていたので、後日親と謝罪に来ました。②やはり小4の時、遠くに息子が見えたので、何って行こうと思ったら、ずっと脇から出て来た子がいきなり飛蹴りをするのが見えました。大声を出し、走って行って「何年何組の子、学校に行くから」と言っている内に逃げてしまいました。あきらかに普通と違う我子は、いじめのターゲットになったのだと思います。この他にも色々ありましたが、この事を思い出すたび、身震いするほど何故何もしない子に、とくやしさと我子が不憫に思えて……。地元の学校に特学が無かったのも、ひとつの要因かと。小5になり、急激に身長が伸び、体が大きくなってからは、言葉でからかわれる事があっても、暴力になる事は無くなって来ました。☆施設を運営しているの、性的虐待を受けた例も聞いております。

事例10 自閉症（重度）

小学生のころ、障害の特性（視覚障害、多動、えん下機能の低下など）を知らせてあったにもかかわらず、①校外に勝手に出ていってしまい、がけ下に落ちそうになった。②ひなん用すべり台からの転落 ③給食時、のどにつまらせる、の行動があったとき、教員のかんとく、見守りの不注意を全く反省する態度もなく、言っただけ、体罰はナシ）であった。幸い大きなけがもなかったこともあって、うやむやになってしまった。当時は重い障害をもっている子どもを面倒みてもらっているという気持ちが少なからずあって、何も言えない状況であった。

事例11 自閉症（重度）

①施設 ②登園支援時間内 ③指導員男性 ④つねる、たたく ⑤あざや赤い〇〇張 ⑥園長 ⑦解決 ⑧園の指導制をつくり直す ⑨自分の子供が虐待されているのでは〇〇とひとり黙認するのではなくて、何気ない親同士の茶話しの中から「うちも、うちも、そう、そんな事ある？」などの声が・・・子供（障害者本人）はやらせても伝えること出来ず、着脱時や入浴時気って!!! ⑩子供の行動に指導員が腹を立てる。余裕がない。職員人数不足。

事例12 自閉症（重度）

①3才の時 ②家の中で ③私（母）に ④たたかれました、公道であるきっかけからパニックを起こし、泣き叫び、收拾がつかない程でした。車はあまり通らない道でしたが、人通りは多く、大勢の人の注目を一気に集めました。どうにか家に連れ帰り、部屋に入れる際に、思いっきりたたきました。アザもけがも残らず、パニックが収まれば、平常に戻ったと思っています。必要のない暴力でしたが、その時の自分の気持ちを抑える術はありませんでした。今、同じ状態になったら、同じ事をしてしまっていますが、同じ状況にならない知恵を、本人も私を

始め家族も、会得しました。上の他にも、夜騒いで寝ない時や、言うことを聞かない時（急いでいるのに、何故か着替えを嫌がる、忙しい時に、何故か本人が怒っている etc）に、私や父（夫）が怒鳴ったりたたいたことがありました。昼間、保育園に行っていないければ、親子共々もっと辛かったと思います。設問に、相談相手に「家族」とありますが、夫は同志であり、戦友であり、共に苦勞する連れ合いですので、不可欠ですが、それには当てはまりません。

事例13 自閉症（重度）

問3「家庭の中で」「あるかもしれない」について：虐待には至りませんでしたが一歩まちがえれば、の例です。①本人が幼児期の頃 ⑩自閉症であろうということが判明し、障がいがあることは受け入れようと思っても、毎日の生活の中で、特に、食事の度に泣き出して止まらない、いろんな生活音を怖がり外に出たがらず、閉鎖的な生活になり、私に相手をしてほしがりまどわり続けたり、眠る時に泣き出して深夜まで寝つかない、他、色々な生活上の大変さの中で疲れてしまい、②家庭の中で ③本人に ④怒る（どなる）、手をあげる、などをした時があります。⑤自分自身でもつらく、本人にとっても怒っても状態が改善されるわけでないことがわかり、⑥当時住んでいた地域の相談所にて相談しました。⑦自閉症や、りよい子どもに対する見方、捉え方など、カウンセリング的に指導して頂き、⑧を行き改善してゆきました。⑧その後、私自身が対応の仕方や発送を変えることの大切さに気づき、なるべく、本人が負担のかからない時間帯（寝てる間）に家事を済ませ、私自身が用事などに追われてイライラしないような工夫をするようにしました。⑨身内等、地方に離れて、母親と子どもが個立してしまいがちな環境で（児童館等の集まりに出ていけない）母親が追いつめられていくこわさを感じました。⑥でのカウンセリング的な対応で発送の転換が出てきて、生活の見直し、それまでの価値観や基準を見直すことができたのは幸いでしたが、私自身の精神力を問われる思いをしました。自分を一つの例として考えてみて、もし、頭では分かっている、気持ちがついていけないと考えてしまう母親がいたら、その気持ちも良くわかりますし、困っている母親から動き出さないと進まないシステムはある意味限界があるように感じ、家庭支援としてもっと身近に接する人々の存在が大切だと思います。私がその後、本格的に子どもとの生活を受け入れられるようになるには「●●養護学校」の当時家庭指導グループとの出会いが有りました。

事例14 自閉症（重度）

中学の行事で登山をしたときに、けしかけられて急ぎ登らされたようで、帰宅時、自分の髪の毛をかなりむしっていた（初めて）。当時、民間の障害児の塾に通っており、登山など野外活動に力をおいた塾で、夏休みなど高い山に登った話を保護者会で話したせいだと、後で思い知った。リーダー格の教師は趣味でプロレスをやる男性で、とかくの噂を聞いた。その後、家庭の事情で引越しし、転校したのだが、どうも校長は学校を換えたくて引越したと考えた節があった。その後、あの教師は病死されたと聞いた。

事例15 自閉症（重度）

平成16年、4月ごろ、通っている通所施設で、（園の）皆まで、1日外出にでた時、●●に行き（コース別で）新しくきた支援員さんに、トイレにつれて行ってもらえなくて、おしっこをもらってしまった。夜むかえに行った時に「新しいズボンに替えておきました」と言われたが、今までそんな事は1度もなかったのびっくりした。その時はしかたなく帰ってきたが、帰ってから、通所施設の園長に電話を入れた。あくる日、ノートにもこんな事は1度もなく、とても気づきましたと書いた。その日の帰ってきたノートに、新しい支援員の人から、気がつかなくて、申しわけありませんでしたと書いてきた。その後はないです。（家でも）こまかく、外ではひとりでトイレに行けませんので、つれて行って下さいと、いつもいつも書いてあるが、うっかりわすれてしまった。支援員の人も来たばかりで、車いすの方と両方見えて、車いすの人につきっきりだった。家のは、ひとりで行けると思ったのかもかもしれない。いつもは、トイレにつれて行って下さいとたのまないと、つれて行ってもらえない、こちらで言わなくても、きちんとつれて行ってほしい。

事例 16 自閉症（重度）

15年ぐらい前に、●●●舎（2度目のとき）で、いやと言う程投げとばされと、後日本人から聞かされました。悪いことをした体罰だったのでしょうか。言う事を聞かなかったためでしょうか。

事例 17 自閉症（重度）

平成6年頃、現在30歳のムスコが18才の時、親の会で作った作業所に通所していた。その中で男性の指導員が、キツク注意をしていた時、頭をたたいた。出来なかったので叱られていたのだと思うのですが、少し叱り方がキツク、言い方もキツかったのを覚えています。私が見たのではなく、同じ作業所に通っている友達（ムスコ）の母が見たのを知らせてくれました。その後やめて、施設に通っています。そこで働いていた指導員の方は、資格を持っていない人だったと思います。昭和62年の時の事は、忘れつつあるので書けません。

事例 18 自閉症（重度）

1 小学校低学年の頃 2 家庭内で 3 母親（私）に 4 叱る時に叩いてしまった 5 家族から「それは虐待だ」と言われた 6 同じ子を持つ友人達に 7 解決した 8 何か悪いことをした時、手が出ないようにして、言ってさすようにしている 9 どんな理由であれ、大きくなって思春期を迎えている今だからわかるのだけど、手をあげるとそれを覚えていて、パニックになった時、自傷行為（自分で頭をたたくなど）や他害（たまたまそばにいる人を叩く）ができる

事例 19 自閉症（重度）

本人が小さい時から、夜中眠れないで、家の中を歩き回ったりした時、父親がひどく叱った。なじったり、けったりした。父親が厳しいので、居る時はおとなしくして、留守の時、勝手な事をする。薬をつかって、夜眠ってもらうしかなかった。40才になり、落ちついてきて、ほっとしている。

事例 20 自閉症（重度）

①幼稚園の時、園の室内で朝の集会の時、他の口児と共に椅子に座っていた。おとなしく座っていたのに、他の口児の親が息子を立たせて椅子を持って、1m位離れた場所に移動させるのを見た。又、息子が団体行動がとれないので、他の保護者から「困ると言われている」と園長夫人から聞いた。その後、園が困るので退めてほしいと言われた。そのまま退めた。②小2の時、眼科へ行ったところ、二度目に行く時と医師から「又来たの」と嫌な顔をされた。車椅子の患者も「又来たの」と嫌そうな態度をとられていた。③中学の障害児学級の先生から体育のランニングに参加せず、息子は差別されていると思った（見た）。小学校の原学級や中学でも朝のランニングに原学級の生徒につれられて参加出来ていたのに、6-7人の少人数の障害児学級の方が特別扱されているのに驚いた。（教育以前の子供と言われた）④18才の時、昭和56年、施設で体力測定の時、息子だけは呼ばれず、測定してもらえなかった。（見た）施設の職員に息子は何も出来ないという偏見があったのか ⑦父親から、幼児の時からずっと常識を厳しく押しつけられ、萎縮させられている。障害の（自閉症の）特性などを理解しようとせず、息子に対応するので、困っていた。養護学校の担任から父親のカウンセリングを勧められ、月1回、1年間カウンセリングに通い（息子と一緒に）少し理解してくれるようになりました。しかし、老会になって頑固になっているので、又困る事が増えています。

①平成12年頃~14年 ②施設 ③利用者 ④つねる、たたく ⑤お風呂に入って、青アザが出来てる。数か所 ⑥施設の職員 ⑦話し合っ解決した ⑧本人と離れた作業にした ⑨顔を合わせると不安になるので、作業だけでも離れて良かった。 ⑩おとなしいので、叱られた時、他人（弱者）にあたったのが原因

事例 21 自閉症（重度）

友達の子（知的障害）が普通級の小学校に通っていたが、修学旅行中、同部屋の児童から暴行を受けた。旅行後、子供の目が〇〇、あざがあるのを親が発見。病院につれていき、打撲と診だんされ、教師、学校に行って訴えたが、はじめ学校側は認めなかった。保護者内で話しあいがもたれ、暴行した子は事実を認め、学校も非を認めた。だが、

被害にあった子は、恐怖のあまり学校に行くことができなかった。

事例 22 自閉症（重度）

中学生の時、近くの公園で小学生女の子を遊びのつもりで追っかけてしまい（そのこの自宅まで）その子の家族の人がパトカーを呼んでしまったので、手錠をかけられたり、パトカーで自転車ごと派出所へ連れていかれ、私は呼び出されたので、本人の事を説明しようとしたのに、5-6名の警察官がとり囲んだ中で、謝罪の書類を前に印を押すよう強要された。その後、女の子の家へ謝罪に行き、わかってもらいましたが、何故こんなに大ごとにならなければならないのかと悲しくなりました。公園の一角にあるその派出所のおまわりさんの一人は、息子のふだんの様子を多少知っていたみたいで、公園で、数名の子供達によくからかわれていたと言っていました。現在、不況のせいで、仕事先が取引先の倒産もあって、給料が払えないのか、何ヶ月もいただけていません。お昼のお弁当だけで働いています。

事例 23 自閉症（重度）

中学校の時、よく説明しても理解不能な子に集合出来ないからとすごい怒り方をし、追いかけてまわした現場を見た。親がいるのに気が付かない。その先生は、よく保護者のうわさになっていた。狭い道具部屋に大変手間のかかる人をとじこめているとか…。不満があったが校長先生とうまくいっている様で何も訴える状況になかった。よく障害者について勉強している人に職に就いて頂きたい。普通学級に間もなく転勤になったりまるで普通学級にいくまでの機関の様にも感じた。通所途中で中学生、小学生に笑われたり囲まれたりするの辛い。大人でも理解出来ずずっと見たりコソコソ話されたりすることがある。一人に理解して頂けると長い間に色々な事があっても声かけしてくれるようになった気がする。近隣、市民に理解してもらうには親の態度など努力がある程度必要だと思う。へりくだる必要はないが、挨拶は必ずするなど…。服装などにも気をつけているつもりだが、立ち止まっている時間が長いと不審者に間違われる。一度通報され警官が家まで子のあとをついてきて調書みたいなのを書かれた。その後校長先生が知っていて下さって解決できた。校長先生や近隣の人生徒などに理解してもらう為に催し物などは効果があると思う。この頃は中学校から就業の為の事前学習で作業所に来て接してくれる様で大変有難い。年齢が近いうちから障害のある人も生活している実態を学ぶ機会を増やして欲しい。関係者はもとより、み～んなにもっともっとメディアを通してなど理解を深めて欲しい。

事例 24 自閉症（重度）

①幼稚園（年中） ②園内 ③職員 ④つねられた（手の甲等） ⑤その人と関った後にキズがついていた ⑥相談せず ⑦解決せず ⑧そのまま退園（たまたま転居） ⑨ひどい多動の時期で、何も言うことを聞かずさわいでいたので、気持はわかる ⑩列に並べなかった。障害者が健常者から受ける虐待と言うと、その反対は何と言うのでしょうか？反対側へのアンケートは無いのですか？障害故、許してもらえないことは数多くありますが、健常者も、障害者に関わることで精神的ストレスや肉体的疲労は測り知れないと考えます。連発する言葉の暴力やあばれ（パニック）。守られるのは障害者だけではないはず。同じ人間ですから。「虐待」の文字に異議を感じます。より良い対処法を互いに極めれば良いことですから。福祉の現場に従事する人が減ってしまうイメージの単語ですな。

事例 25 自閉症（重度）

今から35年ぐらい前の事、当時息子は市の特殊学校へ行っていたとき、全日制だったので面会を先生方の面談を終了してから、遠くから30分ぐらい息子の教室をながめていたとき、先生（担任）が子供を足げりで蹴っているのを見て、がくぜんとなりました。息子ではなく、他の生徒を足蹴をしていました。そのためか、相談もせず、情けない思をしました。教育者が虐待はゆるす事は出来ない、また、それを学長に報告することも出来ない自分が今でもゆるせないと、後悔しております。

事例 26 自閉症（重度）

①H21年8月（本人17歳）歯科医療センターへ定期検診に行くため、本人と母でいつものように市バスに乗りました。バスの中は満員で、

座席はすべてふさがっていたため、本人と私は手すりにつかまって立っていました。本人は席にすわりたかったく、ガラス窓をたたいて怒りをあらわしました。その時、私からすこしはなれたところにすわっていたバスの乗客が、大声で、バス中にひびく声で私たちにむかって「バスから降りろ！おちついてバスにのってられない。バスの運転手さんからいってくれ！」とどなりました。その時、まわりの乗客はうつむいていました。運転手さんは「自分は、立場上、バスから降りてくれとはいえない！保ゴ者さんもいっしょにいるから」といっていました。私たちは、バス停で降りる間、何度も「降りろ！」といわれつけましたが、無視していました。②H21、7月（本人17歳）、下校時いつもの市バスに乗る際、市バスの運転手さんから、本人が窓をバンバンたたいていたのをみて、バスから降りてくださいといわれた。

事例 27 自閉症（重度）

約30年前の自分を今振り返ってみると、障害に甘えさせたくないとか、必死だったと思います。将来少しでも、社会生活で迷惑をかけないようにとか。アザになってずっと残るような強いものではなかったのですが、小さい頃、自分がパニックになっている本人の自傷を止めさせたくて、又、悪いことをした時などに、自分は嫉のつもりと思って、子供の①手の甲を叩いたり、父親が強い頭叩きの自傷をさせまいと止めさせたくてタオルで手を巻いて（直接叩かないようにした）とかの行為は、あとで考えると虐待かもしれません。あと「早くしなさい」とかキツク言ったのとかも、言葉の暴力でしょうか……。幼少の低学年頃迄〇〇 ①の条件反射で怒った口調で名前を呼ばれたら、自分から手を差し出す草をしたり、ビリビリした目をしていたので、気をつけるようになり反省させられました。18才で通所施設に行きはじめて頃、新しい環境への不安と混乱でパニックをおこした時、ひとり（他のメンバーに連絡しても困ることもあって）別室で耳叩きをさせまいと、床に馬乗りになって（担当の10女性職員もそれが当時は良い方法と考えていたようで）押さえつけられ、ギアギア泣くのも静かにさせようとしていたことがありました。当時、名前も呼びすて（名字の）や、ニックネームで親しそうに言っていたのが、少したってからは、名字のさん付けとなって、それからは人として対応されているような気がします。納得すれば落ち着く子どももわかってもらえて……。人間としても未熟で、障害、将来への不安等、小さい頃は自分も親として初心者マークでビリビリしていて余裕もなく、パニックになられると、こちらもパニックになっていたのだと思います。相談とかは特にせず、本人も少しずつ落ち着き、人間らしくなって〇〇と時が解決してくれたように思います。やがて自分も障害者の親に慣れたし、少しは大人になったのかもしれませんが。本当に乱筆乱文で失礼致します。

事例 28 自閉症（重度）

①平成20年5月 ②（民間）作業所 ③所長 ④突然、辞めさせられた ⑤日曜日に「息子さんの今後について話し合しましょう」と言っていたのに、その週の金曜日には「他に移ってもらった方が良いとの結論になりました」と言われた。話し合うこともなく、一方的に辞めさせられた。2ヵ月分の工賃も12月～5ヵ月分の積み立ても辞めさせた時に支払ってくれず、こちらから半年後に催促するまで知らん顔されたのは、作業所に限らず、普通の会社でもありえないと思っている。

⑧障害者支援課を呼んで（私も呼ばれ）次の作業所を決めてくれと言われた。⑨本来、次の作業所が決まるまでは、そこの作業所在籍になるところが、その作業所は障害支援課の人に親の目の前で「もういらぬ！」とファイルごと渡した。まるで息子の存在を消したいかのようだった。⑩息子は言蒙で、うまく自分の気持ちを表現できないので、利用者さんに何かいやなことを言われると、たたいたりつねったりしてしまった。それを職員が、適切な対応をしてくれなかったので、息子が一方的に悪いと言われた。

事例 29 自閉症（重度）

昨年、学校（特別支援学校）の登下校で利用しているスクールバスの中で添乗員によるわいせつ事件があり、刑事事件として逮捕されるということがありました。小1から4年間お世話になった添乗員さんで、信頼していただけに、ショックは大きかったです。スクールバスという密室で、また乗っている子供達は知的障害があり、報告されないということを知った上でのことかと思われました。様子がおかしいと

感じたバスの運転手さんが、最初会社に報告したものの、バス会社はそれを取りあわず、運転手さんの正義感によって、車内に取りつけられた隠しカメラに犯行が写り、警察へ届け出て発覚したという経緯も、バス会社の体質に問題があったようで、許せない気持ちでした。バスの車内でのわいせつや暴力は、程度の差はあれ一人の被害だけではなく、今のところ自分の子供は何もされていないようですが、そのような状況ではあまり信じることもできず、あったかもしれないと思ってしまうところです。事件発覚後は学校としても、今後の対応など考えて、検討を続けているそうです。

事例 30 自閉症（重度）

養護学校の高等部2年の時、女の先生からひどく足げりをされていたことを、他の親御さんから聞きました。他の先生方や、保護者の方からも非常に評判が悪い先生でしたので、娘が卒業してから学校をやめました。

事例 31 自閉症（重度）

- ・就学前の通園施設で、指導員に無理に給食を食べさせようと、床に吐き出した食物を、ふきんでふいて口に入れた。自分の目の前で行われたので、児童相談所に相談をし、一年我慢したが、次の年に別の通園施設に変えてもらえた。いくら偏食を直そうとしても、床に落ちた食物を口に入れ込もう等ということは、健常児にはしないと思う。障害児差別を指導という名のもとに行われていると思った。
- ・学校（特別支援学校）の担任で、授業を受けさせない（授業からの阻害）または、連絡帳に子供の悪い事（授業を台無しにした等）を、毎日のように書かれたので、その担任の1年間は、毎日日本人が学校に行くのを嫌がり、全く成長出来なかった1年だと思ふ。担任は、障害のある子にとっては、100%学校生活を左右し、大事なのに、全て、子供がしゃべれない事を良いことに、ケガまで本人の責任にされ、自分の都合の良いように話を作って、今思えば教育委員会に持っていけばとも思うが、高等部まで行くので、学校と争えないし、本当にあの年は、今思い出しても子供がかわいそうでした。
- ・ヘルパーさんと、行動援護でプール（区のスポーツセンター）へ行った時に、プールの中で騒いだということで、プールの監視員に「来るのを御遠慮願いたい」と言われたと、ヘルパーからの報告で、プールに抗議をしたところ、翌日、事情を説明に来たが、謙譲の子供も同じ様に騒いでいたとの報告で、やはり障害者差別を感じた。しかも、楽しくて騒いだけなのに。「2度と来るな」と言った感じだったそうです。

事例 32 自閉症（重度）

本人が自宅付近で（道路）立っていたら、犬や猫を追い払うように「シーシー、あっちへ行け!!」と言われた。相手（大人、サラリーマン風、男性2人）は、近くに親が居るのを知らなかったようで、親として悲しくてくやしくて。「この子が何かしたんですか?」と聞いたら、「いや、別に」と澄まして通りすぎていった。涙が出て……。それ以上何も言い返す気もなく。41才の子。昨年秋のことです。

事例 33 自閉症（重度）

小学校1年の時、担任に給食を無理やり食べさせられたことが何度かあったようです。本人は報告できないので、クラスの軽度の生徒からの報告でした。担任も残念ながらアスペルガーであろう特性の方で、私とのやりとりは成立せず、校長、教頭に相談。この件を含め、子供の特性を評価して指導するということが全くできず、やむなく転校をしました。こういった教師を採用して、又、単独で学級担任をさせることに問題があると思います。家庭内でのことは、私がやったことです。おもしろさをわざと〇〇くり返す、便こねをして部屋を汚す、などがあると、怒っても伝わらない事はわかっているのに、自分の怒りやストレスをおさえられず、つきとばしてみたり、頭をついたたいてしまったりすることがあります。又、怒鳴ってしまうこと、暴言を（バカ!うるさい!etc.）吐いてしまうこともあり、いつも反省しています。いつも穏やかに平静を保ち、子供の特性を考えたやりとりを適切に行うことはとても難しいです。

事例 34 自閉症（重度）

- ・公立中学校（特殊学級）に行っていた時、頭がはれて、血がにじん

でいるのを見て驚きました。本人は「先生にぶたれた」と言っていました。話しのわかる軽度の子に、電話でききましたが、ブリキのチルトリの角の〇〇でぶったとの事。教師は自衛隊を退職したとの事で、よくなるとの事でした。教頭に訴えました。

・土曜日は給食がないので、弁当を持参。生徒が下校後、特学の子が、廊下、昇降口の掃除をしたので抗ぎしたところ、教師は「この子たちは卒業後、掃除ぐらいしか出来ない」との返答でした。

・教師の弁「一般のクラスを受け持たなかったが、空（あき）がなかったので来た」と新年度の保護者会でのあいさつ。当時は抗議する事が出来なかったのです。

・20-30年前は、子供が障害児という事をかくそうとしていた親が多かったです。（私共夫婦も）現在は、権利を主張出来る良い時代です。

事例 35 自閉症（重度）

①小学生の時 ②学校 ③交流学級の同級生 ④言うてはいけな言葉が教えられた。（真似をする子だったので） ⑤親が教えない言葉を発したから ⑥担任に相談 ⑦交流学級の担任に伝え、児童にも伝えてもらった ⑧その後はなし ⑨廻りの大人（親、教師 etc）が注意して見守らなければいけないと思った。 ⑩口真似、物真似をする子だったので、興味本位で教えたのだと思っている。

事例 36 自閉症（重度）

①小学校の時（5年生）（今から22年前の昔の事です） ②学校の中で ③担当の（特学の）教員 ④給食のナフキンと古着を忘れた時に、「ナフキンを忘れたのだから給食を食べさせない」と本人が言われて

⑤昼前、必死で家まで走って帰り、慌てて給食用ナフキンを「ナフキン!」と言って持って行った ⑥教員（担当の）には謝ってもらえたが、言葉の暴力であり、特学の教員の言葉とは思えなかった。家で話し合っただけ ⑦その事を謝ってはくれましたが、そういう職員の資質は変わらず、ヒステリックな対応をいつもされていたので、我慢していた。

⑧教員（担任）が全てなので（いわゆる子供が人質の様な気持ちだったので、親同志や家で話し合っただけ ⑨教育委員会など第三者で相談する所があると良かった（その時代は、教育委員会に提起すると、教育が左遷されるという話もあり、しかし、特学や養護の教員になると、諸手当が付いて厚遇されるそうで、そういう意図で（経済的な理由で）特学や養護教員となる人もあり、難しいと思った。） ⑩特学の教員がスペシャリストでなかったから、資質の問題だと思っていた

事例 37 自閉症（重度）

①本人が小学校情緒学級中学年の際 ②教室などで ③担任と補助担任男子教員に ④本人を含む児童が頭を叩かれて、ば倒されたりした。

⑤本人が片言で「センセイ、頭ゴンゴン」と手ぶりで訴え、他の親からも相談された ⑥他の親と共に校長に対策要求したが ⑦解決せず、他の事例も判明した ⑧クラスの親で話しあい、教師、校長に再発防止を約束させた。しかし、根絶されないので失望し、転校した（市内、先ではトラブルは起きなかった） ⑨話し合いの前に体罰を批判した親の多くが「本番」では自己保身で批判をやめて、学校の責任を追究しきれなかった=障害者家族の弱さ、悲しさ=を実感した ⑩現状は分かりませんが、当時の情緒学級は障害児を「いやいや預かる場」と現場が位置づけ、人権思想を身につけた担当教員が少なかった（の）では（配置されにくかった）。

事例 38 自閉症（重度）

・5-6年前になりますが、施設で同じ障害を持つ利用者から、なぜか目をつけられ、トイレに入れて出してくれなかったり、更衣室（女子）に入れられたり、その人の思うがままにふりまわした。でも職員が注意したり、止めさせようとすると、怒り出し、周りにいる人や物に当たり、大人でも止められない事になる（大変なことになると、職員からこん談の時、聞いた。親の私の方がいたたまれなくなり、他の施設を希望して移った為、現在はそういう事はない、と思っている。でも、そういう事があります、という事を少しでも早く親に教えてほしかった、と思う。又、そうしている親にも、はっきりと現状を伝えてほしいと思う。子供の状態を知らないでいるという事はなくして、自分の子供がこんな日々を施設で送っている事を、しっかり認識してほしい。

事例 39 自閉症（重度）

①養護学校小学部6年の時 ②学校の教室、及び廊下など ③担任教師（女性） ④本人が、服の着替えが遅かったせいで、冬の寒い時期に更衣室ではなく、廊下に出されて、着替えさせられた。本人は言葉でののしられたようで、よけいにビクビクして、出来ることもできなくなってしまった。そんな事が2週間続いたらしい。本人はそのことが原因(?)（はっきり分らないが）で風邪を引いた。 ⑤毎日、学校へ送り迎えをしている同じクラスのお母様が、朝登校後、運動服に着替える様子を見て、母親の私に報告して下さい。その報告を聞いて、担任の先生が、スクールバスの担当だった日、朝、私が本人をバスに乗せる時に、「〇〇君が風邪を引いたのは、学校のせいではない」と言い分けをされた理由が分かりました。私は、風邪などどこで引いたかなんて考えたりしていませんでしたのに、わざわざ先生が言い訳をされたのは、自分の行動を後ろめたく思っていたからだろうと思いました。 ⑥その先生は以前から、気に入らない生徒にはつらく当たるというウワサがあったので、特別相談はしませんでした。 ⑦学校でも、問題教師としてマークされていたようで、次の年には他の養護学校へ転勤になった。 ⑧その後、転勤先の学校でも問題になり、親が交代で教室の外で見守ることをしたと聞いている。その後、自ら退職されたと聞いている。（教育委員会にも問題教師として報告された） ⑨これは、教師側の問題に尽きると思うが、当事者（親）は問題を複雑にしたくない。

事例 40 自閉症（重度）

→通園施設（●●●学園 H4-H5）時代

・偏食指導という名目で、昼食ののこりを弁当箱に詰められ、夕食はそれを食べさせるように……と強制された。殆んど食べる物がない子供は益々心を固くして、水分すら摂らなくなっていきました。園では、1日何も口にせず帰ってくる事もしばしば。先生の指導の行き過ぎを感じ、意見も言いましたが、頑固な年配の指導員の方針は変化しませんでした。（中学生になって自然に偏食は治り、家でも外でも色々な食事がとれていますので、あの時の指導は必要だったのか?と思う）

・天候事情で自主登園になった日、タクシーを利用した際のこと。乗車の際、行く先が施設で、子供が動き出したら「もう、シートが汚れる!! 本当に!」と運転手から怒鳴られました。あんなに客への対応が悪いと言うことは、私達をバカに（下にみる）していたからだと思います。

→小・中学校（H7-H13）時代

・市バス利用の際のこと。座席で座っていても気分がのらず、ブツブツひとり言（わけわからない）を出してしまう子供に、運転手がにらんだり、ため息をわざとついたり、乱暴な運転をしたりしました。明らかに嫌がらせと感じました。

・学校の先生の対応（特別支援学級）指導方法にも問題があったり、たまたまクラスメートが一人も居ないマンツーマンの時もあったりで、円形脱毛症（先生は気づいていなかった、私から告げました。）になっている子供をみて、心の悲痛な叫びを感じ取りました。書き忘れ
・通園施設の頃、住んでいたマンション内の公園での出来事、私達の住む部屋のまん前にらせん階段があり、降りてすぐのところに子供向けの公園が設置されていました。家事をしていて、子供が家を出たことに気づかず、しばらく一人で下の公園にいたようです。しばらくすると、泣き乍ら帰って来ました。パンツに砂が詰め込めるだけ詰めこまれていました。シャツも砂まみれでした。あわてて公園を見ると、一人の男の子が居ましたので事情を聞くと、同じマンションの男子Gが（幼稚園~小学生）おもしろがって息子をいじめていたとわかりました。又、こんな事もありました。石を投げつけられ、痛いので幹線道路まで息子は出て、その石から逃げていました。それをおもしろがっている男の子を私が見つけて注意したのですが……パンツに砂を入れたGのリーダー格です。今となって、よく交通事故に巻き込まれずに済んだものだと、ゾッとします。その男子は、家庭に問題を抱えている子供でした。

→通所途中、街中での出来事

●●●区のジャスコ（●●●●）で何度も別人の子供らにからかわれました。明らかに中学生女子達、近所の子のよう）につけまわされては笑われ、シャムで撮映を隠し撮りされていました。気づいた私は、怒ってやりましたら、シャムを撮映し乍ら逃げていきました。本当にタチ

が悪いです。●●区●●●●の本屋での出来事ですが、明らかに小学生女子達にからかわれました。子供が大人なのに絵本を見てるので、バカにしての行動だと思いました。しかも、指令指会は別に離れた食事ゾーンのテーブルに座り、複数の子でメールを見て大笑いしたり、こっちを見ています。指示をメールで本売場の子にとぼし、指示し、その言われる通り、我が子に変な顔をしたり、つきまどって反応を見て楽しんでいるのです。悪質ないじめです。何度くやしく、悲しく、涙が出たかわかりません。又、外出すら嫌にもなりました。しかし、子供が外出を希望するなら、と泣く思いで外を出た事数知れずです。

事例 41 自閉症（重度）

現在、中2の弟と一緒に、マンションのエレベーターに乗っていると、同じマンション内の住民が露骨に嫌な顔をしたり、弟と一緒にだと、エレベーターに乗ってこない時もある。どこに相談すれば良いかも分からないし、相談しても、マンション内の事では解決されないと思うので、相談しようとは思わない。ただ、市民の障害児への理解があまりに低いので、こうした事態が生じるのだと思う。TVでも、軽度の障害児に関しては頻りに放送されているが、重度の障害児に関してはあまりなされていないため、「変な人がいる」「うつる」という誤解が生じるのかもしれない。また、12歳頃、児童デイサービスのヘルパーから顔をつねられ、傷をつくって帰って来たことがあった。本人は言葉がないが、指の跡と、血が出ていたことから、他のヘルパーに話をきいたことにより発覚した。そこの事業所の責任者に、その時の状況等を尋ねたが、謝りはしたが、あちらの都合の良いようにしか説明してくれず、納得出来なかった。事業所のヘルパーの質が悪い。障害児の事をよく知らずにヘルパーになりました、というような人をよく見かけるし、結局そのような人達は忍耐力など泣く、不適切な対応へとつながるのだと思う。ヘルパーの育成にもっと力を入れるべき。また、障害児への不適切な対応は、家族もとても傷つく。親は、親の会、訓練の先生等、相談出来る所があるが、兄弟にはない。仲の良い友人に言っても、障害のことを理解していないので、こちらの気持ちを理解してもらえないし、逆にそのような事で悩まなくても良いことにひがんでしまう。兄弟の悩み等を聞いてもらえるような場所、会、機関等をつくってほしい。

事例 42 自閉症（重度）

幼稚園の時、年少のころ、退園してから、知ったのですが、へやに1人障害児を入れ、かぎをかけて出られないようにした。他の子供のことが出来ないからと言う理由で、障害児があるので保助金がもらえるのに、何もしないどころか、このようなことをされたことに対して、いかりに思う。・養護学校の小学部4年生の時、給食を食べないから無理矢理口に入れたりする。他の子供にもしている。親が何か言うと、これは、なんでも食べると言う教育である、と学校はつっぱねるが、無理矢理口に入れることは虐待ではないのですか？

事例 43 自閉症（重度）

平成14～15年にかけて2年間保育園で担任から。いつも1人であるのでそのままに声もかけず1人で居る事が多かった。でもパートの先生が自分の居る時間は良く見てくれてその先生の言葉はよくわかって行動も出きるようになった。その年の年長組は29名なので先生の目がいきとどかなかったこと、それと障害者に理解がなく勉強もしていないのでこちらから先生にその事を言うと〇〇君も29名のうちの一人ですから特別扱いはしないとの事。卒業まで保育園をよく休ませてなんとか卒業しました。パートの先生に感謝です。その先生とその後2～3年連絡を取っていました。

事例 44 自閉症（重度）

①授産所に入ってから24～5年前の事なので時代も変わっていますし自閉症に対する指導員の理解も今とは全く違っていましたので参考にならないのではと思います。本人は何も理解できていないのに（言葉もなく理解力に乏しい）理屈を並べて怒鳴っていました。ただ恐るばかりでだんだん調子悪くなり3年は頑張りようと思ひ必死で通いましたが署長さん共相談致しましたが解決ならず退所する事になりました。誰か1人は信頼できる担当の方が居られると安定して生活が出来ると思います（高等部の担当が素晴らしい先生で子供の生活を180度転換させて頂いた経験がありましたので）無理なことかもしれませんが長

い目で見えて頂いて指導して頂けたらと痛感致しております。今日の時代は誠に良き時代でうらやましく思っている次第です。

事例 45 自閉症（重度）

①2007年から②家庭内で③父に④暴力（顔や頭・体を殴ったりけったり）⑤あざが出来ていたのと本人の表情がなくなりおびえるようになった。⑥病院に相談し病院から児童相談所や家庭相談室へ連絡してもらったが、あまり重く考えられず少し話をして終るくらいの対応しかされなかった。そしてこの事を他の関係ない知り合いに話されたので相談員は信じられなくなった。病院は子どもに対してカウンセリングなど色々対応してくれた。⑦父本人に暴力と言う自覚がないため解決していない⑧その後回数は減ったが子どもはおびえて生活している⑨何があっても暴力はいけなし相談所にもっと対応してほしい⑩普通の子と同じように出来なかつたり行動面などで理解出来ないことが多く言葉で説明する前に手が出てしまったらしいが、納得できないのでこれからどうしていくかは考え中。

事例 46 自閉症（重度）

①平成15年②通所施設③支援員と思われる④暴力⑤お腹、ほほやあごなど、そんな力を加えた覚えがないのにあざができたから⑥保護者の間に同じような事が何件かあり聞き取り調査を行いました。他に冬場で厚着なのに体にかすり傷のようなものがあった。・言葉による暴力・本人に聞いても気にして言えない人が多かったようだ。また、行事の時職員が娘と手をつなごうとしたが嫌がってつなごうとしなかった。職員が何度もつなごうとしたが嫌がってその場から逃げだした。自閉の子であってもそこまでしないので（この人かも知れない、言葉の無い子でもごまかすことはできない）と思いました。⑦聞き取り調査を施設に提出、保護者会で職員と話し合いましたが自分が決まると認める人はいませんでした。⑧保護者会で話し合い法人の苦情解決委員に提訴(?)しました。一応の解答があり、その後問題ないように思います。

事例 47 自閉症（重度）

小学生の頃（4年生頃）、学校で、担任の黒男性教師に、カサの先で体を突かれた。（少しアザがあり、本人に聞いたら、わかった。）担当に聞いたところ、事実であったとの事。大きな騒ぎにならなかった。どんなものかと、思い出します。

事例 48 自閉症（重度）

小学校5年生。学校内。担任の先生。たたかれたり・腕を雑巾のように絞られるような事。子供が自分から突然話したから。知り合いのお母様・補助の先生・校長先生・担任の先生。解決しました。手を出さなくなりました。言葉で注意して欲しかった。何人も一度に見なくてはいけない、その時注意してもやめないの、体罰を与えてしまった、という事でしょう。

事例 49 自閉症（重度）

学校の中でのことは同じ教員関係の方がよくわかっていると思います。親は送迎や保護者会・行事・PTAなどでしか学校に関わる事が無いので、その時に虐待や不適切な行為をみることはほとんど無いと思います。又、たまたまパニックをおこした生徒を止めていたとか、何かを注意して大声を出していた先生を見たことを親に伝わっていくこともあります。うちの場合は、親に対してとても話し上手で親の話もよく理解して下さり、子に対する対応も話を聞くところによるとよくやって下さると見ていた担任がいました。実際PTAなどで学校へ行った時などに自分の子とその担任が関わっている姿を何度も見てきます。その時期に講師として週に3～4日入っていた先生と親しくなり一年後の聞いた話なのですが、親の前では良い教師のふりをして実際は子が要求したりしても無視などをしてかわいそうだったと聞かされました。現場の先生が一番わかっていると思います。

事例 50 自閉症（重度）

保育園の体験入学の時、声かけだけで行動しなかったことに対して「こんな子、初めて見た」と担任の保母が言い出し、他にもたくさん子供がいるからこの子一人だけをずっとみてられない・ここでは見れないと言われた。障害があるけど入れて欲しいということで体験したの

にそんな言い方はない…ととても悲しかった。保育園にその後入園でき、1年がたつ頃卒園式があるけどその日は休んで欲しいとその保育母に言われた。一瞬「え？」とっていると「その場の雰囲気をおこわしたくないから」とはっきり言われ、結局抵抗できずにその日はお休みした。その1年後また卒園式があったが担任が変わって、卒園式間近になっても何にも言われないのでこちらから「休まなくて良いのか？」と尋ねたところ「その必要はありませんよ！」と明るく答えて下さった。いったいこの対応の違いはなんだったのだろうかと思う。

事例 51 自閉症 (重度)

本人が年齢的に反抗期にあったのもあるかもしれない。毎日布団の中に入ると部屋を出ておしっこも出ないのに何度もトイレに通う。そのバタバタした行動を父親は許せなかったようです。しかったり、たいたいたり数カ月続きました。本人は、そのようにされればされる程、エスカレートしていったように思います。ある同じ自閉症のお母さんに相談したところ…2階で寝るのではなく10時になったらお父さんを2階にあげ、息子さんとお母さんだけ下で布団に入れば！と提案してくれた。そのことをしばらく実行してみる事にし、また病院の先生も強迫神経症ということで薬を処方され…と、バタバタも2階から下におりていくわけではないのでさほど気にならなくなり、ちょっとバタバタしたら…「これでおしまいにしよう」「電気を消して」と言うので落ち着くようになったので収まりました。数か月やってみて…また2階で寝る事が出来るようになりました。

事例 52 自閉症 (重度)

①ガイドヘルプ中 ②家までの途中 ③担当のヘルパー ④1.ヘルパーがコンビニでたばこを買おうとしていた、子供がお菓子でも買ってもらえるかと一緒に入りたがった、子供をぐっと押して外にいるように、言葉もあつたのかはわからない 2.安全確認できない子供と離れて歩く 3.道を教える時、グンと押して案内する、等 ⑤私(母)が見たり、親のいがみ見た ⑥ヘルパー派けんしてる会社に言ったが、これからのこともあるので、具体的に強く言えなかった ⑦特に解決しなかったが、今はそのヘルパーはきかない ⑧〃 ⑨残念だ ⑩ヘルパーの人間性

事例 53 自閉症 (重度)

①15年ぐらい前 ②登校中 ③学区の小学生(障害児学級がなかったため、学区外の学校へ通っていた) ④「バカ」と何人かに言われた ⑤親がいる前で言われた ⑥学校へ無理解さへの苦情を手紙で書いた ⑦教頭があやまったが、その後も続いた。 ⑧障害児学級がないことによる、障害者への理解のなさが招いたことだと思う。小学生のうちから、障害について、個性の違う人がいるということ、しっかり教育すべき。
・通所施設で作業中に、職員による暴力があったのではないと思う。小さい頃からたたかされると、たたかことを覚え、噛まれると噛むことをする。「つねる」ことを覚えたので、作業中に虐待を受けたのでは、と思った。担当が変わったので、今はない。

事例 54 自閉症 (重度)

家の中で障害を持つ子供に、うんちをもらされた時。(外出時や、お風呂時にも)ものすごく怒ってしまいます。げんこつでなぐったりしました。特に、パンツの時です。(トイレに)「行って来なさい」と言ったのに、行かないで後でもらされると、怒りが倍増してしまいます。後で反省しますが、その時はとてもゆるせないです。おかげで(?)最近では自分でもらさないような、気をつけるような行動になってくれたので、失敗はほとんどないです。こういうふうにしてくれると、失敗しても怒る気はしません。不思議ですが……

事例 55 自閉症 (重度)

2-3年前に参加した親子実習の時、職員の方が席にすわってられない女の子をビンタしたり、スリッパをゴミ箱にすてたり、体を押ししたり、1日の内に数度見ました。でも、きびしく態度で示すのがそのやり方で、親も認めていることなので、部外者は口を出せない状況でした。運営には親達が深く関わっており、指導員には確かな愛情があるとのことでした。でも私自身は納得できず、その作業所との関係はやめま

した。親が深く関わるということは、良い点もあるでしょうが、方向を間違え、何も見えなくなってしまうのかと、すごくショックでした。現在は、やり方も変わり、あのような極端なことはしていないそうです。

事例 56 自閉症 (重度)

中学1年の時、担任の理科の宿題を忘れたことで、中学1年の時、弟の私(まだ小4)が自転車で中学校の校門まで迎えに行き、次の日、担任に「迎えに来させた」という理由で殴られた。

事例 57 自閉症 (重度)

☆幼稚園で園児数人にたたかれたりしているのを、見ていた園児の親から聞いた。保育園の職員は否定し、うやむやにされた。小学校で人数上、普通級に入れられたが、ついてゆけないのに、机の上に列車の本一冊おかれ、放置されていた。2年生になり、障害児学級へ変入した。校長、教頭教務主人の先生方が、大変心配して下さって、安心して小学校、中学校へ通学できた。☆子どもが中学に入り、声変わりもしました。定期的に興奮期があり、昼も夜も眠れない状況があります。夜中1時、2時に大声で歌をうたったり、しゃべり続けたりします。マンションなのでご近所への迷惑になると思い「静かにしなさい」と注意すると「あーあー」と大声を出します。注意する家族の声もだんだん大きくなり、大さわぎしているようになってしまいます。ご近所から虐待しているとまちはえられないかも心配で、精神科に受診し、相談しました。安定剤をいただいて、私が自分で飲んでためてみましたが、はげしく眠たくなるので、次の日学校に行けなくなると感じ、止めています。

事例 58 自閉症 (重度)

②入所施設に入って居りますので、帰宅した時(夏、冬)に、足でペットボトル(大)をはさみ、又やったのばか、一人言を言いながらたたいていました。

事例 59 自閉症 (重度)

①平成17年ごろ(半年間にわたり) ②学校 ③担任教員 ④平手で顔やふとももをたたき、「学校に来るな」などの言葉 ⑤本人の様子、体のあざなど ⑥幼児期からお世話になっている通園施設 ⑦担任の交代 ⑧フラッシュバックがある ⑨経験が浅い先生に、全面的に任せるのは難しい。本人も家族も、担任の先生も傷ついた ⑩本人がおとなしい性格で、2~3ヶ月間担任に声をかけられず放置されており、騒いで担任の注意をひくようになった。それに怒った担任にぶたれたのがはじまり。

事例 60 自閉症 (重度)

小学校4年生の時の特殊学級の担任がとても授業内容に怠慢で(全く変化のない授業内容で)自分のやり方に異常なほどの自信を持っていました。ずいぶん前から先輩方が先生に訴えていても全く変わる様子がなく、あきらめムードであったようです。(これは後で知りました)。そんな折、個人懇談に私の子供を同じクラスの子供と比較して「どうして〇〇ちゃんは出来るのに〇〇ちゃんはやらないのしょう」とか、自閉症の他の子と比べるとわかるのですが、違う知的障害の子と比べられるとは納得できず、タイプが違う、おまけに学校の役割を親に押し付けるような発言をされたりしましたので、校長、教育委員会の担当の方に相談しました。その後、校長先生から担任への注意があり、即座に反省されたようで手の平を返したように態度が変わり低姿勢となりました。「行動」とはいわず「言動」ですが、親の職業によって対応を変えたり、(大学教授の父の子にはとても対応が丁寧であったり)かなり前から腹の立つ対応をされていたので腹にすえかねておりました。

事例 61 自閉症 (重度)

①中学3年生②学校③教頭先生④2年生が野外学習の時、障害児学級だけ休日にしてもらえないか。(修学旅行の時も同様)⑤母親に言われ⑥自分で連絡帳に記入し直接連絡した⑦⑧校長、教頭、父兄が集まり、相談をして解決した。⑨学校側の意見も理解できるので、話し合いの場を持ち、完全とはいかなくても、本人、教員にとって現状の中で一番よい方法を決めて行くことが大切だと思う。親の意見 他の生徒たちと全て同じことを要求するのが難しいこともあると思うから。⑩前

年度の修学旅行があった時、先生の人数が1名減になる為、代理の先生が慣れていない為、1人の生徒が学校から抜け出してしまった為。

事例 62 自閉症（重度）

①小学生の時②学校で③担任④両手にひっかき傷⑤学校から帰ってきたら娘の様子が変わって学校に行きたくないと泣くのでこちらからきいたら手を見せた。⑥相談はしていない⑦解決もしていない⑧すぐ担任に電話を入れたが知らない…でも娘はウソをつく知恵までないことをいったらなんかの拍子でひっかいたかも知れないと謝った。あと、娘が家に帰ると泣いてゆうことを聞かなかつたからとろうかにランドセルなどをほかり、私が迎えに行ったときろうかに1人泣いていた。教頭で一度だけ相談したいのですが気がつけて見ときますでした。家庭の中では私が鬱なので心に余裕がない時などにパニックをおこされたとき娘を気づつけるような言葉を言ってしまったり（施設に入れるなど）暴れた時にはたたく真似をしておどしたり…最低な母親です。昼までもどうしても起きれなくて私の母がほとんど娘の世話をしています。でも娘は大事です。私の宝です。あんな心のきれいな子をきづつけた先生は一生忘れません。許さない。

事例 63 自閉症（重度）

自分の娘が幼稚園の時、集団になじまないで「何だこいつ」という言葉や、他の親からの冷たい視線を感じていました。親との関係に耐え難くなり、子供を休ませて毎日親子で遊びに行ったりしていると、幼稚園では心ないお母さんが、勝手に退園したと言いつらし、娘が自ら「ぐるんぱのようちえん」という言葉で戻りたいと伝えて来たので、幼稚園に再登園すると「あれ？やめたんでないの？」と他のお母さんに言われた。結果的には卒園できず、市の通所施設、●●学園を卒園した。小学校に入り、朝お迎えに来てくれる子が出来たが、同じクラスのお母さんから電話をいただき、お迎えに来てくれる子が2人で、娘のランドセルを引っ張ったり、押したり、転ばそうとしていたと教えてもらったので、それぞれの親と担任に連絡を入れた。中学1年の担任は男性で、セクハラ教師だった。まわりは皆知っていた様だが、私が知らずにショックだった。セクハラノートをつけて、娘の様子と言った言葉を記録した。校長に言っても退職を控えているので、らちがあかず、PTA会長や自分の習った担任の先生にも連絡したが、なかなか相談解決にはならず、教育委員会に行こうとしたら、一人では絶対行ってはいけないと言われ、PTA会長に行ってもらおうと思ったら止められた。ちょうど選挙時期で、新人候補の方がノートを貸してほしいと持って行ったけれども、何の解決もなく返され、選挙に利用されてしまった。卒業後にはフラッシュバックを起こし、2年近く暴れて壁に穴を空けたり、大変だった。

事例 64 自閉症（中度）

我家は、父親がとてもきびしいんですが、時々自父のストレス発散のため家族を攻撃します。私は母なので何を言われてもかまいませんが、子供が生まれて子供の方をしかったり（？）（私はいじめにとれますが）するとき、私がかばうこともありません。5年前私は離婚裁判をおこしました。父親は、一銭も出さないからということでした。そして、まず主人は家具一式を買いマンションに住みましたが、裁判中にやはりさびしいからということで、また家にもどってきました。その時、長男は中学生でしたが、とてもいやがりましたが、主人は自分の部屋をつくり入って家族とはごはんのときだけいっしょにさせてと言いましたのでそのつもりでしたが、まだ話しはありますが、かいつまんで、次のことを書きます。そうこうしている内に長男につらくあたります。TVの音がうるさい、風呂場の窓をあけないetc.で長男は少しおかしくなり、私は大学生になったら出るように話し、今は家をでてりっぱにやっています。2,3日帰って来て、ちょうどいいところです。私に当ればりコン、長男に当れば家をでていってしまうということで今は二男の障害のある子に当たります。私が出かけている内にヤクザ（子供がいます）のようないい方でぼくのことをおこったといいますが、話をきくと、パソコンのスイッチを入れればなしにしろと、父親はいうのですが子供は最後にはスイッチを切ってやめたいのです。私は「自閉症なんだから」と話しますが子供もおこってくそやじ！バカヤロー！などときよくに切れます。私はいえれば子供の方にも肩をもちます。子供はその他に「てんかん」という発作の病気があり、この病気になつたいきさつはあるのですが今ははぶきます、服薬を1日10～11錠し

ています。父親は私には「普通にスイッチは切らないでね」といっただけだといいますが、大きな声でどなっていることは知っています。二男の前で先日は「おまえのおかげでパパママはいきたいところへは行かないし、楽しみたいことはできないんだ（怒りマーク）」とどなっていました。二男は一時間ぐらいでおこるのはやめ「パパ、ごめんね！」といいますが、父親は5日間ぐらい口をきかず（これはギャクタイと思います）二男は不安をうったえます。学校に大たいのことを連絡帳に書き説明しておきますが、やはり午前中は元気がなかったと書かれています。先生から「だいじょうぶだよ！」と声かけをしてもらっています。私は家庭の中のことをギャクタイとよぶかはわからないけれど、二男が大きくなり、父親に手を上たとき、ただ単に障害があったからではなく、そうなる原因があったということを知ってほしかったのでかきました。早く書きましたのでよみにくいところすいません。

事例 65 自閉症（中度）

効率性を重視する保育園だったため、想定外の障害状況に対しての対応は、理解に苦しむことが多かった。1才児教室で同じクラスの子が突然園1なくなって、数年後、偶然その子のお母さんと会うことがあり、（その時はじめてその子とわかったが）偏食の多いその子にどうせ食べないからと、全く食べるための工夫などしてくれず、給食時間は放置されていたそう。そのことを母親が訴えると、「家庭で食べさせることができないものがどうして園で食べさせることができるのだ○ ○まず、きちんと食習慣を身につけてから登園させるのが普通だろう…etcetc…」と園長、スタッフ、多数に囲まれて罵倒されたそう。私の子は変食、パニックがなかったため、当時「子供の成長は一律でないから」などすごく大切？にお世話していたのだが、年少組になると、集団行動についていけないことに、親の育て方に問題があるとはっきり言われ、活動時には1人ぼつんと放置されて、理由は、1人でいるのを好んでいるので、園の方針とは異なるが、あえて認めている、みたいな言い方だった。結局、年少終了後、通園施設に移りました。危害を加えられたわけではありませんので虐待ではないかもしれません。

事例 66 自閉症（中度）

息子の事です。支援高校卒業後、地元の授産所に真面目に通っていました。作業所は、とても静かな雰囲気の中で、私語もなく、モクモクと軽作業が流れ作業で行われる所でした。10年目位から、体調不良を訴えて早退したり、隣の人に手をあげたりする事が多くなりだしました。ある日、女性の職員さんに手を上げたから、と1週間通所禁止を連絡されました。その間、2週間位、通所したいと連絡してもダメ、と言われ、福祉課に相談に行ってもらいがあかず、3才から受診している医師のアドバイスは聞くだけ、最後は相談所に行けと言われました。相談所に息子を連れて行くと、相談所の職員さんは、息子を見て、「環境障害だね、どんな暴力的な子かと思ってたけど、作業所の指導をしないといけない、と言われたのですが、作業所の方はこの結果が不満で、その女性職員の習った事は全部しています」の言葉でそれ以上の前進はなく、私としてもこれ以上息子（本人は通所したがっていましたので、いつから行けるのか、とたずねてきました）をまよわせたくなって、退所を申し出ました。5年家に居ましたが、私の病気再発で、福祉課（その時は、頼りになる方がみえました）のアドバイスで、見学した作業所を実習後、現在、通所しています。しかし、あの時の前の作業所のかたくな態度は親子共々、心を深く傷つけられました。あのころは、作業所と言えば、息子の通っている所しかない様な現状でしたから、今思えば、職員さんの指導、態度は疑問です。現在通っている所は、とても風通しの良い所に見えます。乱文、乱筆ですいません。

事例 67 自閉症（中度）

☆小6の道徳研究授業後の懇談会で、学級担任が教育委員・保護者・その他に研究授業の後評をしていたとき。担任は授業中に子ども達に書かせた感想文を回覧させながら子ども達の考察結果を論じていたが、回覧させていた感想文の表から息子の書いたものだけが抜き取られていた。翌日担任に息子の感想文だけを抜き取った行為は息子の存在を無視する行為に等しいと訴えたが、担任は息子も知らない人から誤解を受けないようにするために守ったのだと主張し、話は平行線のままだった。☆中2の時、学級内で生徒の持ち物が隠される事があった

とき、心障学級担任は犯人探しをする際に、全員に目をつぶらせ「やった人は正直に手をあげろ」と指示。二語文程度しか理解できない息子は「手をあげる」と言われて、手をあげてそのまま犯人扱いされた。説明を受けて息子の行動パターンから人のものを隠すことは考えられなかったことや手を上げた意味が違うのではと反論したが、担任は完全に決め込んでいて話にならなかった。他の担任も息子の肩を持ってくれたが、聞き入れなかった。後日、他の保護者から「やったのは、お宅の息子さんではないと子どもが言っている」と聞かされた。

事例 68 自閉症 (中度)

☆半年ぐらい前、夜に突然「駅員さんのバカ!●●●急キライ!」と大声で叫び出し、物を投げ始めた。息子は自分の経験したことを言葉に置き換えて伝えることがほとんどできないため、何があったか全く見当がつかない。翌日、最寄り駅に問い合わせしてみたが、トラブルの報告は無し、とのこと。就労はしているが、通勤距離が長く、心配は尽きない。

☆幼少の頃、こだわりも多くパニックも頻繁だった。原因がわからず、家の中であろうが街中であろうが突然暴れ出すので、そういうときはとにかく力づくで押さえつけて親子でバトル状態だった。親が障害特性を理解できるまで、パニックの対処法など、助言してくれる人が欲しかった。

事例 69 自閉症 (中度)

①今年の4月より2か月間にわたり ②●●●●区内中学校特別支援学級 ③担任教師 ④独り言(自閉症女子生徒の)がうるさい、周りの子に影響するとの理由で、個室に閉じこめて鍵をかけた。女子生徒が泣きさわぐにもかかわらず数時間放置、毎日のようにくり返されていた、とのこと ⑤本人の母親より相談を受けた ⑥教育委員会(区)、学校長、担任と話し合った、とのこと ⑦女子生徒はくり返される暴行が原因で不安定となり、●●●●病院に入退院後、転校。中学校校長、担任には対応の改善を求めたが折り合いつかず ⑧本人の母親からの相談だったため、聞く話が一方的(学校からは私自身直接説明を受けたわけではない)ただ、個室に閉じ込められて長時間放置されていたということは、他の保護者も目撃しており、事実と思われる。帰宅後に、学校のできごとを詳しく話をすることができない子どもに対して取るべき(どのような状態だったにせよ)処置ではなかったと思う。この母親本人も、働いていることもあって子どもに対して放任ぎみ。家庭と学校との連携も全くとれていなかったと感じている。

事例 70 自閉症 (中度)

●●●(放課後学校内活動)参加中での出来事です。通常学級の同学年ぐらいの男の子と珍しくとても接近して遊んでいるのを見かけました。一見仲良くふざけあっているように見えたのですが、近づいてよくみると・・・肩を組みながらお腹に蹴りを入れたり、げんこつで殴っているを目撃しました。気づいてすぐに呼び止め、●●●のスタッフの方々に事実を話しました。本人の口からはなぜそういう事になったのか、真実は全く知る事はできないのですが(言葉で状況説明をする事は本人にとって困難な為)実際にその様子を目撃してしまった私はとてもショックを受けました。その後、担任の先生にも相談し、嫌な事は「嫌」ときちんと相手に意思表示をする、という指導をして頂きました。先生、●●●のスタッフの方々のご指導により、今は自分できちんと意思表示の力をつけ、特に問題は起こっていません。

事例 71 自閉症 (中度)

①昭和57年、小学校特殊学級で担任教員に殺〇〇割をかけられました。学級は複数の教員及び補助教員がおりましたので、彼等が報告してくれました。校長、教育委員会に父母、7人位で訴え出て、事実と判りその教員は転任しました。この教員は障害児が嫌いだったようで、クラス全員に対して「汚いからそばに寄らないで」等と暴言を吐いたりしたこともありました。本人の資質の問題が一番大きかったのかなと思います。私の子供はうるさいと言って殺虫剤のスプレーで顔に向けて噴霧したそうです。②平成7年、●●●区立通所施設で非常勤スタッフに顔となぐられました。当日、施設の職員が大きく顔をはらした息子連れを来ました。所長の謝罪の言葉はありましたが、なぐった本人からは一言もありません。そして、その後は担当をはずすというだけの受理でした。私の子供がパニックでそのスタッフに手を出し

たようですが、医師も驚く程の顔のはれようには、ショックでいまだに怒りを覚えます。これもそのスタッフの資質の問題とは思いますが、今だったらマスコミのニュースになるようなことだと思います。③私の友人の〇〇子さんは養護学校高等部時に、プールで担任の教師に手を引かれ、バタ足の練習をしている時に溺死しました。これは単なる不注意ではありません。息つきもできず苦しんでいる彼を無視したのです。後に裁判で勝訴しました。

事例 72 自閉症 (中度)

①小学校 ②登校中 ③地域の方 ④犯人扱いされる ⑤その方が息子を校長室へ連れ行く ⑥当時通っていたカウンセラーへ ⑦事が終わってから家庭に連絡あった ⑧まずはその方の所へ手土産持って詫言にいった ⑨自分自身全く初めてのことで先ずは詫言するものだと思ってそのような行動をとった ⑩なにせ大昔のことなので参考になるかどうかわかりませんが、当時息子(自閉症)は一人で通学しはじめたばかりでした。「鏡を覗き込む」こだわりがあり、駐車してあった車のミラーを覗き見ておりましたら、いきなりその方に注意され、息子はなぜ怒られるのかわからなかったのでしょうか、その車を「けた」そうです。そこでその方は、なおさら腹を立てたそうです。よくよく話を聞いて見ましたら、その方いわく、大事にしている車を日頃からいたずらされていて、いつか現場を見たらこらしめてやろうと思っていたところ、息子がそのような行為をしているところを見て誤解したそうです。私が詫言にいった頃はその方も大部冷静さをとり戻し、申訳なかった様にしていました。その後、誓約書らしきものをとりかわしたと聞き、そんなことまでしなくてはいけないかと思いました。確かに息子が車をけたことはいけないが、言葉不自由のため、「弁明」「釈明」が出来ないことでこのような誤解を受けて、くやしい思いをしたこと、今でも覚えております。

事例 73 自閉症 (中度)

①小学1年の時 ②学校の中 ③担任 ④教室にカギをかけた、ぶたれたりした。 ⑤下校後帰宅すると様子が変わった ⑥学校 ⑦私がノートにその担任の行動をわかる範囲で記録し、校長と教育委員会と話し合いをして解決した。 ⑧担任が病気を理由に病欠後、退職した ⑨担任が精神的な病気だったのに、そのまま支援学級にとどませた学校の考え方に納得がいかなかった。私たちが問題にしなければ、そのまま障がいのある子には、⑩こんな先生でも、クラス担任をさせておけば良いと思っていた教育委員会がおかしい
—— ①中学の時 ②学校の中 ③中学生 ④ズボンが脱がされ、性器をみられた ⑤障がいをかかえている子の親 ⑥担任 ⑦解決したと思うが詳しくはわからない ⑧私の子の様子をみていたが、された様な感じではない ⑩普通クラスの子供が同年令にいじめられていて、そのやり場のないのを障がいの子に対してやってしまった ⑨あってはいけないこと
—— ①会社上 ②会社の上 ③たぶん仕事がよくわからずに怒鳴られたりぶたれたり、給料が5万円位で9:00~20:00 月~土まで働いた。 ④本人が「やめたい!」と言ったこと ⑤就労支援センター ⑥会社をやめたので解決 ⑦就労を支援してくれる授産施設へ入り、その紹介で会社に入った。現在、2年以上経っている ⑧最初の会社では、自分の子が怒鳴られたり、給料が少なくても障がいがあるから仕方がないと思った ⑩母親の私がい慢していれば、いつか子供の事を理解してくれるという消極的気持で黙っていて子供を傷つけてしまい、申し訳ないと思っています。本人が思っている事を正しく伝えられないので、親が理解して他人に伝えなければと思います。

事例 74 自閉症 (中度)

①小学校3年生 ②心障学級 ③新しくきた男の先生(年のいった方) ④直接見たわけではないですが、全く理解(障害者について)していない普通学級の先生だったのが、M(問題)教師として普通学級で受け入れられなくなり、心障学級にしかたなく来た先生でした。→後で問題起こった時に調べて分かった事です。 ⑤1学期の終わり頃より学校に行かなく(2~3日)なり、それまで大好きな学校でした。夏休み終わって、2~3日登校した後、不登校になりました。1年半近く不登校に。3年生の2学期~4年生全学期まで。初めはその先生が原因とは思いませんでした。しかし、他の子供達にも影響出始め、クラス全員のお母様方が立ち上がり、⑥校長先生にお願いしたり、教育委

員会などにも。他の先生方も、全く理解しようとしないう先生に指導上困る事も多くなり、困られていました。私達親も感情的になる事なく、話し合いの議事録など準備していました。そして決定的な事が起こり(大切な個人情報(障害レベルを示す)の裏に習字のお手本書いて生徒に持たせた事)⑦3学期にお母様方全員で教育委員会に議事録や証拠の品を提出し、議員さんも同席のもと、教育委員長に「1年でやめさせて欲しい」と訴え、受理されました。⑧その先生の変わりに、それなりの先生が来て下さいました。しかし、以前として息子は不登校でした。だんだん心の傷もいえてきたので、家にクラス全員で散歩の途中で寄ってもらったりして、少しずつ学校に対する抵抗感を無くしながら(4年の後半ぐらい)キッカケがあれば大丈夫と思えるまでになりました。その時の校長先生が騒動の時の方とは違ってまして、とても心配して下さい、他の心障で頑張ってたらしい自閉症の指導にベテランの先生を引っ張って来て下さり、5年生の春、4月に家まで迎えに来て(事前に顔は合わせていて、家で様子も見てもらっていた。)強引に連れて行って(体が大きいのでお友達の車に乗せて)下さいました。それから又登校出来る様になりました。もちろんその後問題も起きましたが、ベテランの先生の指導の元、息子がどんどん変わって行って、中学は心障学級に入れるまで2年間ですべて頂きました。その先生に出会わなければどんな事になっていたかと思えます。⑨心障学級の先生は、それなりに障害児教育を受けた先生がなる物としてもらってれば、こんな事にならなかったと思えます。そのM教師は次の学校で心障学級の主任として行き、結局女の子に(言語のないかわいらしい子)いたずらして、副校長にその現場を見られ、退職しました。我が息子は敏感にその先生の異常さを見抜く事が出来たのか>・・・と後で思いました。ものすごい人間不信になってしまい、その後大変でしたが・・・。

事例75 自閉症(中度)

問4→・10年以上前でしたが、親の会が作った民営の作業所でのこと。ある一人の利用者(女性)に対して、その両親(高学歴で、母親は幼稚園の園長でした)についての悪口など、利用者にも日常的に言っていた。当時は、指導員は全て〇〇先生、××先生と呼ばせ、保護者側から言えば、そう呼ぶのもこちら側がはずかしくなるような方々が、民営作業所には沢山いました。もう過去の事ではありますが、そんな中での、10年以上通わせていたのを今思い出しても悔やまれます。我が子には虐待等はありませんでしたが、近くで見聞きしてとてもつらかったと思えます。・これも当時の事(10年ほど前)しつこく注意をされ、パニックになり、外へ飛び出る利用者がいて、その方をひもでしばり、外へ出られないようにしていた。・作業所から外出し、帰宅途中、一人がはぐれてしまいました。いつまで待っても帰らない子の親は、関係者に連絡を取りましたが、対応は迷子になったら交番で聞くよう、日ごろから親が躰をしておくようにと保護者会で言われ、開いた口がふさがりませんでした。それが出来れば、作業所へは行くはずがないのです。今の民営授産所は、そんな事あまりないとは思いますが、全く障害者の事は理解なく(自分の子供さえ)感情のまま行動し、不適任な方々がいっぱいいたように思えます。まだまだいろいろありますが、今は民営作業所も親以外の方が仕事をしておいでのようで、あまりそのような出来事もないかも知れませんが……。1~2年に一度、福祉施設で仕事をしている全ての関係者に対して、適・不適のチェックをし、不適の場合など研修を受ける義務を負わせてもいいのではないかと思います。ただ研修を終えるだけではなく、理解度も合わせての機会が是非あってほしい。

事例76 自閉症(中度)

養護学校の卒業生をボランティアとして、重度の子供の下の世話や、体育祭の時に急に呼び出し、重度の子供のつきそいをさせたのだから、交通費位の額でこきつかい、他のボランティア(他の学校に移られた先生)にはお弁当が出ているのに、彼にはそれすらなく、また、校長が変わり、彼の顔がわからない為、「ケイサツを呼ぶぞ」と最初からやさしい声かけがなく、彼の事をしている先生がたまたま通りかかったので、事なきを得たが、その校長が、体育祭の時に(都合の良い時だけ)呼びつけている。彼は、(35才位)私の息子の入学時から可愛がってくれていたの、その後も家の方に電話があり、知り、何人か他にも知っている保護者もいるが、校長が変わっているの、話を聞いていません。彼も、学校で役に立っていると思っている部分もあるので、

判断が難しい。

事例77 自閉症(中度)

友人からの話→養護学校卒業後、就労したが、障害者雇用の補助金がある期間(養護学校の先輩)が終わったら「あいさつができない」という理由で解雇された。自閉症の息子は現在31才になります。息子が幼児小学校の頃は親の私にも障害について知識がなく、体罰を加えながらも、必死で育てて参りました。障害の理解の前に人として身につけてほしいことをいっしょけんめいやってきました。おかげさまで、息子は養護学校卒業後、就労が実現し、家では家事をこなし、落ちついて、豊かな生活ができています。幼児小学校の頃、必死のあまり、体罰も加えてしまい、かわいそうなどをしたとは思いますが、今の生活に至ったことで後悔はありません。息子も時々、当時のことをなつかしげに言葉にするようになりました。学校や社会の中で、不適切な対応はされたことはあると思えます。なにしろ、ちょっと一般的ではない所のある人ですから……でも、いじめとか虐待とは、とらえていません(多分本人も)。社会の中で生きていくには、一般の人にもたくさん試練があります。息子にも、そのようなことはあると思えますが、今日も張り切ってパート職員として会社に出かけて行きました。

事例78 自閉症(中度)

①本人(小学生の頃)へ 姉(私も3才違いなので、小学生の頃) S47-S50年代 ②家の中 ③私(姉)から弟(本人)へ ④本人に対し「死んでしまえ」とか「いらぬ」とか言った、たぶんたいたりもした ⑤今考えると、あれは虐体だったと思う。当時は私自身も子供だったの、特に深くは考えなかった。本人も理解してなくて、聞いてもニコニコしていたが、親の悲しい顔が忘れられない。⑥なし ⑦今はないと思う ⑧特になし ⑨後悔している ⑩当時は兄弟に対する障害者の教育虐待など、勉強する機会がなかった。一般的な人に対してもなかったと思う。やはり、理解を深めるためにも、障害をもつ人を家族に持つ人や、そうでない人も含めて、勉強をする機会を学校などでもうけるといいと思うし、(今はあるのかもしれないが)親の会などでもそういう機会があるといいと思う。

事例79 自閉症(中度)

「障害」という理由がわかる以前、彼に伝わらない言葉、勘定に何度かいらだちを感じた事があります。特に、家庭事情も、転居したばかりであったり、周囲の理解が得られず、当時は相談機関の行政もこちらに早く「障害」を認めさせる事を先としているような気がして、困っている事が伝わったかもわからない状態でした。その後、また転居などがあり、その土地に比較的落ち着ける状態となり、行政を初め、医療、療育機関と向き合う事が出来るようになりました。ただ、一度、唯一の信用機関の医療機関に現在の自閉症を否定されて、別の場所で、再び自閉症と言われた時は、何と信じれば良いのか、もうわからない状態でした。

事例80 自閉症(中度)

①H13年 ②幼稚園で ③先生に ④目線が合わないで先生にむりやりあわそうとされていた ⑤登下送迎中に ⑥何も対応していません ⑦していない ⑧なし ⑨本人は目せんあわすのが、こわいのに本人にとってプレッシャだし、不本意だと思う ⑩先生が目線をあわすところわいというのを(本人と)認しきされていなかったから。

事例81 自閉症(中度)

①パニックをおこした時 ②家の中で、又は車の中で ③父親が自閉症の息子に ④言葉でののしったり、車を急発進したり、急ブレーキをかけた時 ⑤車と一緒に乗っていたので ⑥相談(福祉センターへ。DVもあった為) ⑦離婚して、今は別居している為、今のところは… ⑧- ⑨親としてどのように対応すべきだったが ⑩親、大人の問題 ①電車、バスにのって ②いつも ③周囲の学生や大人たちに ④「あれ、みる。へんなやつがいるゾ!」わざとよけるようなまねをする。笑ってひやかす ⑤一緒にいたため ⑥相談していません ⑦解決していません ⑧私たちが気にしないように努力している ⑨いいことは思いません ⑩今の社会の現実

事例 82 自閉症（中度）

本人が不登校になったので、何かあったのではないかと考えました。当時は障害時学級でしたが、交流（普通学級との）もありました。何かあったのではないかと考えたのは本人の卒業後で、すべて解決しました。具体的には交流に無理があったのではないかと思います。いまさら過去をふり返って何かをしたいとは思いません。本人は今だに、今日の出来事の表面的な事くらいしか親には報告しません。何月何日に何が起こったかではなく、日々の積み重ねだったと思います。このようなアンケートはもっと早く行われるべきだったと考えます。

事例 83 自閉症（中度）

- 幼稚園でしつこくしよとして、主任の先生に物置に入れられた。担任と話合ったが、結局以後幼稚園に母子登園になった。同級生が母親に言って、その母親から私の耳に入ってきた。卒業まで半年だったので、がまんした。
- 小学校の下校途中、下の学年の子に足をけるまねをされた。私が見ていたのも、校長先生に話をし、注意してもらった。

事例 84 自閉症（中度）

家庭で、同居の祖母に、お前が居ると恥ずかしい、早く死ねばいいのに、といつもよく言われました。 学校で 1.本人が中学生 1~2年 2.校内で、学級内で 3.担任から、普通学級では生徒の指導が出来なかつたらしく、障害児学級の担当になつたらしく、意欲に欠けたようで 4.学習指導で怠る、ランチルームを使わせない、ランチのチケットを買わせない、弁当を強要し、他学級との交流を避ける 5.授業参観をさせないので強引に見に行つたところ気がつき 6.教頭と校長に相談 7.学校の体面と教師の人権ばかりを重んじて 8.体裁よく教師を他の学校へ転校させ、ウヤムヤに 9.学校で守られている人権は教師のためだけに。フツの学校でもそうかも知れない 10.閉鎖的な社会だから起りやすいのでは？

事例 85 自閉症（中度）

日常、家の中で障害児（本人 3 男）に長男（中 2、アスペルガー）が親の見えていないところでつついたりします。近よられるのが嫌なようで、車でもとなりに座ることを極度に嫌がります。部屋の中で近寄ってこようものなら、押ししたりして払いのけます。見かけたら長男に注意しますが、長男も過敏な為、神経を使います。でも兄弟ゲンカの中でしょうか・・・。

◎学校で“あるかもしれない” 今年、補助教諭として来た男性が、児童に全く向き合おうとせず、簡単に子どもたちに暴力的行動をした。私の子どもは話せないが、もしかして何らかの行動があったかも。（話のできる子どもが親に訴えたため、親が追及したところ認め、3 か月で自ら退職する） ◎登下校中に“あった” これは、障害児間での話なので、今回のテーマとは関係ないかもしれませんが、新しく転入してきた子（それまで普通級にいた）が、私の子どもを下校時に強引に「家に遊びにおいでよ」と誘い、連れて行ってしまった。母は知らずに家で待っており、連れていかれる途中で、同じクラスのお母さんが偶然目撃し、2人を離してくれた。“断ることができない”ことの大変さを感じた。学校⇄自宅は 50m しか離れていなくても起こることに、びっくりした。

事例 86 自閉症（中度）

中学を普通の中学に入れたら、学校の本がいつもなくなっていたり、ふえなどもよく物がなくなっていたのと、といれでいじめられていたり、運動場で石を投げられていたりして、いじめられていたので（時々、学校にのぞきにいついた）かわいそうだと思って、特殊学級のある学校に転校して特殊に変わった。中学 1 年の二学期から。

事例 87 自閉症（中度）

- 中学時代、両腕に青アザが出来ているのを（いくつも）見つけたが、本人は「なんでもない」と話してくれなかった。

事例 88 自閉症（中度）

- 就職してしばらくして、腕の青アザに気付き、本人に聞くと「なんでもない」と話してくれない為、わからず。会社との連絡に連絡帳を

利用していたため、「もし将来何かあった時の参考に」と前のページにメモしておいた。後日、基準局の方が会社訪問され、社長が「連絡帳を使っているのです」とノートを見せられたところ、メモ書きが見付かり「これはなんだ！」という事になり、会社の人に聞いたところ、「言う事をきかないので、言うことを聞けと何度もつねった」との社長からあやまられて、びっくり。その後、本人に聞くと「言う事を聞け、グューツ」とつねられ、アザがいくつもつけられたようです。それから皆さんにとてもかわいがられ、本人も「仕事は楽しい」と頑張るようになりました。

- ・町中で、まわりを囲まれたり、指をさされて何か言われたり。ジロジロみられたりはあった。とにかく人の目が気になる。

事例 89 自閉症（中度）

①特殊学級、幼稚園入園一年目 ②教室の床にツバをとばした ③担当教師に、クセになるとホッペをなでる ④⑤、ホッペがはれ、たたかれたことで固くなってしまった。帰宅して、ホッペが赤い、はれて、気って ⑥●●●●研究所に週一回ボランティアとの遊び、そこで相談した ⑦教師を呼び出し、事情を聞き、対応等の話し合い ⑧園長と共に自宅に謝罪にくる ⑨反省しているのか否か、見た目にはそう見えるが〇〇その後はたたくことはなし ⑩指が、手をなめる、持っている物をなめる、ツバはきも、この流れでやってしまったようにおもう。先生との話し合いで、たたいて治るものなら、とくにたたいて治しているが、そんな簡単に単純なものではないことを、それよりもツバはきを楽しんで(?) いるようなら、もっと楽しくなる、気を引くものを考えていかななくてはならないこと、家庭でも考えて行くので、一緒に協力しながら、ながい目で焦せらず、見守っていくべきで、家庭でもそのようにしていくことを話す。

事例 90 自閉症（中度）

①特殊学級、幼稚園入園一年目 ②教室の床にツバをとばした ③担当教師に、クセになるとホッペをなでる ④⑤、ホッペがはれ、たたかれたことで固くなってしまった。帰宅して、ホッペが赤い、はれて、気って ⑥●●●●研究所に週一回ボランティアとの遊び、そこで相談した ⑦教師を呼び出し、事情を聞き、対応等の話し合い ⑧園長と共に自宅に謝罪にくる ⑨反省しているのか否か、見た目にはそう見えるが〇〇その後はたたくことはなし ⑩指が、手をなめる、持っている物をなめる、ツバはきも、この流れでやってしまったようにおもう。先生との話し合いで、たたいて治るものなら、とくにたたいて治しているが、そんな簡単に単純なものではないことを、それよりもツバはきを楽しんで(?) いるようなら、もっと楽しくなる、気を引くものを考えていかななくてはならないこと、家庭でも考えて行くので、一緒に協力しながら、ながい目で焦せらず、見守っていくべきで、家庭でもそのようにしていくことを話す。

事例 91 自閉症（中度）

本人が小学校 3 年の時、担任教師に教室内で授業中? だと思うが、なげられるかなにかして、口の中が切れて、5 日以上縫い、その後熱が出たりして、最初は担任教師が連れていってくれましたが、再度私が連れて行き、熱に関しては別の小児科に連れて行って、すぐに校長とその担任教師があやまりに来ましたが、当時をふりかえり、今だに納得がいかないところがありました。あくまでも暴力は良くないと、私も言い続けてその教師のクビをしてみたいが、私の希望でいろいろ言い続けて、今はその教師はやめたと思っています。でも、もう終わった事なので、出来る丈忘れる様にしております。何か、絵を書いて指導している時、何もしなかった、出来なかったのが原因の様だと、人づてに聞いております。出来ない人間をどの様に指導するかが、教師の教師たる実力だと思います。出来ない人間=生徒を、暴力をふるったところで、怪我しか残りません。その判断が劣っているのではないと考えております。

事例 92 自閉症（中度）

①中学 2 年（私立普通学級） ②部活の部屋→トイレ ③同じ学年の部員 ④部屋に閉じこめられ、泣いてさわいでいると、先生が現れると同時にカギをあげ、本人がパニックしている様子を先生方に見せたらしい。（同じ部員の言葉） ⑤後日、いつもかばってくれていた本人が、かばいきれなくなり、言いに來てくれた。 ⑥親の判断で部活動をや

めさせた。⑦学校を3年から、養護学校（支援学校）へ転校させた。

⑨そのころの学校（進学重視）に問題があったと思う。（右手を痛めており、書きづらく、申し訳ありません）

事例93 自閉症（中度）

1. 高2のはじめ、2年5組 2. 担任（●●養護、●●先生）今でも居る 4. 頭を強くたたかれた 5. 担任から「ボク、ゆかりちゃんをたたいたんですよ、ボク、どうしたらいいでしょうか？」とTELがかかってきた。他の先生が見ている、あやまるようにうながしたらしい。6. 他の先生、副校長 7. うやむや、何もなかったようす。副校長は「配慮する」とのこと。8. 他の生徒の宿泊訓練時、親がその先生に「寝入りの時、てんかんのけいれんおこすことがあるので、寝るまで見てください」とさんざん頼んだのに、全く見ていなかったらしい、というクレームがあった。9. なぐることといい、お母さんがとまどうようすを見たがるサディスティックな人だと思っている。●●の心障学級で、介助員をやっている、教育学部卒でなく教員になった人で、自分が教員になり、夢がかなった（アイデンティティ）ことで、こども達が次々に犠牲になっている。教師になってはいけなかった人です。

10. 指導力不足、教員のレベルの低さは、それ自体が虐待である。さいしょ、なぐつたと聞いた時、警察へTELすればよかった。命の尊さ、愛情を全く教師が知らない。教師をかばうムードもよくない。

事例94 自閉症（中度）

家庭内で子供がパニックをおこして、手がつけられなくなって、親が子供をたたいたり、つねったりしてしまった。

事例95 自閉症（中度）

幼稚園・小学校ですべての方々には理解されていませんが、ともかく一度子供のことを保護者や子供たちに話す機会を何回か作っていました。そのことで理解出来る人と、そうでない人はいますが「世の中捨てたもんじゃないな」と思うことが多いです。何故おこる？の問いに思う事は「無知」の一言だと思います。（まだ小学生ですので虐待と言うより不適切な行動「指をさして笑う」「うざい」「きもい」などを言う）家族の中で母である私が一番不適切な行動をとっています…。本来ならば一番愛すべき子に対して感情的に怒鳴りつけてしまう…。子育てに対してずっ～と悩んでいました。何故、発語が無いのか？落ち着きが無いのか？私がすべて悪いんだと思っていました。保健婦や1歳半検診で相談しても「様子を見ましょう」の一言で、育児ノイローゼになっている時障がいがありました。感情論のつうじない相手に私の感情をぶつけていたのがわかりましたので、まず自分の精神の立て直しにとりかかえり精神科に通い子供の療育にとりかかりました。PMSなどで体調が悪い時は児童デイにいかせています。子供と距離をおいていくと自分が楽になりました。家族に対しての支援がほとんどなく“しんどい”と感じます。でも自分だけがこのしんどい子育てをしているのではないと気づいた時安心しました。できれば安心して子供を預けられる場所がもっともっとふえればうれしいです。

事例96 自閉症（中度）

平成21年8月●●市●●区 ●●病院（●●医師）で11歳の自閉症の子ども（男子）が陥入爪の治療に通っていたところ、1ヶ月以上ガーゼ交換などの簡単な処置だけを施されていました。どんどん悪くなり痛みも大きくなってきました。腫れ上がり、歩行も困難で外科的（切開）処置をするようお願いしましたら「こういう子（自閉症）はちゃんと大人しく動かないと約束してくれないと・・・」本人に理解させるように出来たら切っけあげる。」「それまでこのままにするしかない」と言われ大変ショックを受けました。主人が怒って病院に苦情を言いましたら、翌日切るから来るようにとといったそうです。そのような医者に手術してもらつつもりはなかったのですが他の病院へ行きましたら「手遅れになるかも知れないのですぐ手術しましょう」と手術してくださいました。本人もがんばって痛みを耐え、暴れることなくがんばりました。手術後10日ほどで完治しました。処置が難しいと思うならばじめから率直に話してもらえれば病院を変えることも出来て早く完治したと思うと残念です。●●病院へ通って、転院して、完治するまで1ヵ月半ほどかかっています。

事例97 自閉症（中度）

①小学校3年生のころ ②学校の学童保育中に ③要配慮児童についている担当の大人と健常児童 ④校庭を健常児童が、要配慮児童の腕をひっぱり、ひきずり回していたが、担当の大人は何もせずみているだけだった ⑤母親が予定の迎え時刻より早く行った時に見た ⑥学童の職員に話をした ⑦「担当の大人に指導をします」との答のみ ⑧学童へお世話になるしかなく、そのまま続けて行かせた ⑨くやしい！たまたま見ただけで問題として話せたが、見えない所でたくさんあるのかもしれない……と感じたものの、家に1人でおいておけず、やむを得ない状況なので、もっとサービスが選択できるようになればよいと思う。⑩要配慮児童のコミュニケーションのとりにくさなどから、健常の子がイラついて乱暴な行為につながったようだが、そばについている大人のサポートがなかったことはとても残念。何のためのサポートか？理解のない人への指導も足りないし、理解のない人をサポートにつけるのは、意味がないと思う。

事例98 自閉症（中度）

息子が小学部5、6年の時の担任教師が、不適切な言葉や態度でした。虐待とまではいえないかもしれませんが、子供達に発する言葉の一つ一つが、言い方が乱暴というか、雑に指示を出している様に聞こえていました。5年生の1学期が終わり、夏休み明け位から、子供が学校に行くのを嫌がる様になりました。新しい事に順応するのが難しい子なので、新学期などは家で自傷が増えたりする事が多かったのですが、この時期は特に荒れていました。ずっと様子を見ながら、デイサービスの先生とも話をしていたのですが、学芸会（11月）が終わった頃、こちらから担任と話がしたいともちかけて、子供に対する言葉かけや、態度の事など訴え、改善してもらう様にしましたが、納得する様な改善があまり見うけられませんでした。しかし、クラスの副担任の先生方や、他の学年の先生方がとても気を遣って下さり、本人も嫌がる事なく、学校に行ける様になってくれました。今は中学部になり、担任の先生にも恵まれ、変わらず元気に通っています。障害者に関わる人、特に職業として居る人は、障害者、児の事をもっと理解して接してほしいと強く思います。子供にとって先生というのは、一生を左右する位の存在なのですから。

事例99 自閉症（中度）

1. 中学生の時、学校内で普通学級の先生に動物の名前で、○○達が体操時間に出てきたと表現した。聞いたのは弟の方で、母さんが悲しむので、その時は言えなかったと、数年後に報告してくれました。学校へは伝えました（教師本人は転勤後でした） 2. 一般就労2つ目の会社で、パート従業員の人が数人集まる中で、本人をチラチラ見ながらヒソヒソ話しているのを大変に気にするようになり、2-3年続いた時に、もう仕事いかないと言い出し、何とか説得し続けましたが、その後退職。以来、在宅です。 3. 家族の中でも言葉の暴力がついてしまいます。（なぜ、どうして判らないのかのイラダチ）本人にとっては、一番きびしい部分だとは判っていても、つい出てしまうので、気をつけてはいますが、後でシマッタのくり返しです。

事例100 自閉症（中度）

地域の小1時代、通級を週に3回しておりました（他校の）。スキーの授業を校内の山で行っていて、（狭い所で2クラスいっしょで、各々しかもレベル2つに分けての指導）午後から通常学校へ行く為、迎えに行くとき片ひざあたりをカクカクとした様子で歩いて来たので、力も入りづらい感じで、どうしたかと思って、クラスの女の子がいたので聞くと、スキーで転んで泣いていたとの事。しかし、さほどの状態とは思わず（湿布ぐらいでと）とりあえず通常学級へ連れては行ったが、そちらの担任が指導中、どうも様子がおかしいと保健室で診てくれ、本人は訴える事しないが、病院へ連れて行く事にし、ひざの靭帯の負傷が判る。3学期中、伸びた靭帯の保護のバンドを着け、送迎しました。地域学校の担任に、どういう授業状態か、今後どうするかとの校長含めての話で、とりあえず混み合わない1クラスずつの指導をすることの解決策。それにしても、自分でスキーを片付け、昼食までの間、何も訴える事ができずにいたのだと思うと、クラスの子供でさえ気がついている事を、何も対処されていなかった状況はどうなのかと考えてしまった。（他にも多々あるので）しかし、担任は元々クラスの他の生

徒や全体の指導に問題のある自担任で、保護者からも不満が多く出ている状態だったので、この事以外にも色々あり、教育委員会に訴えようかとの親同志の話しにもなったりしたが、親達にとって、我子へのあの担任の仕返しが怖いと、どうにもならなかった時の事を考え、親の目の届かない学校の中の事は、人質にとられた状態、言わないでいるのが得策と決着し、そのまま2年へもち上がり。(全員の親が同じ思いではない事が難しい) 施設等の事も色々あり、書けなくなりすみません。乱筆乱文で失礼します。

事例101 自閉症 (中度)

①平成8年頃 ②●●●●店 ③当時の店長I氏 ④本人の仕事の手順の悪さや対応について、いつも大声で注意を受けたり、叱られた
⑤職場の同僚から後でできた。本人はストレスから自傷行為におよび、自身の両目をこぼしてたたいて、両眼とも外傷性白内障、右目は網膜はく離になった。緊急手術の後、著しい視力低下で、結局水晶体も摘出した。精神的に混乱し、大声で叫ぶという時期が3年程続き、在宅状態を予備なくされた。⑥卒業した高校(専修学校)の就職担当課と、●●●●の本社。当初は、いじめがあったとは知らず、過度の勤務時間が主な原因と考え、勤務時間の短縮、休日の増加などの処置をしたが、自傷はおさまらず、上記になるまで勤務させてしまったことは、親の不注意と自責の念は今もっている。⑦⑤に記入したように、最悪の結果となってしまい、本人の精神が安定し、現在のようになるまでに10年を要した。⑧視力は右左、眼鏡補正で十分な位に回復。(裸眼では水晶体がないので0.01) 大声は丸4年続いたが、2005年●●福祉作業所入所以来、徐々に落ちつきをとり戻した。⑨一般就労に対する認識の低さ、本人への重圧を理解できなかったことを、ただただ悔やんでいます。職場に関してのうらみなどはありません。⑩上記のように、本人の能力をこえたストレスがあったのだと思う。また、自閉症という障害の為、自身の中のストレスを解消する手段がなく、自分自身への攻撃という事で、転換を企てたのだと、ふびんに思っている。

事例102 自閉症 (軽度)

通園施設での保育(療育)時間に担任の1人が無理やり子供を抑えつけた(多動のある子だった)、ご飯の中に苦手なおかずを入れ込んでおにぎり状態にして食べさせた(感覚過敏の有る子)。他、複数担任だったためもう一人の担任から聞いたのと、参観で直接見た。自分の子以外にも、他児にも同様の対応。行った本人(担任)、もう一人の担任などで話し合い、対応を変えてもらった為解決はしたが、行為そのものが療育の範囲内なのか虐待と呼べるものなのかは親も当初悩んだ。一番問題なのは、担任(行った本人)が虐待とは思っておらず、むしろ「良いことを頑張っている」と思っていること、どんなことであれどんな年齢差であれ本人が苦痛で有ること、何度も同じように続けているのは虐待だと感じる。まずは専門機関、職員の知識、技能の向上が必要ではないだろうか。(少なくとも親の知識は超えて欲しい。知識、経験が少ないのならフォローできる先輩職員をつけて欲しい)

事例103 自閉症 (軽度)

①本人が3才ごろから 小学校低学年の頃まで ②家庭で ③母親である私が ④ぶったり、言葉による暴力を行った ⑥だれにも言えず ⑧、⑨自己嫌悪におちいり、いけないひどいことだと後悔した。⑩私がイライラしたり余裕のない時はけ口としてやってしまった。将来のこと、まわりの人の目など、悩むときほど、ひんぱんにしてしまう

事例104 自閉症 (軽度)

言葉が遅れたため、して良いことと悪いこと、必要なことを理解させるのが難しく、強くしかったり、空いている部屋に押しつけて閉じ込めたり、感情的になって手をあげたり、否定や非難の言葉を投げかけたりしました。ケガをさせるようなことはありませんでしたが、心は傷つけたと思います。これは私自身がかつてしたことです。幼稚園からずっと周りの子に「バカ」とか「キモイ」とか言われることがありましたが、小3まではエスカレートすることはありませんでした。小4の時、同級生の1人から集中的に言葉でバカにされたり、こづかれたりしたことが続き、本人はひどく傷つき、言葉で対抗できなくて相手につかかっていき、表面化しました。先生が仲介に入り、親にも話をし、手

を出してこなくなりましたが、相手の子は他の子にターゲットを変えただけでした。小6の時に学級崩壊となり、クラス内が無秩序となり、言葉による暴力が増加しました。肉体的には威嚇されることはあっても、傷つけられるようなことはありませんでした。中学になり(ここまですべて通常級に通っていました)クラス内での立場はひどくなり、誰にも相手をされなくなり、「なんでおまえなんかここにいるんだ」などと言われることもありました。その内トイレに入っていると、ライトを消されたり、出てくると「何でトイレの電気を消さないんだ」と理不尽に責められたりし、学校に行けなくなりました。通常級には子どもの居場所は無いことを認め、特別支援学級に移りました。

事例105 自閉症 (軽度)

・小学校時代、学級の中で、ゆうことを聞かないとのことで、ダンボールの中に閉じ込められて、汗を異常にかいていた。キョウフで口もきけず、次の日から八週間学校をやめさせた。おむかえにいついて気がついた。先生に直接話した。先生はなまはんかな知識しかなく、こちらの言うことはなかなかかわかってもらえず、とりあえず、登校せずやめてもらえた。昔の担任はひどかった。・施設通所の途中、おどかされてお金をとられていた。本人の胃の調子が悪くなり、本人に聞いたところ、お金をおどかされてとられたことがわかる。同じ施設内に通所する人だった。(10万円位の被害) 結局、加害者が首になり(けいさつ世話になったりしている子供だったので) 解決した。

事例106 自閉症 (軽度)

①小学校2~3年当時 ②学校で(普通学級) ③担任教師 ④差別発言、威圧的態度 ⑤登校拒否を起こした為 ⑥福祉センター療育相談、医療機関のカウンセラー ⑦中学校を心障学級のある学校に進学 ⑧高校は養護学校へ、本来の明るさを取り戻し、現在、特例子会社に就職 ⑨万事塞翁が馬で、このことがなかったら、中学、高校を普通学級で過ごし、指示待ち人間となっていたことでしょう。中学・高校を理解のある環境で過ごし、素直で明るく育ち、仕事に興味に楽しく過ごしております。

事例107 自閉症 (軽度)

①中学の頃 ②学校内 ③多分友人 ④うでにかみ跡 ⑤お風呂に入っている時 ⑥障相 ⑦こない ⑧誰にされたかわからなかったので、報告と今後の注意を依頼。本人にたずねてもいわないので、詳細は全くわからない。——。——通所——<不適切な対応> ①最近 ②施設内 ③施設長 ④本人がパニックをおこすような注意の仕方をしたのに、その後の大パニックを全く知らん顔でやりすぎた ⑤私(母)の目の前でそれをした ⑥その場で支援員に報告 ⑦施設庁にも直接話しをしたが・・・<私の中では納得できていない ⑧非常に腹立たしい ⑨朝、施設の玄関で外ぐつ→上はきにはきかえるのがいつ頃からか、朝すべきことをしてからでないと上はきにはきかえないというこだわりができていた。当日は通路内に他の利用者がたくさんおられたので、パニックをおこしてはいけないと判断し、あえて母は注意をしなかった。くつをはいたまま入ってきた息子を見て、施設長が注意。パニックをおこして玄関で大あばれした。それを母と支援員の二人で必死でおさえた。(息子は体が大きく力が強いので必死に言葉で説得?) それを施設長は全く関わらず放置、本人の問題行動を”理由”も考えず注意するのは素人のすること。その後、施設員の協力、服薬の開始を得て何とかクリアできた。(朝支援員が玄関であいさつ、見守りをする、という簡単なことで解決した。母が思うに、朝着いても誰も気にかけてくれないという状況が嫌でわざと気をひいていた感があった) ——。——。——<家庭内で> パニックをおこすと物をこわしたり、ガラスをわったりするので座っておちつかせる為にたたくことがあった……人からみたら虐待と思われる行動だと母自身も思う。服薬をするようになり、以前の様なパニックをおこさなくなった。母自身かまれたりけられたこともあったので仕方なかった。

事例108 自閉症 (軽度)

☆小学校1年生の入学したこの時、学校で、同じ学年の児童から本人のランドセルに砂を入られた。家に帰って来たとき、ランドセルから砂が出てきて気づいた。クラスの担任に相談し、日ごろ、本人に接したり、近くにいる児童に担任が個々に話を聞き、砂を入れた児童に対し、二度としない約束をさせ、解決しました。このことはとてもショッ

クで、小さな子供のいたずらとはいえ、今後も続いて本人が傷ついたら辛いと思いました。おそらく、集団生活の中で、うまくなじめていない本人の様子をからかって軽い気持ちでやったことだと思います。

☆幼稚園の年中の時、幼稚園の園庭で、年長の園児とその親に、本人の悪口を言われ、傷つきました。まだ障害を持っていることを親も受けとめきれない時期だったので、つらかったです。理解のある私(母)の友人に話を聞いてもらい、励ましてもらったことで、解決しました。それからこういことが、今後もあることは、しかたがないと、あきらめ、反対に気にしない努力をしてきました。☆小学5-6年生の頃、習い事のプールの更衣室で、ゴーグルをかくされました。本人がないことに気づき、私(母)に知らせ、プールの事務員に相談し、後日、ロッカーの裏から出てきたことで気がつきました。おそらく、同じ習い事している子供のだれかがいたずらしたことだと思い、着がえの時や荷物をしまうときに見たりして解決しました。しかたがない事だとあきらめて、見つけたとき、相手に注意するようにしました。

☆小学1年生の時、●●から●●に転校した時に、新しく入った●●の学校で、担任になった先生に、いままで積みあげてきた教育や療育のことを頭ごなしに否定され、本人の様子もさほど知らない状態で、知的レベルは低い子供だから無駄な努力だと言われ、要望を聞いてもらえなかった。障害を持っていても受け入れてくれる学習塾と、障害児が多くいる学童保育に入室させ、希望する教育、療育を学校以外の場所で受けることで解決しました。その後も本人にとって良い環境をさがしながら、専門機関にかかわる努力をしています。

事例109 自閉症(軽度)

幼稚園卒業より小学校1年生の間位で、毎日の様にあったワケではありませんが、家の中で、私(母親)が留守の際に、本を読んでいた時や算数の課題を教えてあげていた父親が(障がい受容が出来ていませんでした)無反応や、理解が出来ない子供に手を上げたり、脅かしたり(机のイスをけったり)していたようです。公園で皆と遊んでいる時に、お友達がヒョイ!と手を挙げた時、うちの子がとっさに首をすくめたのを見ていた友人が教えてくれました。私も、そんな態度をとるのは、何かされたから……の反応だと思い、父親に問い直し、義父母と家族会議を開きました。義父母も障がいの受容が出来ず、本人に過大な期待をかけ、叱るよりは“怒る”事も増えてきていたので、私から再度よく話をし、家を出る決意をしました。実母に相談してみると、環境を整えようと理解を示してくれたので、父親とは離婚をし、親子2人で、私の実家へ入り、現在に至ります。

事例110 自閉症(軽度)

小学校の学校内で同級生に、言葉の暴力や、トイレで大便をしたらふざけやいじめを受けるようになり、登校拒否で学校に行かない時があった。その時は、本人も言わずにいたので、体が具合悪いと思っていた。その後、高校生になった時、話せるような状態になったので、当所の事がわかった。中学校へ就学にあたり、担任に相談したら、就学相談をして心障学級に進学をして、落ちついた様子です。学校、学級が違うようになったので、いじめた子供がいなくなった。●●の心障学級で、諸先生、同級生、先輩、後輩にめぐまれ、学校生活を送れるようになり、成長したと思います。いじめの原因を気づいてあげられず、申し訳ない気持ちです。本人の消極的な性格、体型も変化してしまい、学力も低下していたので、ふざけやからかわれてしまう事がエスカレートしてだんだん激しくなり、はねのけれなかったので起きたと思われる。

事例111 自閉症(軽度)

・誕生～2才頃。家庭内で母親が怒鳴ったりたいたいたりした。●●区の保健所で1才半～2才まで。福祉センターで2才～4才。誕生から～●●●●●病院にて発達相談と療育を受けた。言語療法、作業療法、心理等々、全てにおいて完璧な(3ヶ所とも)ケアであったと思います。子どもの物投げがはげしく、他人に迷惑をかける事が多く、仕方なく手が出たと思います。・小学生の頃4-5年の間 校内で担任により、ボールをあてて暴言、素足で冬のトイレに立たせるなど、本人や同級生の訴えにより気づく。校長、他の担任に相談。6年になり、男性の教師の担任が入り少し落ちついていた様子。不適切な教師は、本人が子どもの頃、やはり親にスパルタ(?)虐待(?)を受け、育ったとのお話だったので、自分でもおさえられないと言っていた。

・中学生の頃 登校中、他の学校(小学校)の生徒に傘でなぐられ、死ねなどの暴言を受ける。泣きながら登校し、校長より小学校へ注意を伺し、その学校の校長が朝礼で生徒に話してくれた。自閉症で独り言を言ったり笑ったりしているのを見ての反応だったようで、障害への無理解が原因だと思えます。

事例112 自閉症(軽度)

まず、虐待というより、不適切な対応、行動です。同級生のいじめに対する担任、校長の不適切な対応、黙認です。①小学6年生の時、通常学級に通っていました。②登下校、教室で③同級生数人④消しゴムを食べる。と言われた。→さらにエスカレートして、消しゴムにホチキスの針をさしたりしたものを食べると言われた。犬のフンを制服のポケットに入れられた。その他いろいろありますが、思い出しただけでもつらくて書けません。⑤あまりにひどかったので、クラスの良い子達が、自分の母親に言って、その母親から聞きました。

⑥まず、通級学級の先生(→よくやってくれました。クラスを見に来て下さり、担任にも言ってくださいました。また、指導室にもれんらくして下さいました。)と担任。(→何もしてくれず。(校長も))⑦弁護士にも相談。議員さん⑧教育長があやまってきたので、一応解決。でも、うちは転校させました。妹が、同じ学校にいたので、あまりもめるのも・・・と思い、くやしい思いをしました。今でも、その時の事を思うと、くやしくて、悲しくて、つらくて、重い気持ちになります。その時の資料、先生とのやりとりの連らく帳なども残っていますので、良かったら、いつでも見てみて下さい。担任、校長はひどい人でしたが、通級の先生や、そこの校長先生、転校先の校長先生が、辛い助けて下さいました。

事例113 自閉症(軽度)

小学校の時に担任の先生に授業中にさわいだため、なぐられたと母から聞いた。私は後から聞いたのと、●●と●●と離れていた為、そのままだった。養護学校高等部を卒業してパートとしておしぼりの会社に入れてもらったが、同りょう達に悪口をいわれ、会社へ行くのをいやがり、やめてしまった。病院の精神科に行き相談した。その後、施設に入れてもらって、今はグループホームに移り、パートで○○の仕事をしています。

事例114 自閉症(軽度)

②区立の小学校1年生の折、担任の先生より「お宅のお子さんには困るのよ。私は休み時間に職員室にも行けない。又国語の授業で書き順を教えても守らない。一人だけに目をかけているわけにはいかない」等々、毎週グチられました。親の方はクラス+1名の扱いで(特に目をかけてくれなくていい)と申し上げましたが駄目でした。子供たちは皆やさしく目をかけてくれました。区の相談には毎週出かけ、子供は個人相談を受け、その日は2時間目から学校を抜けて出かけ、終わったのちは学校には戻らず、親子であちこち出かけて楽しみました。親の希望があれば教師に連絡をとって下さるとのことでしたが、とても好転は望めないと思えたので断りました。「明日からは学校には行きません」と夕方になると言っていました。朝になると通学していましたので一応ホッとしておりました。特殊学級に転校したいと申し出たところ「その必要は無い」態度がいくらかやさしくなりました。特殊学級に電話したところ、見学には校長先生の許可がいるということで、担任は自分の責任を問われていると思われたか?とも感じました。2年生の担任は「何とも思っていない」と言われ、3,4,5年生の先生には恵まれましたが、もう限界かと思い、5年の中で特殊学級に転校し、本人は友達にも恵まれ楽しく(親子共)に卒業までいきました。企業では、社長等、上の人には恵まれましたが、現場の人には理解されないような行動等もあるようで、本人も迷ったようでした。今の企業では世田谷区の支援センターの援助で無事に過ごしているようです。⑦親の気持ちを察するのは敏感でしたので、あまりおこることはありませんでしたが○○長い年月でしたので、あるいはあったかもしれません。

事例115 自閉症(軽度)

①高等養護1年②教室③担任教師④土下座。生徒間のいきちがいを一方向的に話もきかず、関係を修復するどころか悪化させた。⑤親が少し強く注いした時に、いきなり土下座をした。そんなことはい

まだかつてなかったの、なぜそのようなあやまり方をするのか、問い正したところ、教室内で、忘れ物や着がえが遅いなどの謝罪方法として行っていることが判明。担任にも確認したが、悪びれずに認めた。一方的に話を聞かないのも、生徒間トラブルで担任の様子を見てほしいとたのんだ時『電話するな』『話をするな』と言っておきました』と、短絡的な処理の仕方をした。⑥他の先生(他校)⑦担任教師の資質の問題。逆ギレされた。⑧母親は精神的ショックを受け、軽うつ状態。ひたすら3月の終業式を待った。⑨なぜこんな人が養護学校で教師をしているのか、不信感がつのる。⑩教師の慢心。

事例116 自閉症(軽度)

①小学校低学年の時 ②給食時、教室内で ③担任の教師に ④牛乳が飲めないの、首を押さえられて無理に吞まされた ⑤同級生の母親に連絡を受けた。直接担任に逢って抗議し、教頭にも話した。其の後、クラス変えがあって、担任も変わった。又、生徒に屋上に連れていかれ、飛び降りると言われた事もあった。顔の傷、洋服の泥、ズックの等の紛失等はヒンバンに有った。

事例117 自閉症(軽度)

①10才ごろ ②小学校登下校中、分だんで並んでいく時か、どこでと具体的に言わなかった ③近くの子供 ④本人は口数が少ないので、はっきりとはいわないが、なんとなくおかしいと思っていたら(夜中にねむれないという言葉が何日か続いた) ⑤夜中に私をおこし、ねれないと言うので、じゃあ起きて少し話してもしょうか、と布団の上ですわって「何かあったの」と聞いたら、ボクは今「いじめられている」とうったえた。だれに、ときくと、名前まで上げた(2人)ので、始め知った。その時すぐその2人にいじめない様についてあげるからね、と答えたら「うん」と返事をし、安心したのか、それから夜中におこさなくなった。⑦本人が納得した。⑧私の考えで ⑨私の家の前で二人で遊んでいたの、私の子供と一緒に、遊んでいた2人をよんで「うちの子供から聞いたのだけど、いじているのじゃない」何も返事はかえってこないけれど、夜ねむれなくて一ヶ月位なやんでいたのだよ「こんでいじめたら、母さんとおじいちゃんに言うからね」その後いじめはなくなった。これからはいじめてはいけないう、と2人につたえた。⑩障害を持っている子供は、その子にあった学校に入れないと子供には良くないなあ、と後から思った。※親の気持として、普通の子供と一緒に学校生活を過ごさせてあげたいと思った。校長先生に相談したら、とりあえず1年だけと約束をしたが、毎年続き、他の子供達にもめいわくはかけてないので、と6年間いて卒業した。(中)養護学一今は授産所で、元気に働らいている ⑩わからない。弱者だから思ろがってだと思ふ。

事例118 自閉症(軽度)

①平成7年高等部入学した頃 ②教室で、体育館などで ③社会科の教師、運動クラブの教師 ④言葉の暴力、ばか、うるさい等。⑤学校から帰って本人が訴える、学校へ行きたくないと言う。⑥家族で話し合い、担任の先生へ伝え、面談をした。⑦本人が家族(親)に思いを伝えることによって落ち着いてくる。学校に行きたくない等、2、3ヶ月間は親子で大変ストレス溜まったが、運動部に参加したことで、よい方向へむかって行った。担任の先生には伝わったが、直接伝わっていないと思われる点で、根本的解決ではなかった。⑧その後も本人からの訴えあったが、話をじっくり聞いて、家庭ではつとめてゆったり、おだやかに過ごさせることで落ち着いた生活をしていくことができた。⑨それまで(中学校)団体生活(社会性)を重んじ、普通学級で、時には1次元をただすわっている学校生活だった。(ほとんどかもしれない)高等部に入り、今までとは対照的な充実した対応を期待していたので、本当にがっかりした。⑩障害者教育の教育者であることの自覚がない。教員としての資質に問題がある。本人が環境の変化(中学普通学級→高等部)に対応できなかった。

事例119 自閉症(軽度)

高等養護学校の時 ・学校で個別の強化、課題を本人は希望していたが受け入れてもらえなかった。・木工実習の時指示が通らなかつたのか、帰れ!といわれそのまま寮に帰ってしまった。・もう少し障害特性を理解してほしかった。 ・授産施設で ・他の障害の方との対応。苦手な場面(人間関係、雑音等)をお本人が訴えていても対応してもらえず。

自分で色々考えて対処していた。・通学、通勤の公共バスの中で何かあったのでは。パニック時に「バスの運転手さんなんて死んでしまえ」という。

- ・誰かに追いかけられたのか、恐かったと言っていたことが合った
- ・家では父が追いつめる言い方をする。普通の子に対しての親の対応かもしれないが、障害の事を考えて欲しい。

事例120 自閉症(軽度)

①小学校入学1年生の時、初等教育のベテラン先生(年輩女性)が担任に選ばれたがその先生はそれが大変不満だったようだ。母親を年中呼び出しては「大変だ大変だ」とこぼした。呼び出されても所用があり学校へ行けないと、何の用事か、何処へ行く、どれくらい時間がかかるかと根掘葉掘問いただし不機嫌になった。身体的に本人に手を加えたことはなかったと思うが分からない。2年生になり担任があ変わったがその先生は別に手もかからないし、大丈夫ですといってくれその後は学校から何かあったとは承知していない。②小学校の時、同級の何人かが家によく遊びに来たが、家の遊び道具(ゲームその他)が目的だったらしく、本人と遊ぶと言う事はなく、母親も一緒に遊びに加われば仲間に入れた。母親がいない時(近所への買い物)に戸棚、冷蔵庫などを探ってお菓子などを勝手に食べて美味しいことが何回か重ねるうちに分かった。③中学生の時、質の悪い女子が居て、カミソリの刃で顔をきずつけられたりしたが、学校に訴えても誰がやったかはっきりとした証拠もないと取り合わなかった。あからさまに障害のあるものが悪い、いじめられる方に問題があるという先生が居た。当時はそういう考え方をする先生がかなり多かったと思う。今でも内心はそうかもしれない。④中学の時修学旅行に連れて行かない(いじめにあうといけない)と言う話を聞いて、学校に抗議した。いじめの方を参加させて、いじめられる方を参加させないのどういう理由かと問いただしたが、明確な答えは無く最終的参加して旅行はできた。同じく学芸会があるのでその練習に、本人も張り切って練習していたが、その当日舞台上がって発表する仲間には入れてもらえなかった。これはその後本人の友達から「○○君は可哀想だったよ。ちゃんと出来るのに参加させられなかったから」と訴えられて初めて分かった。当日は父母共用車で行けなかったが、父兄の来校がないを確認してこっそり外したとしか考えられない。子の担任の先生は時々状況をメモ書きしてよこしたりしていたので良い先生だと思っていたがやはり、万一部隊が途中で躓いたりする可能性を考えて大勢来る父兄などへの見せ場をうまくしたかったのだと思う。この先生にしてこんなことがとたいへん失望したのを忘れられない。

事例121 自閉症(軽度)

①昭和61、2年、本人高校生の頃 ②帰宅途中 ③高校生(普通の不良でない生徒)2、3人 ④言葉の暴力のに、一方的になぐられた ⑤着がえの際、ケガをしていたので、本人に確認 ⑥相談していないが、後日、友人の障害を持つ母親には報告 ⑦泣きねいり ⑧そのまま ⑨ひどいと思ったが、泣きねいりして、徒歩をやめ、バス通学に変更した ⑩大人しくてケンカをする子ではないので、一方的にやられた。(ストレス解消のためか?)本人たちに理由をきいてみたかった。

事例122 自閉症(軽度)

・路線バスに乗車する時(H22年にH21年に)、障害者本人が定期券を見せた際、提示の仕方が悪いと注意を受けた。保護者が続いて乗車したが、必要以上に注意が長いと感じられた。本人には誤解されないように、ゆっくりはっきり定期券を見せるように話をした。(その場で)保護者が一緒にいたとわかり、運転手さんがばつが悪い様子だった。後日、同じようなことが別の路線で1度あった。(同じ会社、その時は正しく定期券を見せているのを保護者が確認しているにもかかわらず)利用者対応がとっても良いと感じていたバス会社の乗務員の言葉にショックを受けた。健常者に対するものと違いを感じ、仕事のストレスのはけ口にしているのでは、と思った。・健常児なら、家庭教師や塾にお願いできる学習を母(私)がずっとサポートしてきた。本人が中学生の時、何度教えてもできない問題(数学、国語)にあたる度、ついかつとなり、頭をたたいたり「バカ」等、心を傷つける言葉を言ってしまった。そんな言動をとる度に、自己嫌悪を感じ、家族や障害を持つ子の親に話を聞いてもらっていた。100%を求めないこと、頑張っている本人の努力を評価するように気持ちを変えることで解決した。

親の一言でいい悪いが分からず、行ってしまう事が多い。

事例 123 自閉症（軽度）

②①息子が中学の頃 ②地下鉄の駅 ③不明 ④一人で下校して生徒手帳をとられ、中に入っていたプリペイドカード（地下鉄用、テレフォンカードなど）が抜かれた ⑤破られた生徒手帳が見つかった。（本人は報告できず） ⑥学校 ⑦犯人がわからず、解決しない ⑧地下鉄の出口を変えた。 ⑨残念 ⑩弱い立場なので抵抗できなかったであろう ②①息子が高等部の頃 ②学校で ③同級生 ④暴力やことばのいじめなどがあった ⑤参観した際発見した ⑥担任 ⑦担任の細やかな声かけでなくなった。 ⑧暴力に会ったら、報告するよう教えた。 ⑨事故を守る方法を教えれば良かった。 ⑩他人に迷惑をかけないことばかり教えて、自分を護る方法を教えなかった周囲の責任も大きい。 ⑤①3年ほど前 ②企業で ③知的障害のある同僚 ④暴力や言葉のいじめなどがあった ⑤社長の奥さんが隠れていじめられているところを見つけてくれた ⑥社長の奥さん ⑦同僚が会社をやめたのでなくなった ⑧会社の人たちが気にしてくれる ⑨理解ある会社の人達で良かった ⑩いじめた側のストレスのはけ口になっていた。

事例 124 自閉症（軽度）

①3才～4才頃、幼稚園帰りの買いもの途中 ②スーパーのうしろの路地 ③通りすがりの男性（知らない人） ④歩いていてぶつかった、そのあと本人が平手でなぐられた ⑤とびだしていったのも、おいかけた。目の前だったので ⑥相談はしていない ⑦ひたすらあやまった ⑧「とびだしてはいけません、お母さんと手をつなぎましょう」と本人に言ってきかせたが、多動のはげしい頃で、本人にはあまり通じていなかった ⑨多動で困ることは多い時期だったが、「そんなしつけのわるい子供は、家の中にとじこめて、柱にしぼりつけとけ、外に出すんじゃないわ」とののしられたのははじめてだった。手もあげられるとは思わなかったの、くやしさと情けなさでしばらく外出すら怖くなった。 ⑩子供の不適切な行動は、理由の如何んを問わず、親の責任であり、しつけの足らなさと思っている人が多いということだと実感した。

☆自分の子が入園前3才頃、トイレトレーニングができていなかった。

①3才頃 ②自宅で ③夫の両親（子供本人にとっての祖父母） ④トイレが一人でできず、オムツがとれないのは母親のせいだと責められ、ふだん別に暮らしているが、一週間とまりこんでトイレの指導をうけた。子供は一日中パンツ、ズボンをはかない状態にされ（その方が大小便のタイミングがわかりやすいというので）母の私はタイマーセットされ、1時間毎にトイレにつれていくよう指示された。それ以外にも一日の生活をずっと監視され、ああしろこうしろあれがわるいこれがわるい、と責められてつづけた。それが一週間つづいた。 ⑤本人とともに母の私も一緒にされたため ⑥夫に相談した ⑦夫も両親に同調し、かばったりはしてくれない。そのままあたり前のように仕事に行っていました。 ⑧トイレトレーニングは失敗。私に育児はまかせられないと、●●の幼稚園に入園手続きを勝手にし、つれていってしまった。私にだまって夫が連れていった。かえしてもらうのに10ヶ月かかった。 ⑨今でも謝罪はしてもらっていない。夫だけは理解してくれて、とり返すのに協力してくれた。 ⑩障害があるのは母親のせい、育児のしかたが悪いからという偏見がねづよく残っていることが最大の原因だと思う。家庭内でおこると、どこに訴えていいのか、それが虐待であるのかさえわからなくなってしまふ。夫がその両親にいつまでも同調したままだったら、母子ともにおいつめられ、心中まで思いいたったかと思うとぞっとする。私（母）の両親、夫の弟が、それはおかしいと介入してくれて、夫を説得し、市の福祉課、●●の園の園長にはたらきかけてくれたのでなんとか子供を手元にとりもどせた。

事例 125 自閉症（軽度）

直接子供が関係しているのではなく、仕事先で聞いた話を書きました。 ①半年くらい前に聞いた②私の職場の取引先③取引先の従業員の方④障害者を3人ほど雇っている小さな工場で、障害者に向けての罵声や態度。 ⑨障害の子供を持っている私にとっては、とても悲しいことでした。今から就職にだすでも不安。一般企業だとこういう事があると、子供の気持ちがおかしくなってしまうと思います。そ

の中で、乗り越えなければならぬという思いも少しはあるので今はとても心配です。

事例 126 自閉症（なし）

①平成21年4月～6月 ②小学校、教室 ③補助の先生 ④ゲンコツなど ⑤担任の先生や、他のお母さんがおしえて下さった ⑥学級、学校の中で相談。補助の先生には注意などもしていただきました。 ⑦解決したというか…… ⑧その事件だけが問題ではなく、そもそもやる気がなかったようで、その先生は年度の途中なのに（6月）辞表を提出し、いきなりやめてしまいました。 ⑨無責任だとは思いますが、辞めていただいて、子供達にとっては良かったと思う。 ⑩そもそも息子がやんちゃでかまってほしくて、ちょっかいを出したり、すぐ言う事をきかなかつたりするから、だったと思います。

事例 127 自閉症（重度）

低学年の頃、学校で、休み時間に遊具で遊んでいる時。親学級の生徒さんが、砂を頭にかけた。教室の窓から、息子の様子をいつも見守って来てます。担任がその様子を見てました。その生徒に注意しまして、それからはありません。

事例 128 アスペルガー症候群（軽度）

①2008年春 ②中学校の職場実習の時 ③他の通常学級の1つ年下の3人グループ（チャレンジ……） ④1時間に1度10分の休憩時間に、3人グループに（会議室で休憩する）おぼけごっこするんで、おまは廊下に出てろと言われてたそうです。 ⑤休憩時間に、うちの子供だけが廊下に立っていた時、女性事務員の方が声をかけて下さり、分かりました。 ⑦うちの子供の担任が大変おこって、相手の学校に電話した所、次の朝、仕事の前に、先生と3人の子供があやまってくれました。その後、学校に来て再度あやまりに来てくれました。 ⑧何事もなく職場実習を終えました。 ⑨一般社会は何があるか分からず、怖いと思います。 ⑩うちの子供も、そんな理不尽な事を言われてもいい返せないんだなあ～と驚き、通常学級の子供は普通の事なんだな、と思いました。

事例 129 アスペルガー症候群（軽度）

①平成13年頃高等養護学校を卒業し就職したのの半年間②就職先③就職先の若い社員2-3人④身体を殴る、蹴る、ひきずる等⑤体中、又顔に青あざがたくさんあった為⑥高等養護学校の先生、友人の警察関係者⑦顔、頭のアザ、こぶがひどいため病院で受診。暴力を受けている事を話し、警察へ出す診断書を一応もらうが高等養護学校で今までにも障害者を受け入れてくれている就労先という事もあり、先生とも話し合い、警察には被害届は出さなかった。⑧半年間でその就労先を退社する⑨就労先の社長さんはいい人だったが、息子の障害の特性から社員の若い男性たちとは合わないかと判断し退職したがその当時は泣き寝入りすることが悔しかった。⑩アスペルガー症候群ということで言葉は普通に話すか場に応じた会話が難しく、又、相手の気持ちを考えて話すことも出来ず、一緒に仕事をする社員に対してかなり「イラツク存在」だったようです。

事例 130 学習障害（中度）

私の息子は、現在郵便局で就労をしています。障害者雇用ということで、平成21年3月から勤めています。勤務した当初は、おちつかない事も多かったのですが、今では少しづつ慣れ、喜んでいたのですが、先月11月20日に、仕事が変わり、今、苦勞をしております。来年、3月末で更新〇〇となり、その後6ヶ月毎の切りかえになります。このままでいくと、契約はなさそうです。今こまっている仕事や人間関係に対して、ジョブコーチを使いたいのですが、ジョブコーチを仕事場にいらしてもらえなくて、困っています。教え方もきつく、こわいのが先にたち、とても覚え〇〇〇〇まではいってないようです。鳩山政権になり、友愛精神とかいわれ、国の管かつである郵政なのだから、もっとちがうと思っていましたが、民間よりきびしく、障害者に対しても、理解が全くないように思います。障害者を仕事場で育てるという環境ではなく、やとえばいいと雇用の数字を上げればいいというふうにか思えません。知的障害者に対してもう少しいいい、指導していただけることを希望しています。サポートセンターも、当事者のサポートをもっと多くお願いします。仕事を続けるというサポートを入れた

らいというのではなく、長い間続けてほしいです。とにかく、郵政はきびしいところです。

事例 131 学習障害 (中度)

堀江まゆみ様 この問題について、質問状の作り方は難しいと思いました。私は七十代の男、父親をして娘がいる、位から社会人として働きだすまで三十年近く、娘と社会との接点と対応の状態を〇〇してきましたが、大部分は「わからない」になってしまいます。学校や職場での人間関係は、割りりとうも〇〇ですので、現場での起きた具体的な問題、虐待とか、不適切な対応の調査は、新聞で報道される、いわゆる「事件」以外の事実は、かなりの数であり、学校とか企業内で隠蔽され、闇に葬られていくということです。そのために、はっきりとして防止法の制度が必要であり、障害者への抑止めとして働き、更には告訴するというところまで発展できる。そのために具体的な事例が必要であるそう目的には大いに賛同致します、また、その法律の成立は絶対に必要であると思っています、堀江様の努力には感謝いたします。私の娘の場合、幼稚園から小、中学校は普通学級を過しました。割合によき教師、校長に恵まれ、また、職場でも良心的な指導員が多く、今まで特に問題があったということはありません。家に帰ってきて職場の〇〇など同僚の〇〇など会話がありますので、大体のところ理解できています。しかし、家庭における障害をもった〇〇の関心の無さや注意力はその両親の個々の区別があり、無関心や放置もあり、わが子がどのようなことをされているか、子供も親との会話不足またはいえないといった虐待もあるでしょう。それを具体的に洗い出すという〇〇さは私にもよく分ります。正常者でも最近では職場や学校で様々なことが起こっていて、私もそれを見て〇〇や、会社について転〇〇にもし、善処を求めましたが、結局隠蔽という結果で終わってしまいました。被害者と弁護士との目撃者、犯人ですね。三者一体とならないと、また感情的な問題もからんで、〇〇式通りには動きません。被害者が女性の場合、〇〇は仲に動きたがりません。まして、被害者が障害を持っている場合、証言能力に弱味があって強く主張できない訳です。だからこそ、法律と被害者の助力が絶対に必要です。頑張ってください。直接援護できなくて申し訳ありません。十二月二十日

事例 132 学習障害 (中度)

③小学校の通学途中、4、5人の男子生徒に囲まれてからかわれていたのを近所の方が見つけて、その子達に直接注意した、と事後に聞いた(30年位前の話、●●で) ④高等養護学校を卒業後、ある施設に入所したが、担当の職員が社会見学の際に、バスから降りた時に、息子が乗っている間にあまり〇〇時間だったので、イライラしていたらしく、仲間と職員に持っていた紙の筒で頭をうしろから続けて叩いてしまった。その時に職員が急に怒り出し、息子を倒し、なぐろうとしたのを見た。その時はすぐ思いとどまったので何事もなかったが、現場を見た。(15年位前)

事例 133 学習障害 (中度)

問3-2 ①確かな事は多少、はっきりしませんが(記入者母親78才、高齢で病気(高血圧、難聴治療)骨粗鬆症で薬を服用、障害者の介護は無理と診断されるも、本人が知的障害と身体障害、2種2級で家庭にいますので、どうしても母親は負担がかかります。一遍高血圧の軽い発作をおこしている、今わかる事を懸命にかいてみます。

①いつ頃は12才頃、養護学校の小学6年生位? ②養護学校の図書室(誰もいない時) ③養護学校の生徒(男で中学生位?) ④体を、羽交いじめにして、キスをされ、パンツの上から服をもまれた。娘は寝が不自由なので、その上に驚いて声が出ず、されるまま。でもすぐ人が来たので(助けてー)一応一段落つきましたが、しばらく情緒不安定が続き、私が学校に付添って行っていた。2-3日つきまどわれましたが、学校の職員、担任の助力で解決しました。みんな1人では、図書室には行きません。加害者の男性も、問題のある障害者で、まもなく交通事故で亡くなりました。問3-5 ①本人は、養護学校高等部卒業から、就労支援センターを経て、2-3カ所、幹施事業所で就労していましたが、障害者就労支援費が切れると首になり、悲しい思いをしました。19才~49才、障害者雇用法に引っかけて頂き、約30年勤められました。その間いろいろありました。親娘で頑張ってきたことはありますが、いろいろの方との交わりの事で、支援も頂き今迄来られたと思います。49才の時、通勤途中で転んで、救急車で運ばれ、

出血多量で危なかったのですが、その後、硬膜化血腫で脳の手術をし、退職して現在は、ヘルパー看護、ケアマネーの支援を受けながら、地域の障害者センターに月に5日、職員、友人と楽しんでいます。3-5 ①平成3年頃(25才) ②通勤の電車の中で ③中年の男 ④障害が重いので、通勤の電車は何時も最後の車両の隅に体を支えて、乗車していました。④娘は身長が1m45c位で低いので、男が鞆と自分の体で覆いかぶさるようにして、他所からは見えないような姿勢で、娘に(手)に性液をなすって、ニヤーと笑って、自分でなめ(舌)たそうです。びっくりして声が出ず、電車を何とか下車して、⑥乗務員に言って・・・その時は何とか・・・⑦その後、2-3回つけられました。仕方なく時間を(乗車する)10分ほど早目で、違う車両ののったり、お父さんが付添ったりして、それは終わりました。⑧社会的弱者は、一般社会に出るのは恐ろしい事だと思いました。⑩ハンディがある物は、変装してもすぐわかるし、目を付けられ易いので、一番わかり易く考えた事は、体の線が目立たない服装をする事。一番後ろの車両でも、運転手さんの見えるガラス越しの所に、多少不安定でもいる事、駅の方は、このような事があり、いつもどのような時間帯に、後ろの車両に乗車するので、よろしく配慮願いたいとお願しました。車〇〇×3、会社を止める時、母と娘で駅長室に行き、感謝とお礼と退職の旨伝えておきました。その後、娘が私とてたまに乗車すると、長年勤めた方達が、声をかけてくれます。嬉しい事です。こういう身近に見守って下さる方々(福祉関係の人)に支えられて来たのだと、性善説で生きて行きたいと思っています。(※30年就労中に、いろいろの差別にたえてよくやって来たと思います。)問3-7 大変悲しい話ですが、娘が退職後、家庭にいて介護を受けるようになった・・・同時に父親が認知症になり、今はデイセンターに通って治療を受けています。以上のように問題だらけで恥しいのですが、私が何とか言える内にと、娘を説得して書きました。 ※昭和49年4月~平成14年4月まで知的障害者相談員をさせていただき、親子さん達と、勉強させて頂きました。その体験、もう先がないので、虐待防止のマニュアルを読ませて頂いても、納得する事が多々あります。よろしかったら、お役に立たせて下さい。

事例 134 学習障害 (中度)

①高等部在学中 ②通学電車の中や駅のホーム ③普通学校に通う高校生達 ④ボールペンなどで手にギューと芯をたててついたり、一度はホームでたばこの火を手におしつけられたりしました。⑤本人の訴えと、たまたま近所の人が電車に乗っていて、本人の言っている事が本当だとわかりました。⑥担任の先生 ⑦~⑨私も本人と一緒に電車にのり、どの子がいじめているのかつきとめ、相手の学校がわかりましたので、学校側から相手の学校に連絡していただきました。そして、先生方と相談して、電車を一本早くして、駅、始発の電車に乗るようにして、席にすわらせるようにしました。(逃げるが勝ち)という方法を取りました。⑩世の中が淋しいのではないのでしょうか?自分より弱い人をいじめ(それも一人で出来ず、仲間でき出来ない)ことで、自分のうさばらしをしている。 ※会社でのいじめは、中国やブラジルの人が入って来てから多くなったように思います。あと、昨年からの不況で、仕事が少なくなってからも、多くなりました。

事例 135 学習障害 (軽度)

①幼稚園入園前から、心臓の事は伝えていた。入園直後、急に手術をしなくてはいけなくなった。入園次の日から、先生は娘にはとても冷たく、一人で、帰りの仕たくをしないと帰れないらしく(何人かだけ)(みんなクラスの教室に入っているのに一人だけ廊下に出されて、ウロウロしていた。「どうしたの?」ときくと「入ってくるな」と先生にいわれ、ドアをしめられた。先生に確認すると、「本人が入りたくないと断ったから」と冷たく言われた。)泣いていても、ほっておかれた。しかし他の子供にはやさしく、手伝ったり、スモックを洗ったりしていた。娘のスモックはいつも砂まみれで、ゴミ袋に入れられ、カバンにむすびつけてあった。帰るのはいつも一番最後だった。やさしい言葉もかけてもらえず、「おたくの娘さんは、ウソ泣きするんです!」とおこられた。3日目から行きたくないと泣くようになったが、「楽しいよ~」と話し、通った。二週間後手術の為1カ月休んだ。病院の先生からも許可が出て、幼稚園へ連絡すると「来るな!」と言われた。話し合いの中で、「幼稚園で受け入れ体制ができないと来てもらっては困る」と言われた。「いつそれはできるのか?」と聞くと、「それはわからない」

と言う。お金だけ毎月とられ、幼稚園へ行けないのはおかしいと、こちらが言うと、「在籍させてもらえるだけでも、ありがたいと思え!」と、理事長に言われた。結局その幼稚園はやめた。(2週間しか行けなかった)年中からは、別の幼稚園へ行ったが、毎日楽しく、先生方もやさしい方ばかりでした。②小学2年生の時、担任(普通級)から、「支援級に通っているんだから、おとなしくそっちにいろ。こっちに来るな!」と言われた。小学1年の時は普通級へ行っていたが、校長先生から「支援級へ行けば、その先生と、普通級で勉強できるので、お子さんの学力もつくだ」と言われ、病弱児クラスを作ってもらい、娘に、女性の担任がついた。しかしその方は、対人恐怖症と健忘症で会話のできない人でした。校長に相談する中で、その先生は、10月にやめていかれました。普通級の担任も理解のない方で、クラスの友達からいじめられていても、「娘さんに原因があるんだから仕方がない」と言われてしまうし、夏の暑中「町たんけん」があり、その後の給食で吐いてしまった時は「きたないから早く片づけなさい」と一人で片づけさせられ、保健室にも行けませんでした。帰ってきた娘は高熱で、しばらく学校を休みました。その時も横には幽霊のように女性の担任はいましたが、何も助けてもらえませんでした。担任どちらもが、娘にそんな態度だったので、子供達は「○○ちゃんには、何やってもおこられないんだ。勉強できない○○ちゃんが悪いんだ」といじめられました。校長先生に相談して、担任二人と話し合いをしました。「だから障害者の親はダメなんだ。ふざけるな!」と普通級の担任は大きな声でどなってきました。3年生になり、クラス替えがあり、担任も変わり、楽しい学校にもどりましたが、娘は今でも、2年生の時の事、幼稚園年少の事には触れません。言葉のどもりやつまりも出て、チック症状も出ていましたが、それもだんだん良くなっていきました。子供にとって学校内で一番頼りになる先生が、敵になってしまう、本当につらい1年間でした。

事例136 学習障害(軽度)

①平成21年頃 ②会社内で ③社員の方に ④言葉、無視 ⑤職員の方が訪問した時に、本人から相談されたと聞いている ⑥職員の方と私達で話し合った。 ⑦結果、息子とその方の相性が合わないという事に気がつき、上手に接するという事と話した。 ⑧その後、問題なく仕事をしている。 ⑨職員の方の対処が良く、大ごとにならず感謝しています。 ⑩我が家の息子はコミュニケーションはとれますが、人なつっこい所を好きな人もいるし、嫌な人もいます。たまたま嫌な方と仕事上会わなければいけなかったからだと、ただ、知的な障害が有るのがわかっているのに、少し気をつけていただけたらおたがひ嫌な思いをしなくて良かったのでは。

事例137 学習障害(軽度)

小学校高学年の時、普通学校に入っていたので学校のクラスの女子(たまには男子)に子供が近くを通っただけでキャ～とか言われて逃げられたと本人が私に言ってきました。普段何も言わない子なのに必死に私に訴えてきたのでおかしいと思い担任の先生に相談しました。下の子に(私には誰がその様な事をしたのか名前を言わなかったの・・・)名前を聞き出させ、直接TELで先生に名前を言いました。先生も「あ～、あの子!？」と言う様な感じで、さっそくその子を呼び出し、厳重注意をしてくれました。謝罪文を書かせ、私に持たせました。私は別にその子に謝罪文を書かせてほしくてその様な事を先生に言ったのではなく、クラス全体、学校全体の問題として、障害のある子との接し方を小さな頃から教えてほしかっただけなのですが・・・でもその女の子はその後たびたびいやがらせをしていた様です・・・。下の子(年子の1つ下の男の子)にもお兄ちゃんの事を「あんたも大変だね～、なんなお兄ちゃんもって!?身体障害者を持って!!」とか(知的障害と身体障害の区別もわかってない子!)嫌がらせを受けていました。女の子の方がいじめがすごいのかも!!なぜこの様な事がおきているかは、小さな頃から、社会全体が弱い子供(大人)を大切にしていってあげようと言う教育がなされてないからだと思います。

事例138 学習障害(軽度)

まだ父親が子供の障害を理解できない時、子供の心をキズつけていました。手も出てました。障害がわかってからも、ビシビシやらなければダメだと言って、口も手も出しました。学校の先生などに相談し、父親にも話してもらいましたが、おれの子供だ、と聞く耳を持ちませ

んでした。私が二人の間に入り、いつも子供をかばっていて、私に手を上げている時は、子供が一人でも逃げられる様に、くつ下に1000円と祖母の住所を入れておき、一人でも逃げられる様にしました。私も仕事をしているので主人(塗装業)が休みで子供と二人になってしまおうという時は、私が仕事を休んだり、子供を祖母の家にいかせました。子供は大人の(主人の)顔色をみたり、自分を守る為ウソをついて、その場をのがれていました。子供が高1年生になった時、離婚しました。子供は、自分を守るウソを今でもつきませんが、それはいけないヨと教えている所ですが、なかなかおきません。離婚は正しかったと思います。1ヶ月に1回逢う時は、決して子供だけではなく、私も一緒です。こ～なってから主人も少しは、ただビシビシやってもダメという事がわかってきました。主人が、知的障害の事をもっと勉強してくれていれば、私と主人ともっと話し合い、先生方の言葉にもっとすなおに聞く耳をもっていれば、うまくいったかもしれませんが、私でも子供の事では、泣きたいぐらい心がつかれてしまいます。

事例139 学習障害(軽度)

1.~4.小、中学校教室、友達数人(5人) 5.頭の毛をぬいたりしてはげになった 6.学校の●●担任 7.相談したが、決着つかなかった 8.お兄ちゃんが友達(本人の)を家に呼んで分かってくれた 10.お金を持って来いとこの事で、何度もあったから

事例140 学習障害(軽度)

問3① 放課後、体育館で級友約10名に「胴上げ」からおとされ、大たい骨の骨折。ケガを放置され、クラス担任も、本人の不在を確認せず、帰りの会を開催。他の教師がケガした息子を発見、病院に連れて行った。・クラス担任から「邪魔者扱い」をされておき、ふだんからの「いじめ」を認識しようとしなかった。 ②休み時間に級友になぐられる。帰校時に意思をぶつけられ、ケガ。問8、教育委員会に相談したが、何ら回答され、校長も誠意ある対応なくて。 ⑤問3-問6 小使いの使い方が大きくなった。本人が仲々話さなかったので、確認が遅れたが、1日数百円(10,000/月)程度の「たかり」があった。本人は「ことわれない」様子。会社の上司に相談し、必要以外のお金をもたさないようにした。————— 養護学校時代、就労の為の実習時(クリーニング屋)作業に失敗したと親が呼ばれ、苦情を言われた。煙草を吸ったことはないが、「吸う格好」をしたことがあり、吸った現場を確認せずに「吸った」とした。実習態度が悪いという評価を下された。後で調べると「障害者自立」の協力をしているという、名声のみが欲しかったように思われた。

事例141 学習障害(軽度)

小学校入学して、すぐに学習についていけなくなり、当時は発達障害(学習障害)について全く知識がなく、本人の努力不足だと思い、毎日何時間も勉強させていました(泣いていやがる日もありました)。時には手をあげたり、テストの結果が良くないと、クリスマスプレゼントをなくしたり、と今から思うと、本当にかわいそうなことをしたと思っています。小学校3年のころ、どうにもならなくなり、担任の先生から教育相談を紹介していただき、ようやくすべてに納得できました。(専門の病院でも診断してもらいました)小学1、2年の担任の先生は、私同様やはり発達障害についての知識がほとんどない若い先生で、今でもくやまれるのは、その時に「そういう障害の子がいる」という話を聞いていれば、もっとちがった対応ができたのではないかと、ということ。その頃は担任の先生にまで「家でどのくらい勉強させていますか?」(やっていると云ってるが、たいしてやってないのでは?というニュアンスで)「お母さんが教えすぎて、混乱してるんじゃないですか?」本人にも「お母さんの言うことじゃなく、先生の言うことをききなさい!」などと言われ、つらかったです。先生方にはもっともっと勉強していただきたいです。また、学校外ではお店(特におまつりの屋台)に一人で行かされると、おつりをごまかされるが多かったです。(このアンケートでは、もっと重たい虐待について調べたいようですが、このような事例もあるということを知っていただきたく、記入しました。

事例142 ADHD(重度)

①養護学校時代に学級で③同級生に④ひんぱんにケガをさせられた。アザをつくってやって来た ⑥学校に相談して⑦クラスを分けても

らった。⑧今は施設が別なので問題なくしている ⑨相手も病気であり、⑩当方は、自分で自分が守れないのでやられてしまった

事例 143 ADHD (中度)

平成 20 年 12 月、(●●区立)●●福祉作業所に、朝通所途中での出来事です。作業所に一番近いコンビニ、●●●●から子供が本を持って出てしまいました。いわゆる万引きです。警察に通報され、私は警察に子供を引き取りに行きました。万引きは社会的に大変悪い事で、障害者だからと許していただく気は全くありませんでした。ただ、今になっても納得いかないことが多々あります。●●公園の●●●●オーナーとすぐにお会いし、(この時だけ施設長も一緒に来てくれました)謝罪し、本のお金のことや、今後のことなど長い時間話し合いました。しかし、そのオーナーは①まだ示談などする気にはなれない。刑事事件にすることも考えている。②いつもあの子が入店してくると、気持ちが悪くなり、異常なストレスがかかった。③あの子が来るたびに本や品物が無くなっているような気がする。しかし証拠は無い。このようなことを長時間に渡って話されました。2 回 3 回と何度謝罪に行ってもくり返しで、許してくれません。最終的に作業所の所長の云うように、2 万円迷惑料として持参したら、これで終わりにすると云われました。そして出入り禁止を約束させられました。

事例 144 ADHD (中度)

①小 1-2 年②学校の教室③担任④言うことを聞かないからと、足やお尻をたたかれた⑤本人から⑥相談できなかった⑦未解決⑧普通級→特学へ転入した⑨とてもくやし悲しかった⑩子供の特徴をきちんと担任に伝えられなかったから、先生の理解不足 ①小 4 ②教室③担任(上とは別)④言うことを聞かないから「明日の給食はなし」と言われた⑤本人が泣きながら言った⑥担任に直接抗議⑦解決⑧罰を与えるときは、子供の心が傷つけない物として実行可能な物にするように頼んだ→わかってもらい謝罪してもらった。⑨わかってくれればよいが、ベテランだったので何故そんな事もわからないのか、と腹が立った⑩担任の勉強不足・理解しようとする気持ちの欠如 ①小 5 ②学校の校門近く③上級生(通常級)の男子児童④土をかけられた⑤本人の顔に土がついて帰って来た⑥担任と校長⑦解決していないし納得できていない⑧担任から上級生担任に話してもらったが、やった本人は「やっていない」と言い張り、担任からは「今後はこのような事がないようよく見ます」と言われたが納得できない⑨学校への不信感がとても大きく、くやし、悲しく、腹立だしい⑩通常級の児童への理解をすすめる事をしていないから ①1 歳-3 歳頃②家族③母(私)④たたかれたり「バカ」とののしられたりした⑤加害者は私なので…⑥どこにも相談できなかった⑦解決⑧障害のある事がわかり療育を始めたリペアレントを受けたりして、正しい対応を学んだ事で減っていった⑨もっと早くに障害がわかればよかった…と後悔の気持ちでいっぱい⑩障害がある事がわからず発達の遅れは本人の頑張りが足りなかったからだと思っていたから、早期発見と早期療育で防げたのかも…。

事例 145 その他(重度)

①息子が小学校(地域の)で先生の指示にしたがわないのでほっぺを叩かれた→先生から上の理由で叩きましたと詫言われました(手の形がついていた) ②上記の頃 養護学級で一緒に居た子供さんをおもちゃで叩いたので病院に行ったとの連絡 びっくりして行くとその子供さんはぶらんこから落ちたので病院に行ったと担任の先生もどうして教頭からそんなことを言ったのか? かわれましたと言われました、病院での検査の結果異常なし そのあと何も言って来られなかった ③養護学級中学部 3 年卒業式の先生の車(運動場に駐車)に砂をかけたので車の〇〇を塗り潰して欲しいと話があり 1 週間程前のことなのだがあの時あそこに座って遊んでいたのが彼だからと言われ ①運動場は先生の駐車する場所ではない ②息子がそこで遊んでいたからという理由でと抵抗したをお願いします、お願いしますで〇〇したが未だに納得出来ない ④主人が亡くなる前からショートに預かってもらって居た 主人が亡くなり 通〇〇〇〇〇が〇〇って 3 は〇〇 職員から〇〇しがあり 息子が家から物を投げた、彼が〇〇不安案になるのは何故か分かりますか お母さんの〇〇がなくなったからですと言われ大変ショックを受けた、すぐ迎えに行き連れ帰ったがその時所長から感謝が足りないと言われそれもショックだった、預かっていただいたから主人も〇〇ることが出来感謝していた

事例 146 その他(重度)

①小 2 ②学校 ③介助員 ④子供が悪いことをして(何か具体的には忘れまして誰かのベビーカーをさわっていた?) 介助員さんがおこっている時、激しい口調で「そんなことをするのは赤ちゃんや! 赤ちゃん! 赤ちゃん!」とバカにするように言った。それに対し、子供はパニックに……。⑤たまたま迎えに行った時、母親が目撃した。⑥担任の先生(支援学級の)⑦その時は子供がパニックを起こすことはよくあるので、悪いことをしたのは事実なので特に謝罪もなく終わってしまった。☆しかし 4 年たった今でもパニックの時おもいだして「赤ちゃん! 赤ちゃん!」と叫んだり、冷静な時でもおもいだすと「〇〇先生キライ!」と言うようになってしまった。⑧その後半年、学校ですれ違うことはあったと思うが、日常にお世話になる方ではないので、元々悪いことをしたのはあなただからおこられたんだよとどちらかの言い方をしてなだめた。⑨こだわりが強く、ほんとうに仲なおりにくいといつまでも言い続けるという初めての事例だったので、それ以降はこじれる前に修復させるようにしてもらったが、心に受けた傷は、もう一生治らないと思っている。その先生は翌年他の学校へかわられて、その件については忘れていたと思うが、うちにとっては大事件。子供のためと思ってもキツイ口調はやめてほしい。⑩子供の本当の意味でこだわりを理解していない教員・介助員が多すぎる。表面上、知識として知っているとは思いますが、現場に生かされず、ムリに行動を止めたり、課題をやらせようとするからだと思う。

事例 147 その他(重度)

①福祉作業部 ②指導員に ③働きが悪いからおやつを食べさせない、差別等 ⑤まわりの子供達から ⑥作業部を運営している所、法人、区 ⑦解決はしました ⑧活合いをする ⑨福祉に対する基本的なことを、講習会を持つ 6 年位前からケアホームに来た支援員さんが事あるごとに「アホ、アホかお前は」とずっと言われていたとのこと……それ迄何人かの支援員さんと〇〇して来ましたけれど、一言もそんな事を言われた人がいないと信じて〇〇していましたが、その人になってから、いろいろと問題があったりで、「イヤだな」と思っていた矢先、調理に入ってくれている女の人から聞き、とてもショックでした。本人は多分理解していなかったでしょうが・・・別にどこにも相談には行っていませんが、もうその人は退職しています。

事例 148 その他(重度)

①H11 年頃 ②通所施設、食堂 ③常勤職員 ④親と一緒にの行事の最中に娘の頭をコブシで両側からグリグリして「わがまま言うよみんなから嫌われるよ、自由になんかならないよ」と言った。⑤目の前で起きたので ⑥その日の夕方、同じグループの他の職員が訪ねて来てくれて、「なにか嫌なことを言っていたようですが申し訳ありません」としばらく話をされてゆきました。⑦暴言を吐いた職員はその後すぐに異動となりました。⑧本人からの謝りの言葉はありませんでした。⑨いろいろと大変な職場だと思ったが、やはりその人の人柄が一番大切だと思った。⑩不満、不平、イライラを利用者や親にぶつけるしかなかったのか(他の親のことも何か言っていたようだ) ~ 別件 ①H20.11 月 28 日 ②生活支援ホーム(ショートステイ) ③介助員 ④服薬はないにもかかわらず、他の方のでんかん薬その他 5 錠を飲まされてしまった。⑤生活支援ホーム(ショートステイ) 職員より電話あり。「はじめてのご利用ですのに申し訳ありません」と謝罪の言葉あり。⑥病院 ⑦ふらつき、眠け程度で大事にはいतरなかった。但し、普段服薬していないので、かなり嫌がって抵抗したとのこと。娘がかわいそうだった。⑧法人責任者 3 名が自宅を訪問し、謝り、このような事のないよう今後指導を徹底することのこと。⑨当事者本人の(誤ってのませた)話のほうがえなかったのが残念でした。⑩単純な手違いだったと説明されたが、お粗末だと思った。

事例 149 その他(重度)

①施設で親の前でも暴力をふるう時が〇〇の(共だいで〇〇くあった) ②その後は父親の方が入っておさまったが、しっちゃん何人かの先生に手を上げられていたようです。③相談はしません、息子がまだ施設におります時は親は泣寝入りです。④耳そうじや、つめ切り

など息子はいやがるものですから殆ど無視の時が〇〇もあった。親が子供に会いに行きましても知らんぶりの職員もおりました。⑤家に引取って今は親の方は大変ですが、子供を見ておりますと本当に良かったと思います。今は夜中こわい夢も見ない様し2-ホットしております。

事例 150 その他 (重度)

小学校の時、親がついていました。小学校でした。担任が「はっきりいって迷惑です」と言われました。2度目は養護学校中等部で、担任の先生が、前日に前髪が長くなったので切ったのに、その日ひどく短く切られました。一応、担任には言いましたが、うやむやにされました。

事例 151 その他 (重度)

①今年 ②職場で ③同僚のパートさん ④腕をつねられた ⑤本人の申し出で分かった ④「帰れ、帰れ」と言われた ⑥親の私が出るには問題が生じると思い、本人に会社側に伝えるように促す ⑦事務所の上司がパートさんにアプローチがあり、パートさん泣いていたと、本人より私に伝わる。 ⑧数日前に、土産だと菓子を持ち帰りました。(パートさんにもらった) ⑨障害を、理解出来ていなかったのではありませんか。本人も障害を自覚して健丈者の中で就労して早や20年、りっぱに今生に生まれた役目を生き抜いております。

事例 152 その他 (重度)

虐待とは言えないかもしれませんが ①中3の時 ②学校で ③担任に ④最近、機嫌が悪く、暴れたりするのでしばらく学校をお休みして下さい。と言われ、玄関先で帰されました。私の仕事先に連絡を入れ、その日は我子と共に過ごしましたが、なんか納得がいかず、夕方、校長先生に電話で相談し、次の日からクラスを替えてもらいました。でも卒業式でもなんか気まずい思いでした。

事例 153 その他 (重度)

H10年頃、通所施設に行っている頃、本人は口もきけずにすぐにおりました。通所職員(女性)が他の施設に移り結婚され、子供を産んでから通所施設の職員をしている頃、利用生に虐待したことがよみがえり、担当をしていた私の娘ともう1人の利用生の家へ電話をしてきて、あの時は手を上げ申し訳なかったと、あやまってきました。その時の娘の様子を考えると、家に帰って来てもおちつかず、すぐれない様に思いました。職員も自分が子供を持っているとわかり、本当に申し訳なかったとあやまって来ました。なぜ側にいる他の職員が知っていて、だまっていたか納得出来ません。その後、虐待した職員はノイローゼになり、当時、側にいた職員は他の施設に移り、問題なかったようになってしまいました。本人が口をきけずにいますので、親が盾になれるうちは良いのですが、親なき後が心配です。

事例 154 その他 (重度)

小学生時代(1-2年)、担任も支援学級の教員も養護学校に行くようしくよく言ってきた。その為か、他の男の子達がよりつかなかったり、悪口を言った。私も一緒に通学していたので(朝のHRまで)子供たちに口頭注意した。学校全体が否定的、邪魔者扱いでした。娘が小学2年生の時に私が大学に再入学し、養護の勉強を始めたたん、3年生から学校の態度が激変、とても環境がよくなりました(校長もかわった)6年生の卒業文集に娘だけのせてなかったのは怒!!学校に抗議、作りなおさせました。娘の分だけでしたが! ・通所施設では、下着を汚して、もっていた替の下着がなくなった時、男物のブリーフをはかされました(女性下着があるのにもかかわらず)施設・福祉協議会に抗議(市の福祉協議会運営施設等)施設長が自宅に謝りにきましたが、誠意がなかった(何故、怒ってくるのかわからない様子)→パートタイムの職員のみをせいにしていた。この施設長は天下りで、一番早く帰るので有名だった。 ・2-3年前、施設内で、かせぎの悪い人(賃金が低い人)に、デイサービスに行くように言われた。抗議して、つぶす。

事例 155 その他 (重度)

1. 幼稚園のとき、友達に先生が見ていない時にたたかれたり、つねられたりしていた。それまで、つねる、たたくということをしなかった子が、家族にするようになったり、あざがあった。本人は当時まだ会

話が十分にできなかったので、先生に話したが、わからないと言われたが、私の友人の同じクラスの子に聞くと、その子の言っていた子をよく見ていたらわかった。その子の家庭環境にも問題があったので、理解はできていたの本人には近くによらないように話し、先生にも話した。友人の子にもまたいじめられていたら私に教えてねと頼んだ。その後、まもなくその子は転校して、自然と解決した。ただし、先生の対応にはやや不満が残った。 2. 小学校低学年のとき、先生が教室に1人残して、他の子についていき、すぐ戻るともりだったが、そのまま忘れてしまい、1人でずっと教室に残っていた。下校時刻の1時間前だったの、迎えにいったが、なかなか出てこなく、様子を見に行くと判明した。先生が低姿勢で謝ったので、そのままとした。その後、保護者同志の会話の中で、我が子だけでなく、同じようなことが多々あったことがわかり、互いの子どもの様子にも気をつけるように協力し合うようにした。

事例 156 その他 (重度)

①昨年(平成20年、私が聞いたのは昨年、しかし何か月も前からあった、という事実が分かった) ②スクールバスの中 ③バスの添乗員 ④中学生の女の子の体をさわったり、性的な虐待をしていた ⑤本人がうたえられなかった、その添乗員がベテランで、障害児のあつかいも慣れていて、親からも信頼されていたからその時のバスの運転手が見つかり、ビデオ(証拠)までとり(添乗員に見つからないように)警察に届けたから ⑥家族、友人、知人 ⑦解決したようにしているが、まったくしていないと思っている ⑧バス会社を変え、教員が定期的にバスに同乗、女の子をバスの前の方に座らせる、など。添乗員は警察に逮捕された。 ⑨教員は定期的同乗していないことも多いし、根本的に解決していないと思う。 ⑩虐待した本人は「障害があるから何も分らないかと思った」と言っていたと聞いた。これはひどいことで、人権を無視しているし、あきらかに差別の発言。でも、それ以前に私達親がもっとスクールバスという密室空間であることに注意していれば、おこらなかつたかもしれない。被害者の身になるととても許されない事だが、バスを安全に運転していること、子供達の対応に心を配ってくれた時期に、私達が常に感謝の気持ちを持っていたら、その人はそんな行動に出なかつたかもしれない?

事例 157 その他 (重度)

・小学校の時、指にケガをした時、放ったかれ、その後傷口から体に菌が回り、入院した。処置が即ちにされていれば、これは発生しなかつたとおもわれる。 ・授産所の所長さんが体罰に近い行動をされていた。例・・・手で軽く体をたたく。 ・下校途中に小学生の子供にからかわれていた。 ・街の中で、車につれていかれた。

事例 158 その他 (重度)

保育園時代、言うことを聞かないと言うことで、担当保育さんがそうじ道具が入っているロッカーに子供を入れた(昔のことなのでよく覚えていない)子供が暗い所をこわがり、気がついた。 小学校4年、通学バスを待っている間、自閉の子(同じ学年)が息子をつねる。風呂に入る時、よく見たら両手で青アザになっている。古いアザもあり、長い間つねられていたようだ。担任に話し、バスの中気をつけてもらったが、見えない所でつねっている。自閉の子の担任に話したら(私の方が、息子)がバス停を変えたらと、こちらが悪い言い方をされた。結局泣きね入り。

事例 159 その他 (重度)

①20年位前 ②緊急短所入所で ③右の中指の上をタバコの火でのやけど ⑤帰宅してくつ下をぬがせてみてわかった ⑥× ⑦× ⑧× ⑨入所内では、もっとひどい虐待があるということを知った。 ⑩×夜間にそのことが多いということ、周りの職員がしっかり申し送りをしていれば、こんなことはないと思う。 ①養護学校在学中 ②学校内で ③教師 ④暗い室内に閉じこめられたり、変る変る教師が公園で歩かされ、腰が立たなくなったりした。 ⑤疲労で足が立たなくなつてわかつた、公園に(早朝私(親が))みに行った。(一緒に行動を共にした) ⑥相談する所が無かつた。 ⑦ナシ ⑧出来る限り、娘と一緒に学校について行った。 ⑨⑩その時代は教師がこんな重度知的障害は学校に来る方がおかしいという考えが多かつた。 ある通所で①通所内登園している間日中(数年間)その職員が退職して ある日、

5、6年たち、TELがあり、「実は、私は数年間在職中、虐待していました。申しわけありません。」その人は結婚して、子供が生まれ、自分の子供を虐待して、数年前の私の娘を虐待したことがトラウマになり、夜も寝られず私の家にTELがありました。育成会の通所、長い話しを(相談)しました。園長はただ、あやまるばかりでした。周りの職員にも、話しを聞いたのですが誰も口をとじていました。⑩職員のチームワークが取れていれば⑨今思い出しますことは、何人の自分のことを、伝えられな者は、いつもどこかでこの様なことが起きているのだということです。

事例160 その他(重度)

①2-3年前 ②自宅近くの道路(交差点) ③つきそっているヘルパー ④たたかれたり、つねられたりしていた ⑤3-4回同じこうけいをもくげきしている、本人(障害者)がなきながらヘルパーにあやまっていた ⑥本人の名前、TELを知っているので、保護者に連絡した ⑦ヘルパーをやめてもらった なかなか早く道路(信号交差点)があるかないのにはらをたてたヘルパーが、いきなり本人の首ねっこをひっぱって交差点をわたり、その後、頭を3-4発たたいた。本人があやまっても、ヘルパーが両手でつきたおしたり、うでをつねったりしていた。私はその交差点で車の中から見ていた。そのヘルパーは他の障害者に対しても同様の行動をしている様子。しかし、本人の保護者は「新しいヘルパーが見つからないとこまる」となかなかヘルパーステーションにもこうぎできず(ぎゃくたいを知っていた)私がとくめいでヘルパーステーションに連絡しました。その後、ステーションはそのヘルパー仕事をやめてもらった。

事例161 その他(重度)

*本人が中学校の特殊学級(知的障害)に在籍していた頃、同級生から受けた「いじめ」でありますので、本調査の趣旨に合うかどうか分かりませんが、記入させていただきます。①平成6・7年頃(中学2・3年頃) ②中学校校舎内 ③同級生(女) *障害的には軽度 ④ズック等の隠匿、腕、脚などをつねられたことによる痣の発生が継続的にみられた。⑤本人の訴え、本人の体の様子(痣) ⑥学級担任 ⑦⑧3年生時の後半には解消 ⑨⑩本人も能力的に十分説明することができなかったこともあると思われるが、担任の対応が速やかではなかった。なぜそのようなことが起こったのかなどについての説明は、特になかった。*特殊学級内の同級生(軽度)による、弱い者(重度)に対するいじめであると思われる。

事例162 その他(重度)

①昨年6月 ②新幹線車内で ③乗客、車掌から 乗客からうるさい、他へ行け 車掌から、他の車両へ移れ、7号車から11号車へ、体の不自由な者にとって、簡単に車両の中の移動不可と伝えた所、出入り口のドア前にて、ダンボールを敷いて座れと言われた。物ではないのに、クヤシさいっぱい!!帰宅後、後日●●へTEL。ただ「そうでしたか?」で終る(相談係の方) ⑨これは、●●の体質そのものと思っています。

事例163 その他(重度)

問3、②の「ある」について 養護学校高等部2年の時、学校の給食の時間に女性の教師に事細かく食事について指導されて、本人は一月位がまんをしていたが、ついに心がいっぱいいっぱいになってしまつて、夜寝られなくなってしまった。丸2日位寝なかったのも、いろいろ心あたりをさがしてみても気がついた。別の先生に(男性)相談して食事の担当を変えてもらった、良くなっていった。その先生はある意味でいっしょうけんめいだったと思うが、本人が17才の男性である事を見落としていたと思う。重度の障害を持っていても、成長していることを忘れないでほしいと思う。⑥の「あるかもしれない」について 作業所からケアホームへの送りの道中で、ヘルパーに体当たりされて、本人がよろよろとこぼそうになっていたところを、ケアホームの近所の人が目撃して知らせてくれてわかった。そのあと苦痛を言いたかったが、そのままになってしまった。言はずらかった。⑦の「あるかもしれない」について 本人が言葉で話せないのも、なかなか何をしたらいいのかかわからない。このごろは親も出かけるのもおっくうになってきて、家で過ごす事が多いが、本人は出かけた方がいいかもしれない。

事例164 その他(重度)

[不適切事例] ①10年前 ②帰りのバス終点で ③運転手 ④降りるのが手間だったら、運転手が早くしてくれないと入線時間に間に合わないと言われた。障害者であることは判るはずであるが、企業の啓発が足りないと思った。問3に関して 医療機関の態度 人手の制約、時間の制約もあることは理解出来るが、障害者に接する方法をもう少し勉強してほしい。

事例165 その他(重度)

①3才~保育園生 ②家の中 ③母親 ④大小便をもらした時 ⑤たたいた後、自己嫌悪におちいった ⑥夫 ⑦解決しました ⑧たたかなくなつた。ストレスがたまると夫に世話を頼み、買い物などをして気持ちを落ち着けた ⑨たたいた手が痛かった。悲しかった ⑩子どもの障害がなかなか受け入れられず、将来のことなどを考えると不安だけがふくらみ、やりきれずストレスとなり、それが大きくなつた時、子供の行動がきっかけとなりたたいてしまった

事例166 その他(重度)

①低酸素脳症の息子が3歳で通園施設に入園した時 ②通園施設内で ③職員から ④入院ばかりで何もできないのに、他児と同じ行動をとる事や、食事をムリヤリ口に入れられたりした。⑤入園して1週間で吐血をして、入院した。(胃に穴が開いた) ⑥直接、園の担任や園長と話し、児童相談所にも相談した。⑦信頼できる職員が卒園まで担任をしてくれた。⑧息子の病気や知的な事を理解してくれて、接してくれるようになった。⑨とても、かわいそうだったけれど、大事にいたらなくて良かった。⑩例えば、知的障害イコール自閉所うという考え方の職員や介護者がとても多く、他の障害による知的障害の人数が少ないせいか、まったく勉強されていない。脳萎縮があると、どんなに頑張ってもできない事や、覚えられない事がある事を、しっかりと、強く、伝える必要があつたと思う。

事例167 その他(重度)

養護学校小学校5-6年の時、自分で着替えが出来ないので、先生に内モモをつねられ、黒いアザがいっぱい出来ていました。お風呂に入る時、毎日のようにアザがつき、内モモはアザの上にもアザがついて、子供だったら外側に付くのに、先生しか出来ないと思いました。スクールバスで、同じバス停の役員(PTA)の人に相談したら、長ズボンではなく、たんパンをはかせたら?と、それからは一度も有りませんでした。自分で着替えが出来ないので、シャツのままほつてかれたりしてたと思います。風が直つてもすぐぶり返したり、冬の間は風がなかなかおきませんでした。学校に言っている間は、なかなか他の先生にも言えませんでした。子供が人じちで……

事例168 その他(重度)

①10年位前 ②新幹線の中で ③同じ車両の乗客の人 ④うるさい 静かにしろ と罵倒された ⑤一緒に乗っていたので ⑦母親として子供の障害の事を説明してわかってもらえるように頼んだ ⑩公共の場でいつも我が子が迷惑にならないか人様に迷惑をかけないかいつも気にしてばかりいてなかなか外に出れない。もう少し一般の方々への理解と啓蒙が進めばとおもう。

事例169 その他(重度)

①子供が小学校2年生の時 ②特殊学級内(現特別支援学級) ③担任 ④教室の窓全部に付クギを打ち、出入り口には南京錠をかけられた ⑤子供を迎えに行つて気がつく ⑥保護者・校長 ⑦クギと南京錠ははずされたが、たたいてでも教えて欲しいという親の子は体罰を受けていました。⑧子供が2年生になり、担任が替わり、始業式の日から、担任の第一声が「この学級を希望していた訳ではない」とか「家の3歳の孫より低い」とか言われ、初日より保護者達と担任の信頼関係はありませんでした。クギと南京錠ははずされても、教育という視点で向かい合う事は無理でした。担任を替えるよう校長、教育委員会にかけ合いました。保護者同志の連携もうまくいかず、学校側について保護者もいて、2人担任の1人だけ(2人とも資質的には同じ)替えるという結果になりました。⑨保護者の中には養護学校へ移る人、先生の機嫌をそこねると地域の中で暮らせないという保護者がいたり

して、我子はなるべく普通学級との交流の機会を増やす等して、2年3年と過ごし、4年から又担任が替わり、無事小学校を卒業する事が出来ました。⑩現在はわかりませんが、その頃は特殊教育に情熱を持っていた教員と、退職前の校長の配慮(?)により受け持つ教員がいて、特殊学級が、普通学校のおまけの学級のような存在でした。養護学校義務化からまだ数年後のことで、まだまだ認知度が低かったのでしょうか。

事例170 その他(重度)

30才ぐらいの時、近くの公園まで施設から帰ってきて、歩いて公園近くまで来た時、2人の女子高生に公園のふん水の所まで連れていかれ、カバンの中を調べられ(現金は持っていない)何もなかったの、はいていた靴の中に水を入れられ、頭の上からかぶせられたと、本人から聞き、公園まで行ったが、すでに誰もいなかった。どこにも〇〇はしていないから、その後は通い道を通り多めの道を歩くようにしたので、事件は起きていない。しかし、彼女は今もトラウマになっていて、その場所を通りかけると、思い出す。

事例171 その他(重度)

地元の小学校の障害児学級に通っている時、私の子供は重度でしたが、私がムリに(2年生からは、1日に3-4時間ずっと学校の教室にいました)お願いして、入学させていただきました。1年生の時は、とてもしっかり指導して下さる先生がいて下さり、子供もそれなりに成長してくれていました。(トイレの失敗がほとんどなかったと思います)2年生になり、その先生は他校へ転校され、新しく入ってきた男の先生に、1度ほっぺがゆびのあとがつく位たたかれました。(2、3日ひかなかったです)(ヤカンをさわろうとしたそうです)→あぶない事をしたので、と言うお話でしたが、それならば手をたたいてお知恵をくれればと思いましたが。(先生には聞いていませんが)女の先生には、子供がトイレを失敗した後に、赤いペンで×をつけていました(たたみの所があり、そこにゴザがしてありました)×の印をきくと、おしっこをした所だから(きたないから)、他の子がすわるといけないから…と言われました。自分の子供が失敗した事をあやまりました。新しいしき物を買いますとお願いした所、それ以来ゴザを取り、たたみだけになり、私の子が5年生で養護学校に行くまでゴザをひくことはなかったです。(とてもショックでした)

事例172 その他(重度)

就学前、就学中は私自身も同じような状況だったので、詳しい事は両親が他界した今、よく覚えてもないし、分らない。ただ、養護学校高等部在学中の折(昭和50年頃?)下校時、いつもの下校時間ではない時間に、いつも乗る市バスではない市バスに乗ってしまって、行方不明となった事がある。この件だけは、私が警察へ捜索依頼に行ったので、鮮明に記憶している。なぜいつもの下校時間より早く学校を出てしまったのか。なぜ乗り換えのバス停で、出迎えて待っていた母親があまりの遅さを誰より先に気付いたのか、今となっては迷宮だが、弟は、その日の夜中過ぎ、遠く離れた旧国鉄ローカル線のところある駅舎で保護され、無事だった。また、余談ではあるが、当時の警察の対応として知恵遅れ(当時総称)の行方不明者の捜索依頼というだけでは、そのフロアに居る警察官は誰一人として、その手を止めてこちらへ目を向けてくれる者は居なかった。そこで、誘拐の可能性をチラつかせたところ、とたんに全員が色めき立ちはじめた。

事例173 その他(重度)

①登下校時(小学校) ②通学路 ③学区の中学生 ④本人がうつむき加減に歩くのを見て、まねされた ⑤下校につきそって ⑥小学校の担任 ⑦中学の先生に連絡してもらった ⑧小学校は学区外、中学でその生徒といっしょになるので、このような様子では入学できないと申し入れた。・⑨通所施設で(授産所) ⑩同じ利用者 ⑪三度(同一人物)自閉症にたたかれた(一度は上ぐつで) ⑫指導員の連絡で ⑬作業所での話し合い ⑭相手の親には連絡がなかったので、連絡をしてもらい、三社で話し合った。所長に今後、このような事がないとは、保障できないと言われ、そんな言葉をかけられては通所できないと主張した。100%保障はどんなことでもありえないが、トップにその様な事を口にされては、親として子供を通所させられないと主張した。小学校当時の担任にも相談し、所長と先生が、少々面識があっ

たので、親が心配していると伝えてもらった。相手が自閉症のため、本人(ダウン症)注意すれば、エスカレートするとも言われ、二人が物理的に距離をあけるしかないような対応だった。今でも時折、注意してもらおうよう何度も申し入れている。忘れられないために。

事例174 その他(重度)

1.養護学校(当時)高等部の時、朝、家で排便がなかった時に、学校のトイレを使ったが、便座にすわらせてドアを閉め、教員はその場をかなり長い時間離れていた。一人では何をするかかわらない、予測不能なことが起こる可能性があるにもかかわらず、教員はこの行為を平然と行なっていました。母親が学校へ行った時に気付き、すぐに教員と話し合い、必ずそばに付いてもらうようにしましたが、教員は何が悪いのかよく理解できていないようでした。2.最重度のため、他の生徒と同じように行動できることは殆どなく、教員は、指導を放棄することが多く、互いに本人を押し付けているようで、責任逃れが多かったように感じています。父母会、個人面談の時に、話しましたが、あまり改善されず、ただ一日一日、何事もなく終われば良いという雰囲気を感じました。3.母親の入院中、短期入所をしていましたが、入所当初は、手続きの関係で通学できず、日中も施設にいたのですが、小さな部屋に鍵をかけられて、放っておかれるのを面会時に発見しました。又、夜、寝られないことが続いたのか?薬を使われたのか?ボート(異常に)していて、こちらの顔をみても無表情でした。4.入所施設に夏休みを過ごしましたが、安全のためか、全く外に出してもらえず、一つの部屋にとじこめられていたようです。夏なのに、日に焼けることもなく、まっ白でした。5.トイレには連れて行ってもらえず、おむつ使用、お尻がものすごい肌荒れ、かぶれになりました。3-5は母親入院中のため、解決のための行動がとれませんでした。

事例175 その他(重度)

・子供が登下校や、通学路で他の人とすれちがうとき、イヤな思いをしました。又、本人1人で歩行している時は、汚い言葉でやどられる事。・何年も同じ通学路なので、自然に顔をおぼえ、だんだん他人を認知してもらいました。

事例176 その他(重度)

①小学校4年生のとき(最重度知的障害) ②教室で ③担任の先生に(普通級でしたが、先生は「いるべきではない理由を14項目れんらく帳に書いてきました。) ④授業中、発達保障のため、5分間特別授業として、カードを読まされました。黒板に書いたらクラスのみんがほめてくれたりしたとのことで、いいときもあったようですが、厳しく「トラック!!」と何度も言わせたりもしていました。・娘だけ「〇〇さん」と姓で呼び、「〇〇ちゃん」と名前では呼ばないよう、クラスの子どもに指導していました。皆困惑していました。障害児の教育は、普通の学校生活とはかけ離れているものだと、強く思われました。また、手伝わぬよう、まわいの子にも言っていました。自立のためなのかと当時は思いましたが、「何を手伝い、何をさせるかをまわりの子どもたちに考えてほしい」というと、「小4の子どもには無理」だと言われました。⑤子どもたちや、保護者から教えてもらいました。⑥普通級の親の会 ⑦5年生で担任がかわり、楽しく過ごし、成長しました。⑧6年生もすばらしいクラスで、お互いを思いやりあいながら卒業しました。中学も普通級に進みましたが、下の子(小4、重度知的障害)が学童に通えなくなり、中3から特別支援学校に姉妹で転校しました。⑨能力に満たない者は、排除されるし、排除の過程にいじめはあると思います。発達保障として、個別学習計画を作成したり、普通級の教師には負担が重いのかもしれません。先生が変わって全くなくなった事から、個人の信条によるものとも思いますが、効率を求めながら、優しさも、と器用にできる人は少ないし、知的の子が普通級のカリキュラムについていくためのサポートがあまりにも少ないので(法律もないし)、個人の情熱に頼るのはもう無理、と思いました。⑩普通級に通わせたから。教育委員会や、県庁に行く(県教委)など、行動はしました。でもダメでした。

事例177 その他(重度)

①小学生になり外出出来ると判断したので兄弟と一緒に近所の公園へ行かせる事にしました。30分ほどし、少し心配になり家の前で待つ事にしたのですが近所の女の子が私の所に走って来て「石を投げつけて

る子がいるよ」と教えてくれました。公園へ行こうと足を向けると兄弟が本人を連れて帰ってきました。やはり兄弟の口から「男の子達が本人に石を投げてきた」と言ったので、すぐ公園に行ったのですが男の子の姿は有りませんでした。②障害があるため越境入学をやむをえない本人に、ある日の朝登校をするため玄関を出た時の出来事でした。いつもと変わらない登校でしたが、近所の子供達の分団がたまたま家前を通ったのです。今までは何もしなかった普通の登校風景がその日を境に本人がいると歩道を歩いているとわざわざ車道において通る様になりました。どのくらい続いたのか覚えていませんが1年以上続いたことは確かです。その後子供たちに聞く事はありませんでしたが毎日挨拶をするよう心がけるようにしました。どれくらい過ぎたか・・・少しづつ子供たちがあいさつをするようになり、少しづつ車道に下りる子も減っていき現在はみんな歩道を歩くようになりました。あとでわかったことは「あの子おかしいもん」「バカだから近寄らない」など母親から言われた子もいました。

事例 178 その他 (重度)

①小学生時代 (特殊クラス在籍) ・登下校中に同じ学校の普通クラスの生徒数人が、子供のズボン、パンツを全部脱がせ、下半身を裸にして、大笑いしてからかっていた。子供の様子が変わるので、担任教師に知らせたが、「うちの学校にはそんな悪い生徒はいない」と、調べてくれなかったのが親が子供のあとを尾行して見はった。案のじょう、現場をつきつとめて、その生徒を連れて、担任教師の所へ行き生徒の口から「やりました」と言わせた。結果、担任教師はわびて、犯人、生徒への指導をした。教師は、何のたよりもならないことが分かった。・ちょうど、校内のものをいたずらすると「この手が悪い」と言って手が真赤に腫れるまで叩かれた (担任に)「何回言ってもすぐ言う事を聞かない」と言って、他の子へ見せつけるつもりで、男性担任教師が、子供の顔を思いっきり殴る。なぐられて泣いてばかりいいるので、もう2-3回なぐる。顔面が腫れる。それでも何の治療もせず帰宅させた。急いで病院に連れてゆく。医者もおどろき「校長、教育委員会に電話します」と言ってくれたが、親が直接学校に連絡して、その一部始終を知る事になった。なぜすぐに治療をしなかったのか。これが特別の教員なのか。質の悪さにかっかり。失明する所だった。次の日、校長、担任教師があやまりに自宅に来る。教育委員会に言われなくて良かったと言う様な態度が見える。子供への仕返しが怖くて言えないのが実情だ。①②の二人の担任教師とも後に出世して校長になっている恐ろしさ。③通学バス (路線バス) で、バス運転手に「降りる動作が遅い」と言って、所定のbステイで下ろさないで、いつまでも乗せていられる事有り。バスの運転手の質の悪さ、バス会社の社員教育に疑問あり。④障害者が歩いていると、必ずすれ違った人々はほぼ100%不思議な目でじっと見る。振り返っても見る。「バカが歩いている。あれバカじゃん」と言う子供が多い。これは、社会全体の問題であり、国の貧困でも有ると思う。⑤最近は無くなったが、作業所等でなぜ出来ないのか、なぜもっと早くしないのか、等の事で、大声で怒ったり、体を叩いたり、してその場を通過させようとする事が、根本的に解決に至らない事があった。この件に付き、面談で話し合い、あるいは親、職員も研修会でカウンセラーの話を聞いて、根本的な解決に向けて努力しています。関わる人が変われば、子供は、すぐに化する事も分かりました。今は良い状態です。研修会が必要です。

事例 179 その他 (重度)

休日等自宅で本人が母親の言うことを聞かずわがままを言ったり母親を殴る事があった。机を蹴飛ばすこともあった。母親の方がアザだらけになり目を覚まさせる気持ちで母親も子どもをたたいてしまった事があった。同じ障害者を持つお母さん、学校の先生、施設の職員等相談した。皆放かっておくのが一番知らん顔していれば良いと言われた。ただ1人障害者を持つお母さんは何かと親身に相談に乗ってくれた。それから母の気持ちが少し落ち着いてきたら子供にも伝わっていったような気がするが時々まだ暴れることがある。まだ解決はしていないしなぜおこったかもわからないしそれが施設で何かを受けて母へ反動かと思ったこともあったけれど今は何かあったらすぐ相談できる障害者を持つお母さんと真剣に考えてくれる職員の人が1人見つかった。まだまだ戦いは続くと思うたぶん私が死ぬまで続くと思う。追1.私 (母) は通所施設で働いています。障害者の人から殴る、蹴るということを

されることはあっても職員の方から手を出すことはありません!でも母と子 (障害者) になるとそういう訳にはいきません。幸いにも私と息子は違う施設に居ますので家で息子のストレスを発散しているのかもしれないと思っています。追2.通所施設でも合う人合わない人が (障害者同士で) いますのでそのケンカを止めるために職員が障害者から虐待を受けると言うこともありました。

事例 180 その他 (重度)

障害児学級 (小学校) の担任が知的障害のある子は馬や犬と同じように調教すべしと公言し、軍隊のように整列させたり細かいルールを守らせようとしていたりした。よく学校に出入りしていた親が気がついて、校長に相談したが担任の肩を持つ発言だったので教育委員会に相談すると次の日に善処された。もう学校の考え方が嫌で養護学校に転校した

事例 181 その他 (重度)

同じ特別学級の女性から下校時に駅のホームから鞆を線路に投げられたり、その子の家の方向に鞆を持たされてから言ったりした事がある。見ていた駅員さんが学校に連絡をしてくれて発覚した。本人が学校の先生や親に注意されてそう言う事は無くなった。

事例 182 その他 (重度)

高等部を卒業して作業所へ入って間なしの事 (11年前) 帰宅した子供の首筋から顔にかけて赤い斑点が無数に出来ており、医者へ連れて行った所「うっ血」している。これは相当強い力で抑えられた風に見えると思えたので翌日、その旨を作業所、所長、指導員に確認した所、そういう事実はないと言う事でしたが、私はそれをそのままとは、受け取ってはいませんし、信用していません。そのあともう一度同様の事がありやはり事実はないと否定されました。しゃべれないので、自分にされた事を親に言えませんが、注意深く見ていたがそのあとは、所長、指導員もやめたので、その後は同様の事は起こっていません。保護者から、聞いた話ですが、作業所へ通う市バスの中での事、その子はバス帝の名前を次は〇〇です。お降りの方は気を付けて……とのしゃべっているのがうるさいとバスの運転手に言われ、他の人の迷惑になるから降りて下さい。と言われたとのこと。車内で携帯で長々と話をしている人には一言の注意もないのに、弱い立場の者には、降りろと言う、これはおかしい事だと思います。もっと暖かい目で見守る事はできないでしょうか?この後送迎が出来たのでそれに切り替えられ、楽になったと喜んでおられます。

事例 183 その他 (重度)

①学校 (養護学校高等部) からの下校中 ②バス停から家までの帰り道 ③下校中の小学生からジロジロ見られたり、歩き方を真似されたり ④一緒に帰ってみて ⑤家族 ⑥解決していない 相手が小学校1、2年生なので、声を出しながら歩いていたり、ニヤニヤしながら歩いていれば不思議がられるのは当然だと思うのですが、そういう場面に出くわした時、どのように小学生たちに声を掛けていいかわからない。また、同じ小学校に弟が通っているので、今のところはまだないが、弟への影響も心配がある。

事例 184 その他 (重度)

就職後会社で (従業員に) (連絡があった) 間もなく手の甲に、タバコの火をつけられた (会社)。(6) 会社の上司に (7) 解決しました。以後、時々あった様ですが、一時期辛抱すればなくなる、と辛抱させて就業させました。以降全然ありません。以降ずっと同じ会社に勤務して居ります。

事例 185 その他 (重度)

①・本人が30才位の時 ・家庭で ・親に ・本人が、家庭が安定して自由が約束されているゆえか、外部の事ばかり楽しそうに、何度も繰り返して言う。あまりくどいので、本人に「家を出て、どこか施設に行く?」と言ってしまった。 ・本人はイヤ!と静かになった ・親としては、本人を静かにさせる為のおどしになってしまったと、大いに反省した。これも虐待の一つだと思った。 ・今後は前向きに本人と話し合っていく。②通年・親が疲れていたり、めんどうな時。本人が訴えたり、気がついたりしても、話をきいてやらなかったり、

体のケアをしなかった事。・これは解決していないし、自信がない。でも、今後は少しずつ、父親にも力を貸してもらい、本人とかかわって行きたいと思っています。

事例 186 その他（重度）

①通所施設に通い出して3年位たってから ②施設内で ③職員 ④平手打ちでなぐられた ⑤帰りに泣いていて、顔をみたら5本の指のあとがはっきり残っていた ⑥更生相談所 ⑦解決はしなかった ⑧その施設はやめさせた、今は他の施設で楽しく仕事をしている ⑨後悔はしていない、やめてから本人が明るくなり、おどおどしたところがなくなり、よかったと思う。⑩本人が仕事中に職員の顔を見たので感情と感情がぶつかったとの説明があった。

事例 187 その他（重度）

10年も前のことです。授産施設からのかえり、最寄りの電車のホームへ入ってきた車両に乗ろうとする所、同じ施設に通所し、ケアホームも一緒という年下の彼におりると言われ、急いでもどってきたとの事。実は、彼には気に入りの女の子があり、同席を邪魔されると思ったのでしょうか。ドアの閉まる直前だったとの状態でした。それから数日後、同じホームで雨傘を持っていた、立ついた息子に、ホームから下へ投げると言われ、拒んでいたのを側にいた女の利用者にとって、投げるよう指示し、わざと線路へ落とさしました。見ていた保護者の連絡で、駅員が拾いに降り、事なきに終わりました。保護者から電話があり、危険な問題なので、ホームの世話人さん（当時はこちらでいました）、施設長、彼の母親、女の子の母親、私とで、施設内で実情を詳しく話し合いました。お互いに悪い点等あり、結局、施設から駅迄の通所バスが二便、二便とあるので、彼に一便、息子が二便と、ホームから出発の時間も異なり、これは一応解消しました。子の様な事は、あと耳にした事はありませんが、この度の調査表を提出するに当たり、ケアホームに前からずっと一緒、支援員さんは男性にかわっていますが、最近の様子をききました。やはり言葉の暴力は相変わらず、身体にかかわる事はないが、注意はその度毎にしているが、支援員さんのいない所では続いているそうです。初めて、その母親に？でも注意する旨、お願いしました。ホームに利用者五人部屋毎にお世話になっていますが、彼以外その様な人はいないとのお話でした。彼の母親も常識的な方で、私ともよく気が合い、良い方で話がある度にあやまって下さいます。息子も48才にもなってお人好し、あまり苦になってないのでしょいか。彼がホームをやすむと、どうしたのやると気をかけていると、支援員さんの報告でした。家庭内では全員息子の事をよく理解し、普通どおりにつき合っています。

事例 188 その他（重度）

小学生の頃は、近所の公園等で遊ぶことが多かったので、少し年上の児童達には、時々いじめられたことがあります。上記とは別に、保育園から●●小学校に入学の際（19年前）私（母親）が仕事をしていた為、学童を希望したところ、その対応に当たった市の職員に「障害のある子供が学童に入れるわけがない」と冷たく言われたことがあり、その時、非常にイヤな思いをしました。本人は最重度の知的障害者に『虐待』や『不適切な行動』を理解できないことが、かえって幸せかもしれませぬ。しかし、親や祖父母などは、何度となく『不適切な対応』を受けてきたのが事実です。

事例 189 その他（中度）

1.8年位前？ 2.施設内 3.施設職員 4.施設内の空屋になっているにわとり小屋 5.隣接する作業所の保ご者 6.彼は監？する行政？ 7.同様の事は起こってない 8.そのアト同様な事例は起こってなので解決したと思っている 9.絶対許せない 10.施設の規範が〇〇でいる職員の教育がなっていない

事例 190 その他（中度）

①小学校の登下校の時、普通学級の子ども達に、本人が大嫌いな犬の所へ、何人かでおさえられて連れて行かれ、こわがるのを面白がられた。本人と、妹がその時の状況を話し、気がついた。登下校時、母親がついて行き、「こわがることはやめようよ」と子ども達に話、いつの日か落ち着いていった。②通所施設（作業所）で職員から、本人が何か意見を言うと「お前はバカのくせにえらそうに言うな」と言われていた。

本人が「〇〇さんこそえらそうに！」といったら、本気で怒られたと聞いている。その職員は親に対しては、対応が良く見えたが、その後は本人がその人とはあまり話さない様でしたので、トラブルらしいものはありませんでした。③家庭の中で、父親の対応で、暴力的な面があります。一方的に決めつける様に話したり、食事の量をうるさく言ったりすると、本人が文句を言うと物を投げたりします。最近では本人の体力が増して来て、とっ組み合いになることもあります。原因は、父親の言葉の暴力が多いです。母親としては、ハラハラし、心が痛みますが、仲の良い時もあるので本人と良く話し合いをします。父親とも、気持ちが安らかな時（父親が）遠まわしに、本人の気持ちについて説明したりしています。

事例 191 その他（中度）

①子供が（何回か言っても）理解せず同じあやまちをくり返すとき ②家庭の中で（家で） ③母に ④たたかれたり、「何回言ったらわかるの！」など言葉の暴力 ⑥相談したが、毎日のこととなると親も感情を抑えることができない ⑦くり返しなので、解決できない ⑧親の方からあやまったりする ⑨⑩子供ができることを増やしてあげたいという（成長させたいという）気持ちと現実にギャップがあり、「どうしてできないんだろう」というイライラが手を上げたり言葉の暴力になっている。障害児を育てることは想像以上に辛く難しい。一時預かりなどの制度を充実させ、少し離れることで親が気持ちをリセットし、頑張ろうという気持ちにさせてほしい。切実に求む。

事例 192 その他（中度）

（友達の子供です）就労したスーパーで、本人は知的障害、相手は精神障害者、「今日は早く帰れ！」「明日から来るな」とか毎日言われ、仕事に行けなくなってしまった。本人は親には辞めてから親に相談したのか、仕事にもどれなかった。精神障害者と知的障害者は一緒には無理だと思えます。言葉の暴力は、知的障害者にはつらいです。（自分の子供）小学生の時、上級生の学習障害の子（後に●●中へ）から、とがった石で背中を傷つけられたり、石を投げられた。お風呂に入った時、毎日確認しています。親にTELしたが、「同じ障害者だから」と言われ、解決してません。小学生高学年の時、新一年生より「1+1=いくつだ？」とか言葉で言われ、妹が泣きながら言ったので、相手の親に電話したら、親が子供を連れて家まで泣きながら謝りに来てくれて、その後は仲良しになった。

事例 193 その他（中度）

通勤途中、バスの中で定期の期限が切れていて、モタモタしていたら他の通勤客より怒鳴られ、バスを降りて行方不明になり、大変でした。何か言われるとパニックになり、弟の私にも手におえない時があります。しかし近所の人達にも、姉の事は話していますので、温かく見守っていただいています。勤務先の担人の方には色々相談します。職場では大変ガンバって、働いているそうなので安心ですが、最近私達夫婦が子供達にうそを付くことをおぼえたようで、お金を財布から取っていたり、うそをついて自分のミスをかかす事をおぼえて、大変心配しています。

事例 194 その他（中度）

①H20夏頃 ②通学途中のバスの中で ③乗客、私立小に通う子供達の集団 ④席に座って絵本を読んでいたところを笑われた。小5で2、3才の子が読むような本をみて（学校で借りたものを本人は待ちきれなくてバスの中で読んでいたらしい）その後度々指をさされて笑われたり、「へんな顔（本人はダウン症です）」などと言われ、じっと見られたりされていたようです。⑤急に文庫本を借りるようになり、読めないのにバスの中でわざわざ出して読んでいるフリをした時。（たまたま母と一緒に帰ったときに様子で私立小の子供達の様子で事情がわかりました。本人に後で聞いてみると、大体想像が当たりました。⑥家族（夫）に相談しました。⑦以前までひどくないようです ⑧しばらく迎えに行き一緒に下校しました。その子供達と乗り合わせた時に、冷静にその子供の顔や、学年など、手がかりになりそうなものをじっと見て、観察するようにしました。子供には、好きな本をよんでいいと言い、私も一緒に絵本を楽しみました。⑨せつかく一人で登下校できる喜びを、こんなことで奪われたくないと思いました。娘はその頃、学校に行くのを嫌がったり、「お母さん一緒」と言って迎

えに来てほしそうにしていますが、気づくのが遅れ、自分を責めました。知的に遅れていても、周囲の目には敏感で傷つきます。⑩いじめと同じでたまたまだったのだと思います。娘が言い直したりしないので、だんだんエスカレートしたのかもかもしれません。

事例 195 その他 (中度)

つい最近、公園で遊ばせている時に、私自身が子供のお尻をたたき、ほぼをつねった(翌日、青あざができていた)ただ、何度も行ってはいない。1回ずつ。まず、何度もトイレに行くよう指示をしたが、従わず、ズボンもぬれている状態で臭いもあり、それでも嫌がり、やっとトイレに行くと、私が怒っているのをごまかすかのように笑いだし、やめるように言ってもやめず、ついに私もガマンの限界で、おしりをたたき、それでもやめず、ほぼを思いきりつねってしまった。ただ、その後はとにかく自責の念でいっぱいでした。ただただ子供に申し訳なく、何度も謝りました(子供は「いいよ」と言ってくれました)。今まで手を挙げた事はほとんどなく、おしりを軽くたたきくしかなかった、というより我慢をしていました。ただ、やさしく言っても聞いてくれない時は怒鳴る事は多々あります。理由は、きちんと伝えます。(わかっていないかもしれませんが)障害児を育てる事は、本当に我慢と忍耐だと思っています。私自身の体調もストレス等で、やはりこの我慢ができず、だが我慢しなくては、すごいストレスです。でも、子供は可愛いですし、とても大切に思っています。この思いで、今まで育ててきました。これからも変わらないと思いますが、やっぱり子育ては大変です。夫、家族の協力がとても大切だと思います。

事例 196 その他 (中度)

小学校で、厳しい学校ではあるが、帰りの迎えの際、ほっぺたに傷がいっぱいあったため、本人に聞いたところ、音楽の時間に大きな声で歌わなかったため、担任につねられたと、次の日担任には顔に傷がつくほどやるのはどうかと言いました。言うことを聞かないと、やはり首ねっこをつかまれて、いきおいあまってろう下に頭をぶったりとか、先生は話をしてあやまるのですが、少しいきすぎの所もあるかと(気持ちはわかるのですが、言ってもわからないので……)と言う気持ちもわかるけれど)

事例 197 その他 (中度)

①小~高校の頃 ②家庭の中、出かけた場所 ③障害のわが子 ④ピンタ ⑤後に反省、今思うとそうかなとも思う。 ⑥主人、友達同じ障害を持つ親 ⑦主人、友達、同じ障害を持つ親 ⑧時々ほうまく対応できた時もあったと思う。 ⑨障害の子を育てる事は母親という観念(責任)と主人は仕事、まわりに迷惑をかけてはいけないなど、その時はいっぱいいっぱいになって、手をあげていたと思う。てをあげておさえこむという感じだったと思う。(言ってみてもわからないので) 現在、今も困った事をした時は怒りますが、手をあげることはありません。細かく言い聞かせる(何度も)事をしています。小さい時は相談する(一人でかかえこまないよう)、事が必要と思います。

事例 198 その他 (中度)

① 2002年4月頃 ②特別養護老人ホーム ③上司 ④大きな声で怒鳴られたり、職場で孤立させられる。 ⑤本人が出勤する時に、一歩が踏み出せない、動作が止まる、笑わない、イライラして大きな声を出す ⑥相談はしていない ⑦退職することで一応解決したが、状態が元に戻るのに3年を要した。 ⑧退職後、2年位在宅生活に入り、スポーツ等をやった。その後、授産所に1年半通所した。 ⑨当時は一般社会においては、知的障害者の理解が不十分で我慢したが、今出あったら訴えたいくらいの気持であった。 ⑩上司が給料をもらう以上、障害者として扱わない。健常者と同等に扱うので特別な配慮はしないと最初に面と向かって言われるなど、全く障害者に対する理解がなかった。雇用側と被雇用側の間に、ジョブコーチなど、クッションの役目をする人がなかったことも大きな要因と思う。

事例 199 その他 (中度)

小学校1~2年生の頃、学校で担任の先生です。(支援学級の先生です)子供の担当だった方で、帰宅すると腕や手首に手の形のアザが残っていたので、直に学校に電話をして事情を聞きました。その後もたびたび、紫色になる程のアザが身体について、学級担任に相談しましたが、

なかなか解決することができませんでした。ある日、ほっぺたを真赤にして帰宅。よく見ると手の形がわかるので、本人に聞くと”先生が僕のことペンした”とのことで、すぐに電話で話しを聞き、翌日、主人と一緒に学校に話しあいに行きました。が、謝るばかりで、なぜそうなったのか詳しい話しは聞くことができませんでした。(ダウン症の子供なので、行動はとてもゆっくりですが、穏やかな子供です。会話もできるので、意思も言葉でやりとりする事ができました。勉強も一人で少しはできていたので、その先生が担任の間は、一人で机に向かってプリント問題をやっていた様です。他の方が教えてくれたのですが、授業中に教室で一人で勉強していたそうです。<後日、その時に先生は何をしていたのかを聞いた所、多動のお子さんを学校中さがしまわっていたとの事でした> 機能訓練は区の施設に通ったのですが、担当のリハビリの先生が、ダウン症の子供は”そのうち歩けるよ”と、まったく子供に訓練をしてくれませんでした。

事例 200 その他 (中度)

①小学2年生のとき、②自宅で ③担任に訪問をうけ ④遠足には不参加にするように、と言われた(団体行動についてゆけない、足が遅い、との理由) ⑤本人の存在自体無視する数々の言動の話。「彼には一切かまうな」級友たちに言い命じる。(毎日自宅に遊びに来た級友が、一切こなくなった) ⑥母親の友人達に話しをした。 ⑦解決には至らず、そのまま。 ⑧ひたすらガマンと、彼の誕生(未熟児だった)からがんばって生き抜いてくれた生命であることを担任に話をした。多少でも理解してもらえる様に。一担任は「どんな子でも親はかわいいものなのですね」と言う。一これでも教育者なのか! ⑨教育者への不満と、もっと人間性ある人材が教育現場には必要。 ⑩もっと本人の為に主張を強くすれば良かったように思うが、遠慮が先に立ち、「針のむしろ」の日々でした。次の学年では、無事遠足に参加出来ました。「おんぶしても、私が参加させます」の次の担任の言葉によって。

事例 201 その他 (中度)

①2~3年前 ②軽度の高等部の下級生に、久しぶりに会いたいと、レストランに呼出されました。宗教に入らないかと、他の人もいました。 ③同級生の名ボをほしいと本人が言ったので、気が付いた。 ④友供の子の親等に ⑤TEL等で、じしんが起る、親が病気になる等、おどされていました。TEL、手紙、着信拒否、返送しました。家にまで宗教の人を連れて来ましたが、家族皆で会い、その時、娘のおこった顔、悲しそうな顔、忘れません。家族皆で大丈夫となぐさめ、学校にも連絡。障害のある子を洗脳するのは許せない!

事例 202 その他 (中度)

4、5年程前、街中で、警官に自分の自転車に乗っていたにもかかわらず、盗んだ物と疑われた。血相を変えて家に飛び込んで来た為、外に出ると警官2人が付いて来ていた。事情を聴くと、鍵が付いていないため、(実際には付いている)盗みと思ったとのこと。自分の物と説明しきれなかった為と思うが、途中での職質をどのようにやっていたのか疑問だ。もし、大きな事件で職質されていたら、又、家族がいなかったらと思うとゾッとします。間違いだったことに詫言することもなく、言い訳のみだった。障害の有無に関係なく、警察官が家に来るという事は、近隣の話になることを考えて欲しい。職質までは、仕事とわかるが、間違いだった時には、きちんと言葉で詫言びて欲しい。警察官の教育にも問題があると思う。

事例 203 その他 (中度)

・21年に、●●センターから●●県の●●センターに変わりました。●●センターに本社している時は、ぐちを言ったり、「行きたくないなー」と話した事はありませんでした。●●センターの人の中には、障害者をきらう人もいましたが、本人が気にしないで、行ける程度でした。●●にかわってから、言葉のいじめのような事がほぼ毎日のようであったようです。今日も来たのかよー、さっさとやらないと帰らせるぞ、できないなら帰れなど……仕事を楽しくと言ったらへんかもしませんが、●●にいてこどもの顔から笑顔は消えました。会社に行く月~金は行きたくないと言えないので、私にやつあたりのように気にさせる事を言って出社しています。 ①21年の春ぐらい ②就労先 ③” ④言葉のいじめ ⑤本人がぐちを言ってわかった ⑥支援センターアクセスの方に話した。本人とアクセスの方と話しをして、会社

の方と電話をしていただいた。⑦解決はしてないが、本人が友だちをつくった事を気をまぎらわしているようだ ⑧気にしないようにしていると話した ⑨本人にも悪いところがあるのですが、変ってすぐだと、とまどってしまうだろうと、障害者を受入れてくれる態勢をととのえてから変りたかったな一と思います。親が会社に行き、話をしたりすると、その後こどもにどう返されるか不安で……

事例 204 その他 (中度)

我が子に障害があることがわかった時から、親自身が価値観が問われ、心がキズつき、自己嫌悪におちいることから、虐待がはじまった。(ネグレクト) 保健師から、地域に育成会運営の障害児を持つ保護者が集う会を紹介された。先輩の母親、保健師療育の先生、行政(区役所)がスタッフとして対応、母親の気持ちをしっかりと聴き、ありのままを受けとめてくれた。その後、悩んだり、困ったことがあれば、先輩など相談するところを見つけた。幼児期の保護者の精神的な支援。(相談カウンセリングなど) や、家族支援が重要だと考える。

事例 205 その他 (中度)

両親は死亡していますので、本人より聞いて記入 ①職場で若い上司に頭をなぐられ、血を出したことがある。「脳がくさっている」といわれた。会社に母親と一緒にいき、あやまってもらったが、すぐやめさせた。②家庭で兄に「すなおに言う事をきかない」と何度か頭をぶたれた。

事例 206 その他 (中度)

☆①小学校の低学年の頃 ②学校で ③友達に(普通学級に行っていたので) ④遊び時間に、親切にするふうにして、手をつねったり、足をふんだりされたらしい。⑤友達が話してくれた なるべく、自宅に沢山のクラスの友達に遊びに来てもらい、理解してもらうようつとめました。そして、本人にも痛かったら「痛い!」と声に出さない、と話したのですが……どうだったかはわかりません。

☆暴言については、学校時代、教師からは何度かあったと思います。(本人が友達から話されました)

☆①養護学校高等部の時 ②学校の非常階段のおどり場で ③その時間の担当の男性教員に ④調理の時間、スープの素(?)を入れる順番だか量だかを息子がまちがえた時 ⑤あとで外のおどり場でたたかれ、落ちそうになってこわかったと、本人が家で話した。⑥しばらくたってから、面談の時、それとなく学年主任や担任に話した。先生も人間なので感情的になる時もあるでしょうが、安全等には充分気をつけてほしいと思います。(その先生は時折手が出るとの話でしたが……)

事例 207 その他 (中度)

①園において、特別加配で、保育園へ入園したが、本人がおとなしいので、そのまま放っておかれたようだ ②〃、中 同級生による、くつ等かくされた。〃障害事件、小学中学の先生は、事前に他の生徒への事件があったが、親に知らされず、実際に事件がおきた。一時的にも事件がおきないよう、対応すべきだった。③通学途中 公共交通機関を利用していたので、不特定の人からあったかも知れない ④施設 前の施設の担当の職員ではなかったので、他の利用者さんに対して、障害者を罵倒する場面があった。他の利用者、親も不快に感じた。

⑥街の中で ジロジロ見られる、さけられる ⑦家庭で 本人の自我が出てくると、親の言うことを聞かなくなり、叱ることが多くなった。

問 4・・・現在、子供は週日家から出て、ヘルパーさんと一人暮らしをしているので、親の対立することは少なくなったが、経済的に本人の障害基礎年金(2級)と工賃(4000円前後)で生活できないため、送りが親の負担になっている。・後見人もお願いしたが、行政で後見人への補助制度がない。・生活支援のコーディネーター、施設の職員が、相談に対応してくれている。

事例 208 その他 (中度)

①小学校に入学して給食が始まった頃②教室で③担当の女教師④ほっぺをつままれた⑤先生がそばに来ると増えるようになった⑥教育委員会⑦普通クラスにいたので特殊クラスに変わった⑧特殊クラスで楽しく勉強した⑨今は担任の先生がよくしてくださったと思う⑩牛乳が嫌いだったので始めは少しづつをお願いしていたのになぜ飲まないといわれつままれていた

事例 209 その他 (中度)

小中学校のころ、公園で小学生に石・砂・水をかけられた。小中学校のころ、公園でボール・グローブをとられた。本人が訴えて来たことが多い。一度は私(母親)の見ている前でボールをとって仲間からかってかえさないので、私が一緒に遊んでくれないなら、そういうことはしない様に言ったら返してよした。当時息子はいじめられているということがわかっていなかったので、余計に不憫でやさしかった。登下校中(特に女の子)小学校への通学路でもあるので必ず一緒になるが、息子の顔を見ながらヒソヒソ話をしたり、避ける様に走って振り返ってまた逃げる様に走ったりする。中学生の男子はバカにしたような言葉を何度かあびせた。本人は気にしているような様子はあまりないがやはり見ていると悲しい。ケガをして帰ったこともあるので小学校に相談しようかとも思ったが学校の校風が障害者に理解がないのであろうと考え、言いに行ったことでみじめさが増すように思えやめた。子供がいじめるのは家庭内が理解がないとか差別をする様な大人の中で育てているのではと想像してしまう。直接面と向かっていじめる時はまだ話してみることもできるが陰湿な場合は私はそうしようもない。

事例 210 その他 (中度)

小学校の下校時に近所の子(普通学級)に投石、足蹴にされているのを障害者の妹が見つけて私に知らせてくれました(兄が通っている学校に特殊学級もあり)妹も同じ小学校(普通学級)でした 私はいたずらをしたこの名前も分かっていたので校長先生に電話をしました よく注意をしていただけたようで2度といじめられることなくその後の親御さんも謝りに来られました

もう一つは就職してからの事です その会社は障害者を雇用するのは初めてで扱い方が分からなかったのでしょうか、仕事のがらい 急ぎの仕事が入った時に切り換えが遅いなど…贈答用の箱を作る会社ですの箱の芯にする板は絶えず手にしておられるので怒った時にその板で頭を叩かれて血を流して帰ってきたことが2度ばかりありました 私はショックを受け会社を辞めさせようと思ったのですが、本人はあまり嫌がる様子も無く出勤していくので私も暫く注意していましたがだんだん安心しておることが出来るようになりました

今では会社へは行くものとして朝早くから出て行きます 意あつ間で辛抱した甲斐があったとおもいます

事例 211 その他 (中度)

・私の姉は、市のOBが設立した、清拭会社に勤務していますが、主任から、毎日出勤時にタイムカードの前でいろいろ言われ続け、出血性胃潰瘍で、重度の貧血にもなり、1ヶ月余り入院する事になり、数年経った今でも内服を続けています。仕事をなくしてもやむをえない思いで本社の方に連絡し、勤務地をかえてもらいましたが、現在の勤務地でも、主任が60代の女性で、気分が怒ったりするようです。障害者を多くやとっている会社であるにもかかわらず、健常者の仕打ちはなくならないのでは、と思います。弱い立ち場の本人、家族は泣き寝入りしかないと考えています。・父親はすでに他界していますが、母親はすぐきらっていて、他界した後で、母親から色々聞かされました。姉が短く、思いどおりにならないことは、気に入らない父は、何かと姉を怒り、私がまだ何も分らない頃には、性的な事もあったそうです。母は離婚も考えたようですが、それもできず、相談できる人も何もなく、1人でかかえていたようです。家庭の中の事を他人に話すのは恥と思いい、言えなかったのだと思います。私は認知症なので、それ以上の事はわかりませんが。

事例 212 その他 (中度)

①小学校 2年生 ②教室(障級) ③上級生の男の子 ④下着を下げられ、何をされたかは不明 ⑤担任から知らされた(担任と教務が自宅に来ました) ⑥特になし ⑦上級生の男の子は教室に出入禁止にした。その後は大丈夫でした。⑧主人と一緒に、校長と担任と話し合い、今後二度とこういう事が起きないように、お願いした。加害者の親は直接謝ると言われたが、断りました。(両親は夜の商売のよう)加害者の父親は厳しく、虐待もありえるので、最初は言わないと言っていた。校長は加害者の将来の為、他の人には言わないよう口止めされた。⑨障害があるゆえに、こんな事をされて悲しい ⑩10分放課の時に、

同じクラスの子が外に出たくて、娘は教室にいたいと言って（当時生徒は2名）、担任はその子と外にでて、娘は教室に遊びに来ていた同級生（2年生）の子に任せただが、次第に任せた子達も飽きて、外に出ようと娘をさそったのですが行きたがらない為、娘をひとりにして、教室を出て行ったとの事。その後、担任が任せた子達が外にいるのを感じ、びっくりして教室に戻ったら上級生の男の子が下着を下ろしている所を目撃したようです。男の子は友達もいない為、6年生なのに毎日のように障級の教室に遊びに来ていて、体を密着して遊んでいる所を目撃した事もあり、注意したい矢先の出来事でした。

事例 213 その他（中度）

①3、4年前 ②会社（調理場） ③社員 ④本人が言うには、ラップのしんでたたかれた、鉄ばんがあたってやけどをしたとか ⑤やけどの時に少しそうかなと思ったけど、本人が自分でちゃんと言うからおわった ⑥またその時は、わざとやったのではないと思っていたので、どこにもしてない ⑦本人の体調不りようによって出社ができなくなり（食べない、しゃべらない、笑わない）会社に行く朝になると、体調が悪くなるので、本人に会社やめる？と聞いたら、やめたいと言うので決めました。決めした後、本人がいろいろされた事を言ったので、そうなのかなと思いましたが、それは半分は注意、しどろだと思っています。休める時に入社のかかわってくれた人事の方に、体調不良でと言理由で休める話をした時に、本人が会話がちゃんとできるので、ちゃんと言ってけると安心して目をかけてあげられなかった事を、申し分けないと泣いていらっしゃいました。何か続けて会社に来る方法を考えましょうと言っていたいただきましたが、本人はぜったいにやめると決めてましたので、9年働きましたがやめる事にしました。⑧その後2年ぐらい、どこにも行く気がないじょうたいだった ⑨しかたがない（虐待じゃないかもしれないので） ⑩わかりません

事例 214 その他（軽度）

本人が小学校4年生ぐらいから今年まで、父親に精神的な面でずいぶんダメージを与えられていました。それが、法的な虐待とまでなるのかわかりませんが、本人の様子はとても萎縮して父親をこわがり、高校生になってからは、ストレスによる体調不良や、かみの毛が抜けてしまったりしていました。家でも外出先でも、1から10まで言うような感じで、それも大きな声でどなりつけることがほとんどで、その後のお説教が短くて1時間、たいがいもっと長くありました。調書はそのまま良い、短所を直すことがまず先だと言っていました。いつも頭ごなしで本人の意見は聞かず、でした。ささいなことでもおkられるので、それがこわくて本人はうそを言ったりして、すると「お前はひきょう者だ」とか「きたない人間だ」とか「赤ちゃんか」の連発でした。そういったことが日常的で、その時に私が間に入って意見するともっと大変なことになるといった状態でしたので、子供たちがいない時に何度も話しをしてきましたが、自分は間違っていない、子供の為に一切聞き入れませんでした。昨年頃、父親が2人で食事でも・・・と言った時には、父親のいないところで私に泣いて「お父さんと2人になりたくない。お願いだから2人にしないで」と言ってきたこともありました。今年1月頃に、帰りの時間を守らずゲームをしていた（夕方6時を少し過ぎただけでしたが）のが理由で、自宅前の外で本人のかみの毛をつかんでひきずり、顔をたたき、口の中が切れてしまい、その上「出て行け」と家に入れず、私の実家に本人が行き、私の親にも普段の話しをしていたので、これは良くないと父親に話してくれたのですが、それも一切聞き入れませんでした。（私がいなくて間にそういったことがあり、実家からの連絡で私は知りました）いつかはわかってくれるだろうと私も間に入り、さんざん話してきましたが、ひどくなる一方で、本人を守ってあげたいと思い、離婚しました。（それ以外にも問題がある人でしたので）父親がいなくなって半年、本人はとてもおだやかになり、笑顔をたくさん見せてくれています。私が思うに、誰が何を話しても自分の考え以外受け入れない父親だったと思うので、離婚するという方法しかなかったのではないかな、と。今の本人を見ていても、本当にこれで良かったと心から思います。本人も私も、本当につらい日々でした。本人は、軽度の知的障害で、普通に行えることもたくさんあるのですが、物事の定着に時間がかかったりします。父親は私に育児を任せきりだったので、小学校4年生頃から本人のできない部分に対して、私が甘やかして育てたせいだと言うようになり、本人のできない所はなまけてやらないだけだから厳

しくしてやらせるようにするべきだと言って始まりました。きちんとできることは大事だけれど、本人のペースに合わせて、それと本人の気持ちを考えてあげることが優先だと何度も話したのですが、それが甘やかしていることだと言って、とにかく頭ごなしの毎日でした。法的な精神的虐待というものがどういったレベルかはわかりませんが、私が見てきた父親から本人が受けてきたものは、とてもひどかったと思います。小学校でお世話になった介助員の先生によく相談していたのですが、離婚の報告をした時に、もっと早くお母さんが見きわめて、離婚してあげるべきだったのでは？と言われました。本人からも、離婚してくれてありがとう、と言われました。それが子供の為だとこれっぽっちも疑わず、自分の考えだけを前面にどってきた父親も、子供の頃の家庭環境は良くなく、親から人としてをあまり教えてもらってこなかったようです。虐待する側も、気の毒な人間だと思います。とにかく、子供が萎縮して何一つ思ったことを言えない状況は本当にかわいそうですし、将来的にも、人としてきちんとした大人になっていけないと思います。高校2年生ですが、今だに小さい子のように、私に甘えてきます。これまでの7、8年間、私も本人を守ってあげられなかった、その部分を今になって甘えという形で出してきているのかな、と思います。申し訳なく思います。父親と離してあげて正解だと思います。

事例 215 その他（軽度）

①いつ→1993年か1994年頃のこと ②どこで→●●急線●●駅近くの路上で ③誰に→同じ病院に入院している複数の男（中学と高校生ぐらいの年齢） ④どんなことを→とりかこまれて、後方より首をしめつけられた。 ⑤なぜ気がついたか→たまたま近くに、警察官が通りかかると、「助けて下さい」ときけんだのに、警察官が気づいてくれた。「大丈夫か」と声をかけてくれて、涙を流していた自分を、抱きかかえてくれた。「ありがとう」と警察官に行ったら、「家まで送ってあげようか」と言ってくれた。入院中のことを話したら、病院近くまで送ってくれた。 ⑥どこに相談したか→病院のかかりつけ医に、この事件のことを話をした。カルテに書いた。 ⑦解決したか？→謝罪の言葉は、なかった。ドクターからも注意したとか、薬での対応処置他、ミーティングにも、話題にならず、親としては、絶対許せない行為である。 ⑧そのあとどうしたか→本人がワープロで、経過を細部に時系列にまとめ、担当ドクターに提出した。ドクターは、それをカルテに添付した。 ⑨そのことをどう思うか→精神の病気とは言え、ドクターがそのまま、前向きに取り組んでくれなかったことは、納得できない。精神的に強くなること、挫折をたくさん体験して、成長していくことを、努め続けていく当人、家族の思いは、他人には、決して解らないことと思う。現在は、当時より、様々な経験、知識、本から学んだこと、休憩を心身共に十分積んで、広い気持ちで巨視的な物事の判断力や意思決定ができることが少しづつ、ふえつつある段階である。 ⑩なぜおこったのか→病院と言う閉鎖的治療機関の中で、青年期までに年齢相応の親からの愛情欠如、家庭内の不和、経済的低所得、環境地域格差など、様々な問題がこんがらがった糸のように、一つの動き、変化に適應できない状況下で発生し、虐待となる。

事例 216 その他（軽度）

1. 本人が小学校時代、下校途中でかけていたメガネを取って捨てられたり、又ランドセルの中身、教科書等を道にばらまかれたりした事がある。 2. 中学生の時は、運動会や遠足などに参加する事を担任の教師止められて参加出来なかった。又、同級生（男子）からは、下校時数人にかからかわれたり、追いかけられたりした事がある。教室の中では、ストーブの上にゼムクリップを置き、熱いのを手の甲に乗せられたりもした。

事例 217 その他（軽度）

下校の帰り道で定期を取られたり、砂を口に入れられたりした。いたずらをしてた子が病気になり、人の手を借りる様になられた由 ○うちの子はやさしいだけで、ケンカ大きいらなので手出しは出来ません。親はいたずら子がそばに来たら逃げなさいと教えていました。時々バス停までむかいに出て、子を守りました。弱い子は見ればわかるので、イジメがおもしろいのだと思います。その折に校長先生にお話ししましたら、うちの学校は●●の学習院と言われているのでそういう子はおりません、と言われました。そんな事はないです。帰りに良い

ぢめを見ました。私は必ず注意しましたが、中々でした。親の目のみでない折にし、親がいる時は手出ししません。心得ていて、かくれてするのは。○小学校の時の担任教員は本当に悪い人でした。今思っても悲しい思いで、あの女性教員をなぐってやりたいです。人間ではない。

事例 218 その他（軽度）

小学校の時・学童保育にいる時に 同じ学童保育の仲間に「きもち悪い」と言われた。・迎えに行った時に見た。学童の先生に相談した。解決はしていないと思う（その後は確認できなかった）。人とのコミュニケーションがうまくいかず、何と言っているのかわからないことが多かったためにおこったことだと思うが、本人は気にせず、普通につきあってすごしていたし、大きな声で言われていないので、そのままにしていた。支援学級に通学しているとわかるだけでさけられることもあったようです。

事例 219 その他（軽度）

◎小学生の時、同級生達に仲間はずれや、言葉でのいやがらせなど……中学校～高等部へと進むにつれ、仲間のイヤがらせはなくなりしました。◎20数年前ですが、就職先で何かあった→今思えばセクハラだったようです。何かにつけて意地悪をされ、退職する事に成った。娘が上段の人の思うようにならないので、事あるごとにつらく当たったと思う。

・外出中、街の内通行人が障害児をジロジロみる ・兄弟がいるので、その子たちと顔をみくらべるが、親としては気にしない様にした。ダウン症独特の顔つきなのではないし、本人は悪くない。幼少の頃から保育園や学校等でもう少し子供の事を良くしてもらう様な教育がなされる事を望みます ☆虐待ではないと思いますが・・・ごめんなさい。

事例 220 その他（軽度）

現在息子（26才）知的障害 18才で高等養護学校卒業して、市内のゴミ収集会社へ入社（実習もして）●●で仕事（助手として入社）働いて、2年目あたりからけられたり、ぼう行されたり、本人がまんして親に心配かけない様にした。3年目位にやめたいといい出し、1日休んで、親としても、次の仕事ないので100万ためたらやめてもいいとか今週がんばって行ったらやめてもいいと仕事に送り出しました。5年目で冬に車にのっていない時に発進して助手席にぶら下って、カーブした時ふり落とされ、左足車にひかれ、いたいと言ったらバックして（二重ひき）運転手はドアにぶつけたと言え、と言われ、歩けませんでした。会社にもその様に伝えて休みました。最初の診断は2-3週間と言われたので、5ヶ月病院に通いました。ひいた人はあやまりもなしでした。24才の時ハローワークに通い、就職センターで実習を行い、今のスーパーの●●●●で働いています。職場の人は皆理解してくれて、前の職場とは天と地の差で楽しく働いています。

事例 221 その他（軽度）

①H16年頃 ②通園している園で ③★母親 ・本人に ④★母親一退園届を出しますか？と言われた。 ・本人一お友達に対して「謝るように」としつこくせまり、本人はその日以降通園をこぼむようになった（それまではここにこ通っていた）⑤★直接言われたので ・園長本人から子供にこう言いましたと私に報告があった。その日を境に園が嫌になっている。⑥友人の有資格者（小学校教諭、幼稚園教諭）⑦退園した ⑧そのあと、周りの方が心配して園の管理部門に話をしてくれたが、園長交代の人事はなされず。⑨小さい子ども（障害児はいない園ですが）を指導する立場の方の発言とは思えないような発言に愕然とした事数度…ただ驚くばかりでした ⑩園長としての裁量不足、指導力不足だと思います。

事例 222 その他（軽度）

（兄弟）10年位前に ①担当の同僚に、サラ金につれていかれ、本人名義で借金させられ、カードを取り上げられ、限度額まで借りられ、同僚はその後行方不明。②同じ頃、上記同僚が、高額な○○を購入した際の連帯保証人にさせられ、返済させられた。品物は購入直後に質屋に入れ、換金していた。 ・①、②は職場の上司から知らされ、発覚 ・返済は、すべて本人が数年かかってしました。この事実を理

解し、繰り返さない様にと、家族で対応した。 ・その後、成年後見（補助）を行い、現在に至っています。 ・原因として考えられることは、本人の周囲に（本人や支援者）相談できる人がいなかったこと、甘い声かけにイヤと言えなかったことが、大事だと思います。（施設）ケアホームで○○人の預り金を、支援者が着服、流用し、支援者は発覚後、○○し○○したが、その事実を、本人や家族に知らせない事務所がある。

事例 223 その他（軽度）

①小学校の時 ②近くの神社 ③クラスの男子2-3人 ④石をなげられた ⑤頭から少し血が出ていたから ⑥学校（教師）⑦子供に注意をするような事は言っていたが、したと思えなかった。又、全校生徒にもそういう事はいけないと伝えてほしいと言ったが、なかった。⑧2才上の姉が石をなげた子を呼び出し、妹をいじめたらただじゃおかないよとおどしてくれた。⑨ありがたかったが、親として何もしてやれなかったなあ。教育者はあてにならない。⑩パート先で、仕事ができないので「やめさせて」と仲間（フツウのおばちゃん）から声が出た。色々言われたみたいで、暗くなり、あいさつもしなくなったようだ。店の上の人は、せめてあいさつはして、と親の方（私）に言って来たので、本人につたえ、パートのおばさんと話もした。が、「ここで働かなくても、他で働いたら」と「仕事ができなくて迷惑している」と言われた。会社側にも、時間給は仕事が出ない分、最低でいいからと言ったが、決まっている事だからと取りあってもらえなかった。いまも続いているので（1日2時間だけ）ありがたいと思うが、会社側にもっと柔軟に対応してもらえたら、パートのおばさんも少しは納得してもらえたのではないかなと思う。

事例 224 その他（軽度）

①一昨年春～秋にかけて ②就労先 ③社長 ④プラスチックの洗面器で頭を数回たたかれて（血がにじむ程度でしたが）数カ所怪我。ける。胸腹をなぐる。⑤社長自身からの電話と④の怪我で。⑥所属している手をつなぐ育成会の相談員さんと、雇用センターの所長さん ⑦完全解決をしたとは思っていない。⑧会社を辞めさせ、雇用センターに数ヶ月通い、新しい就労先を見つけて就職した。⑨数カ月の間に色々な事がありすぎて、本人はともかく、自分自身も頭が混乱していた。退職を決めて、休んでいた間にもあらぬ疑いをかけられ、人間不信になりかけた。⑩事の起こりの原因は、全くつかめていないので何ともいえない。この事が第三者から見て虐待だと思えるかはわからないが、自分自身にとっては本人、私達家族は虐待されたと思っている。

事例 225 その他（軽度）

虐待と言えるかどうか、はっきりわかりませんが、息子が小1の時の担任の先生は、あきらかに心理的に圧迫するような態度やことばをかける方でした。それは息子だけでなく、他の健常者のクラスの子どもにも影響がでていて、そのプレッシャーやストレスが、息子に向けられたりしました。先生のとる態度に、緊張したり、顔色をみたりするようになり、のびのびとした表情や態度がなくなってきて、性格が変わってしまいました。自信を失ってしまい、通常級から特別支援級に転入することになりました。先生自身はそうしたご自分の態度などに原因があるとは、なかなか思っ下さなくて、いろいろ息子のことを（広汎性発達障害です）理解して頂けるように付きあつたつもりですが、ダメでした。最後はとにかく息子を守る、少しでもよい方向に行くように……と、転校を決められた。その頃は親子共に辛かったです。

事例 226 その他（軽度）

①小学校 ②教室 ③担任 ④食事（給食）をとるのが遅いとベランダへ机ごと出して食べさせたり、給食の袋に残ったものをそのまま入れた ⑤残ったものを入れる容器、はしなど個別にもたせた 小学校、下校途中にカバンをとって投げられたり、けられたりした。直接親に話に行った。職場で社員に体力的に無理な仕事をするように指示された。本人が疲れた様子で帰宅、元気もなくなる。職場に向いた折、他の同僚から聞き、ジョブコーチに連絡、社員の配置換えなどあり、一応解決。採用当初は障害の事を理解した上で仕事の指示が出されていたと思うが、社員がかわるとききちんと引きつぎされないで、理解がされないまま仕事をするようになる。ジョブコーチもある程度年月がたつと関わりが少なくなる。継続的な支援がしてほしい

事例 227 その他 (軽度)

「障害のある本人」は軽度の知的障害者で中学校まで普通学級へ通ってました。小学校までは特に気づいたことは無かったのですが、中学校になってから、「目に黒いアザを作って帰って来た」「首や胸に靴の跡を何か所もつけて帰って来た」「帰りが遅いので見に行くと道で数人に小突かれていた」等々、何をされたかも反抗しない(できない)ことをよいことに多分同級生から虐待をうけていました。その他…修学旅行や給食費の費用を盗られたこともあり、本人に問いただしても誰にされたか、何をされたか要領を得ず、殆どが泣き寝入りで、学校側からもみ消しにされたこともあります。今考えると法に触れるなり何らかの対応法があった様にも思います。但し、本人は登校拒否にもならず、何かあると職員室を避難場所にしていたようですが、そのまま中学を卒業し養護学校高等部へ入学しました。

事例 228 その他 (不明)

①小学校の時ですが、今まで会話していたのにいきなり、話さなくなりました。(会話というのも単語のみでしたが…) ②中学生の時にはバス通学していましたが、バスの中でも色々嫌なことがあったので自分で運転して送りました③高校の時には一人で歩行して行っていたのですが、隣の車両から見ていたのですが多分近くの小学生たちに驚ろいてしまい、動けなくなってしまいました。何をされたわけでも、しゃべりかけてきたわけでもないのに、小さくなり、顔色が青くなってしまったので、通所バスにきりかえました

事例 229 その他 (〇〇)

下校途中、特殊学級の男子に、材料置場のかげで、通行人の見付け、学級の先生に連絡し、その男子の母親から厳しく注意してもらい、あやまってもらって終り。その後も、何人かの人が、下着をぬがされ、いたずらされた人が有ると聞いたが、私共もその事にふれたくないため、忘れる様努力した。思い出したくもない。結局、登下校は付き添う様に心がけた。今は、ケアホームから作業所へ通ってるが、ガイドヘルパーさんをお願いして安心です。

事例 230 自閉症 (不明)

幼稚園と小学校と兼任してた校長に小学校入学時に、我子の事は知らない小学校へ来られたら足手まといになると言われた。その頃は、娘もおとなしく、人に迷惑をかける様な子供でなく、手帳も無く、発作も無く薬も服用してなく、扱いやすい子でした。幼稚園の職員に紹介され、教育委員会のプレールームに2年間週一回通った。小学校2年間普通学級へ行きました。担任教師は理解があったが、通学時の登校はんで文句言われ、兄弟も一緒なので大丈夫だと思ったが、近所の方も幼い頃から知ってるのに、意地悪をされた。だ中学の時、特別支援学級通学してた時、途中の中学校の生徒に意地目られました。言葉の暴力を(年中)振られました。一人通学で帰宅後、本人からの報告。現在一番苦しいのは、区から民営になった(3年目)団体の職員の質が落ち、専門職が居ない様でアルバイトや、非常勤に頼ってる感じで、職員の入替りが多くすぐ辞る、体罰も有り言葉の暴力も有り施設長の態度が悪く挨拶もしない、後援会費は現在の民営になってすぐ払った全員が払ってる訳でもない。施設長は毎日作業所には来てません。この団体は、規模を大きくする方向で23区の委託をだいたい受けてるが、今の内容では無茶だと思えます。施設が充実していないのにおかしいです。(昨年、統合失調症と判断)親を飼って子供に接してる所があり、我が子は、見かけは会話も出来、とてもせんさいな子です。差別が多い平等でない。長くいる職員は一生けん命やっていますが人がたりない。娘は、25歳迄は、手帳3度でした、昨年区分5になってしまいました。知的障害者は悲しいです。

事例 231 アスペルガー症候群 (中度)

※グループホーム●●●● ケンカした時「やめさすぞ」と言われた。どうしてケンカしたのか聞いてほしかった。 ※グループホームも何年も長くなればケンカもする事がありますので、どうしてケンカになったか、聞いて仲良くする様指導してほしいです。 ※グループホーム世話人、月田さん(男)時々言葉のいちめ。長くグループホームに居ると、たまに仲間同志でケンカもありますが、僕だけにやめさして、

出て行けと言われる事があります。ケンカは両方に言わなければならないと思います。僕だけにそう言、言方されます。相手の●●さんには言わないのです。それは除雪手伝ってと言った、沢山雪があったので、1人で出来ないと思った(グループホームの家の前の雪はねです)、余り来ないので「早く来て」とポイント軽くたたいて、雪はねに僕は行きました。●●さんは●●さんにたたかれたと大きめに言われました。それからグループホームが余り面白くなくなりました。職員が仲間通しを仲良くする様な言方で仲良くする様な言方してほしいです。

事例 232 CCD (重度)

①息子が3歳の頃 ②米国で ③保育園で働いている人に ④どうしてもトイレに行かない、パンツを下ろさせない等の理由で、ムリやり下ろされたのだと思う。ii)言うことを聞かないので、スナックをもらえなかった。 ⑤その際に、恐らくツメでひっかかれて、背中とお尻の間ぐらいのところに、かなり大きな赤い傷が出来ていた。気がついたのは、パンツのゴムのところに血が付いていた為。ii)働いている人から、直接聞いた。 ⑥通園後、2週間以内で息子自身が、園に連れていかれると、すぐにガタガタふるえ出し、迎えに行くと私をけりにきたり、たたきにきたり、ということが起こった。まだ診断名もなく、何もわからなかったので、とりあえず学区のサポートチームに連絡をとり、この園は1ヶ月たらずに辞めた。 ⑦この問題については、その園の人が「自分たちとしては、出来る限りのことをしたが、こんなムチャクチャな子はみたことがない」と言っていたので、故意に虐待する意図はなかったと我々が判断。又、我々も、当時息子の障害に気付いていなかった為(いろいろ⑨な面で問題があるのは知っていたが、それ以前に行っていた保育園2ヶ所(日本+米国)では問題がおこってなかったの)そのあたりも問題であった。 ⑧この後、このことは不問。サポートチームに相談し、医者に会い、親が正しく息子の状態を把握できたので、その後はなかった。 ⑨何故おこったのかは、親の方としては、障害のことがはっきりわからず、事前に相手方にアドバイスできなかった点。園側としては、知識不足の一言につきると思う。*この後、「No!」と言われると異常に反応する様になり、小2頃まで、他人が他人を怒っていてもこの言葉を聞くと大パニックをおこしていた。だんだん自分に言われていない時は、聞きながせる様になった。今でも否定されると、異常に反応することがある。

事例 233 ダウン症 (軽度)

動作がノロマでしたので(肥満)皆に迷惑をかけました。中学生の時、石を(小学生)なげられたり、積雪の時は雪をぶつけるだろうと・・・案の定ぶつけられたりしてました、故主人は、その本人をなぐった事があります、私は?の日に本人に注意しました。昔の話しです(今は49才にもなりましたので)・・・地元でなくて、となりの市の学校に通学。

事例 234 ダウン症 (中度)

1. 子ども(男)が中卒で就職したすぐの頃 2. 職場の中で 3. 上司(正社員)(女性) 4. 朝に言いつけた仕事为抓手に(時間中)出来ないからと本人の後ろを通るたびに頭をコツンとたたき、又仕事が出来ていないからと昼食(弁当持参)を3時頃まで延したり食べさせてくれなかった 5. 職場の中の知人(パート職員)数名より連絡をいただいた 6. すぐ職場に行き、責任者(社長)と話し合った 7. 解決しました 8. もう1人一緒に見てくれる職員(パート)が加えられた 9. 職場としては良くしてくれましたが、仕事の出来ないことを理由に最賃法の除外申請が出され、300/1Hとなった 10. 中卒と言う事もあって、仕事をする意識が身につけていなかったと思う ※其後は職場のラインの方が?で見守ってくれた。その職場はそれから10年後に倒産となってしまいました会社が次の職場を見つけて下さり、そちらに移った。賃金は300/1Hと変わりませんでした。その職場も8年後で事業縮小でリストラとなり、H13年より今の職場に移りました。今はパート契約ですが、800/1Hで全保険等の支払をしてがんばっています。職場には知的障がいの方が4-5人雇用されていて、見学も良くしてくれています。

事例 235 ダウン症 (中度)

35才の息子が県立養高に通っていた頃、同じ養高の女の子が、通学途中、性的虐待を受けたという話を聞いたことがあります、事実なのか、

単なるうわさ話なのかはわかりません。17年も前の話ですし、確かかどうかわかりませんので、以後の質問はひかえさせていただきます。

私の息子が受けた虐待は、①小学生(特殊学級)の頃、同じマンションの健丈兄がカンジュースのあきカンにおしっこをして、これを息子に飲めと命令したそうですが、息子にはげたと近所の別の子が教えに来てくれました。②養護学校高等部3年の時、就職実習の報酬3万円を駆で(小学生か中学生位の子供が)「両替してあげるから」ととりあげて、そのまま帰ってこなかったと、息子本人が言っていました。(ずっと待っていたそうで、帰宅が遅かったです。)

事例236 知恵遅れ(中度)

①今から13年位前 ②会社 ③会社の中の誰かはわかりません。
④足首すこし上に大きなアザがあり、内側なので、自分でぶつかったアザではないと思い、その日から10日位たったらウェストのあたりにケガがあり、又それから10日位したら又ケガをしていた。連続して起きることはいままでにはなく、単独だと本人の不注意だと思うのですが、おかしいと本人に聞いたけれど、何も言わなかった。会社に聞きに行きたいと思ったけど、遠慮があり、いざこざでクビになっても困ると悩みました。その時は12月で、年が開けたら聞きに行こうと思っていたら、年開けは残業がなくなり、ピタリとおさまってしまった。おさまってしまったので、気持はムニャムニャではあるけど、行くことはやめました。その後は、そういうことはないです。親として何もしてやれなかったことは、本人にかわいそうな事をしたと思っています。⑤お風呂から出たあと、気づいた。⑩想像でしかないのですが、その人が会社の上司(教える人)なら、仕事のがろいとか、失敗だと思ふ。その人が、残業だけやとわれたアルバイトの人なら、いじめだと思ふ。

事例237 知恵遅れ(中度)

昨年、娘が勤め帰りに泣きながら怒って家にはいつてきました。「どうしたの?」とたづねると、「若い男のおまわりさんが、地下鉄の中からずっとあとをついてきて、地下鉄おりてからもついてきて、証明書を見せなさいと言った、家の近くまできたら、おじいちゃんの人その娘はなんにもしないよ、といてくれたので、私は走って帰ってきた」といいました。くわしく聞いてみると、地下鉄の中でキョロキョロ見ていたとか、外国人だろうとか、どこの国からきたとか、何かしてないかとかいったこのことです。それを聞いて私はすぐ警察に行き、その当人のおまわりさんに会って、うちの娘はこれこれかくかく知恵遅れで容ぼう、動作が普通の人とちがうかもしれませんが、ちょっとあつかいがひどくありませんか、とうたえると、そのおまわりさんは自分の名前を2回いいましたが、あやまりもせず、当然のことをしたという態度でした。それ以来、娘はおまわりさんが大キライです。悲しいです。

事例238 不明(軽度)

小学生の時 約束を守らなかったため、担任教師から給食を与えられない事があった。(2~3回)本人は知的に障害があるので、食事を出来ない理由を理解出来ないまま、午後を過ぎ、帰宅時には口もきけない状態(お腹が空いている事とショックで)身体的虐待だと思った。(直接担任に抗ぎしたが、担任は適切な対応だと思っている様だった) 小規模作業所 他の利用者や障害のレベルが違っていたらしく、家の子供だけ特別手がかかる様で、ほとんど放っておかれ、親に連絡もなし、「帰れ!」と言われ、帰された事が何度もあった。続けていくのは無理と判断し、退所した。家で 他人に迷惑をかけてしまう事を続けてしまっていた時に、見かねた兄が体罰をした事と、母親(私)も暴力(←今から思えば)にうったえた事があった。今でも自分の心の傷になっている。その後は本人の過し易い場所に身を置き、家族とも良好な関係。

事例239 脳腫瘍(重度)

問3.登下校入口 問4.同級生 問5.上ばきをかくされた、・死んで居なくなれ!死んでしまえ!!おまえなんか来るな!!バカ! 問6.学校からの電話、及び遊びの中で 問7.担任より連絡があり、学校へ向いた。・子供達の遊びに入れてもらっても疎外 問8.子供達のすることなので、仕方なく先生へ注意して頂く様頼んだ 問9.自分自信、頼れる先生と思っていたが、転向後の担当は親身になって、親の不安感を取り除いてくれ、直かつ子供達にも”病気の為”と言え、

協力的に接してくれた。担任の道すじ一つで、学校生活が明るいものになった 問10.成人しておりますので、身近かな”相談員”と思っております 「言葉の暴力」「いじめ」は不適切な行為と理解としました。虐待はなかったと思っております。 2才より脳腫瘍、手術2度、放射線療法により頭髪毛根遺られ、ハゲ頭状態。現在に至る

事例240 不明(重度)

平成15年10月頃、本人が17才頃、●●養護からの帰り道に、学校の先生を装った物が、道を案内してほしいと声をかけて来た。本人は知らない。帰して下さいと言ったが、通学路の途中までついてきて、暗がりの引こんだ所でぐっとひっぱり寄せて、スカートの下に手を入れ、股をさわってきた。その晩、様子がおかしく、本人が、さわられたと泣いて話してきたので、どうしたのか聞いた所、学校の帰りの時の事を話したので、すぐ高校(●●養護)の当直の先生に電話をした。当直の先生が、本人の一年生の時の担任だったので、学校でも対策をとり、集団下校やグループ別下校などをしてくれた。学校での対応と別に、本人はおびえきっていて、学校に行きたくないで毎日送り迎えをした。本人が子供の頃よりお世話になっている区議さんがいたので、その方に話したら、警察に通報してくれた。学校と連絡をとり合い、本人の後方からついて、もし、それらしき人がいたら、すぐ知らせるように!と打ち合せをして、3日~5日程、本人についてくれたが、犯人は現れず、本人は不安のまま、くやしい、つかまえてほしいという気持ちをずっと引きづって、卒業迄の半年間は毎日2往復して、通い続けた。親も途中で倒れそうになりながらも何とか卒業迄こぎつけた。犯人はついに見つからず、今でも思い出すと腹わたが煮えくり返る思いがする。ただ、相談した区議の方がすぐに警察に伝えてくれた事、学校の先生とおまわりさんが協力して、何日もついてくれた事。本人には送り迎えしたが、学校としても手を打ってくれて、次の犯行がなく終った事は不幸中の幸いだと思ふ。学校の近くで障害があると知ってこういう事をする者をほっておかない、何かしら罰する社会にしてほしい。

事例241 不明(重度)

平成19年頃、病院で本人の足の病気で通院していたのですがいつも足がはれてしまい、先生に見ていただくことのみ止めのくすりしかいだけなくて、くすりがきれるとまたはれてしまい、抗生物質といのみ止めのくすりで約半年くりかえし、やっと他の先生が見てくれ、せんもんの先生に連絡してくれて手術してもらうことができました。このようなことは、障害者だから適当にされてしまうのか、とてもせつなくなりました。この足の病気で他の病院にもいって見た時はその先生は「あつ巻づめだ、もうこなくっていいよ」と一言いって終わりました。障害者は医療関係者にもとてもつめたくあつかわれるのがくやしきでなくなかなかたです。他の病院でケガした時はその先生は、障害者は病院では手がたりないから入院はさせてもらえないからと言われました。障害者は病気になっても医者に見てもらい病気をなおしていただけないのかがかたしく、これから先が心配です。

事例242 不明(重度)

施設で夜、睡眠中に男の子に耳をかまれて、12針をぬうけがをしました、と家に電話がかかり、私は祖父の法要でいそがしい時でした。それ以後近くにだれか近づくたびくびくびしていました。

事例243 不明(重度)

15才のころ、学校で先生に平手打ちされた。顔に手の跡がついていた。学校に抗議の電話をした。教師があやまった。悔しいけどがまんした。子供の動作のがろいので、先生がいらいらしたらしい。

事例244 不明(重度)

①不適切な行動(7年前)偏食が多く、給食は何でも食べる事と言われる。通所施設での対応、方針が(基本的に出された物物は残さない)(手段が問題です)(将来の為になるから)←理解出来ますか?AM11:30~昼食用意はじまり。外で正座させられ食べますと言えば食堂に戻り残っている食事を無理にでも食べさせる。出来なければ又外で(ろう下)正座の繰返しで全部間食するまで許されない。最後にどうしても食べられない物を口に投げる。(時間がない為)親にも批判される。その後

本人は涙で帰宅。午後 16:20 まで。担当職員が話してくれる。毎日夢の中で恐怖が続くままに生きていました。施設に抗議する。現在は施設長も変わり全くちがいで(正反對)無理のない指導を受け解決しています。※親に対して子供から 子供からの暴力を受け我慢できず本人に対してたたき帰してしまう!! ことが時々あり反省しています。

事例 245 不明 (重度)

①平成 15 年ごろ ②授産所内で ③職員 ④耳を引っ張られたり、たたかれたり、体にあざがあった。 ⑤目のまわりがバンダの様に青あざになり、白目がまっ赤になって帰って来たので、この頃身の皮がはがれ、赤く腫れていた、体にあざがあるので、おかしいと思っていた矢先、顔にあざを付けて帰って来たので、わかりました。(本人は話が出来ない) ⑥職員に相談をしたのですが、すいませんと言うだけで、解決にはならなかった。 ⑦その後、何人もの子供達が被害にあっている事がわかり、保護者会が、これではいけないと立ち上がりました。所長、職員と話し合いをし、授産所側があやまり、二度とこの様な事がない様、毎月の保護者会で話し合う事になりました。解決しました。

⑧以後、ありません ⑨二度とあってはいけない事ですし、保護者が早く立ちむかった事がよかったです。 ⑩わからない

事例 246 不明 (重度)

不適切な指導、対応 ① 2000 年 9 月ごろ、担任、校長と話し合い(平行線) ②学校(学級) ③学級教師 4 人(男性 30 代後半 2 人、20 代後半 1 人、女性 20 代中ごろ 1 人) ④教師の指導、言動 ⑤こん談会、連絡帳、こどもの学校での話 ⑥育成会の相談員 ⑦適切なアドバイスだけ ⑧担任(主任)との話し合い、校長との話し合い、市教育委員会(手紙を出す回答得られず)、小学校の時の担任の先生(体罰発覚後)、市民オンズズマン ⑨体罰→指導の一環のひとつ。一人一人の障害(しょうがい、個性、ハンディ)を大事にせず、ひとくりにして、教科の勉強で、ある子が何かをして、どういう意味かわからないが全体に(17 人)教室で、体育の授業でもないのに、腕立てふせ、スクワット何百回(もちろんできないですが)。とても信じられないこと。その他、個人的にも全体にもいろいろ有り。 ⑩教師のうち、一人のベテランと言われる男性教師、以前の学校で竹刀を持って授業で、厳しいと評判だったようだが(転任)、こん談児には、物腰が柔らかに見受け、今思えば二面性の顔を持っていた。もう一人の、転任して 3 年目の主任男性教師は、何かわけがあって、普通級より障級に。障害児のことは詳しくなく、「普通」を求めているように感じた。

事例 247 不明 (中度)

障がい者(兄)が小学校卒業後施設に入所し、すべて母親が面当を見ていた。母親はあまり兄の事を妹である私に話をしてくれなかった。しかし日一度の面会后、いつも涙を流していました。ですから詳しい事は何も分かりません。母の死後、私と同居し、虐待等はなく、穏やかに生活しております。

事例 248 不明 (中度)

現在 34 歳のダウン症の娘は、地域の普通学級(小学校)から、やはり普通学級(中学校)に通いました。小学校の時はさしたる問題はありませんでしたが、娘の独立心を育てようと、学校の送迎は一切しませんでした。教員は「あんなの母親じゃない」と言いました。中学 1 年の時、娘が入浴中、湯加減はどう?と覗いたところ、両上膊部に、真黒の痣が花が散ったようにありました。ひと眼で、つねられた跡でした。担任に言い、加害生徒が母親と謝りに来ました。それから気をつけていると、紺サージのベストの背中に、運動靴の泥の跡がついていました。幾つも。蹴り上げられたのでしょ、娘は教科書もノートも破られてゴミ箱に捨てられ、筆箱も捨てられます。その次に起こったのは、級の男女五-六人が、娘を取り押さえて制服の袖の中の字の入った釦をストーブで焼いて、娘の手に押しつけました。火傷は五箇所、すぐに担任と学校に抗議、娘は通院しました。そんな学校にはもう行かなくてもいいと娘にいいましたが、医者がある来なくてもいいよ、と言った翌日から娘はひとりで通学し、卒業しました。「やっちなえ」と女性とも面白かったといえます。学校長は見舞金を届け、手紙を寄越しましたが、火傷をさせた子の親は、謝罪し、謝罪金を支払って解決はしましたが、私たちの心の傷は、それから 20 年経っても拭えません。担任が級の子に文章を書かせ、子供たちの気持ちも分りました。

娘が彼らの言うことをきかなかつたり、生意気、他の学校へ行けといったものでした。同じように障害のある男の子の母は、毎日学校へ行って教室の外から見張っていました。私は一度も行っていません。娘は今でも荒々しい気持ちになって、紙に「ぶっ殺すぞ」と書いたりします。こうした被害を受けた場合、親が闘うしかなく、ひとに相談する気はまるでありませんでした。障害者を持ったために、親にも差別され、世間の冷やかな眼と扱いに打ちのめされてきたために、ひとは信じられない、という孤立した思いでした。私は今も、娘が級の子に押さえつけられて、焼けた金釦を手に押しつけられて苦しむ姿が浮んで、たまらない気持ちです。障害者を取り巻く社会が改善されることはないでしょう。私は悲愴な気持ちでいます。障害者虐待防止法など・・・信じられません。私は娘にやられたら、やり返せと教えました。自分の力で抗するほかに、どんな方法があるか。私は打ちのめされたままです。

事例 249 不明 (中度)

①主人が定年になってから、時に母に注意すると、その反動が娘に返ってきた ②家の中で、主人や私がいなくて ③言葉の虐待(いなしになる、首つりして死ぬ、その他いろいろ) ④娘の体調が悪くなってきたので ⑥通っている通所の先生、市役所、病院 ⑦母が亡くなり安定した ⑧今は安定しているが、ストレスや不安定な時はおこる(過呼吸、片腹痛) ⑨表向きは、とても娘をかわいがっていたのですが、その意図はどうしてか今だにはっきりとはわかりません。

事例 250 不明 (中度)

①本人は現在 43 才、小学校入学のお願いに行った後役所(町立なので)の方に差別された、本人を背中におぶって涙にくれた経験があるが小学校長の理解の元、健常者と共に 6 年間通った。子供同志のいじめには〇〇あい永久歯を 3 本折るけがもした、しかし姉(2 才違い)も同じ小学校なので、彼女の良きサポーターになった。中高は電車で通学した。その後もいじめ等はあったと思うが、本人は十分状況説明する事が出来ないで、見ざる聞かざるではないが、直接くわしい事はわからず過ぎて来た。現在は通所施設で頑張っているが、所内の先生になぐられた事があり、けがをした。理由は仕事ののるまに追われ、完全な(パーフェクトな)成果が出来ない子供に先生は腹を立て、なぐった様だ。その後本人は TEL で泣きながら先生が仕事に来なくてもいい、仕事もすると言われて泣きながらうたえてきた。その後、所長、本人、私と三者話し合ってたが、今思うとその時の事が本当に可愛相に思った。私自身気が弱いので、大げさにするのも大人げないと思ったので我慢しましたが、なぐられたけがを写真に取ってうたえたら良かったとも思った。その先生(指導員)は定年退職されましたが、今でも納得いかない気持ちです。つい 2ヶ月前、本人はお金の事、時間等充分理解出来ない子供なので 9 月に買った定期を使わず、たまたま古い定期を(6 月の)使って 4-5 日改札を通っていたらしく、ある駅員から定期をばっしゅうと言われた。そして紙に 15 万余の請求の数字がかかれた紙キレを持って帰宅。早速本人をつれて駅員に話し、お互理解はしたものの、不断から何かあったら連絡してほしい旨、バスや電車の改札の人にはお願いしてあるが、くやしい思いをたびたびしている。やさしい駅員の方、理解してくれる方も〇〇、本人がプレゼントした絵やコーヒーをもらった。絵は構内にはってあり、欠せて頂いたり、人によってはとても親切にして頂いている。やさしい人には本人もなついている。

事例 251 不明 (中度)

作業所の帰り、電車の中で右耳をぶたれた。少し血を出して帰宅した。本人の訴えでわかり、近医の耳鼻科を受診。経過を説明した。警察にも届けでた方がよいとアドバイスをしてもらい、警察に届出を出した。警察は事情聴取をしたが、「こういう場合は分らないことが多い。」と言われ、その後の連絡はない。

事例 252 不明 (中度)

問 3 の④の説明 娘は 47 才で、●●の施設に入所しましたが、県民性は大変だらかでのんびりした方が多く、虐待という様な話はあまり耳に致しませんでした。ただ、●●が都民の為に設置し、運営を●●の福祉法人が引受けた施設ですので、入所先も職員も〇〇が馴染む迄相当時間がかかり、初代園長は気苦勞の為発病退職されたり、自閉症の利用生の中には病院を変えた為、? が変り、体調が崩れ長期入院を

予儀なくされたり、？う〇〇法？長期帰宅されたりという事もあったそうです。我が子は読み書き出来ず、勘定も出来ないの、入所の際は〇〇棟でしたがコミュニケーションが取れるという事で、現在は自立訓練棟で6帖の個室を宛てがわれ、楽しく暮して居ります。職員は50人ですが、毎年数人の異動があり、人数が間に合は無い時は無資格の方も採られる様で、そんな方に会った場合は不適切な対応に悩まされる事になります。娘の場合、平成14、15年に入られた先生がバスガイドから転職された方らしいのですが、何の予備知識もなく、講習もなかったようで、アトピー性皮膚炎で体中傷ついているのを見て、引っ掻く方が悪いから医者には連れて行かないとか、部屋の鍵を失った時は自分の子は？だから部屋の物がなくなっても仕方ない等言はれた？、体臭の事については私から説明し、医療を〇〇いし鍵の事は自己責任という事で娘にもあきらめさせました。又、平成18年、19年担当の方は読み書きも出来ない娘に手紙を呉れても意味がないので寄越さないで欲しいと〇〇の方へ連絡が有りましたが、娘に聞きましたら、担当になった事のない先生でも読んで下さる先生は沢山居られるから大丈夫よという事で、黙って出しつづけてました。入園して13年にもなりますが、先生の中には母の日のカーネーション迄送らせて下さる方もおりますし、名〇〇の〇〇の枝、〇〇坊、●●●●等子供の名前で送って下さる方も有ります。一番有難いのは、あまり強制せず、あるがまま見守って下さる事で、作業時間は1日3時間、それ以外は自由時間という事で、娘は刺繍や刺し子に精を出し、それが公民館等のバザーで売れる様で、それが励みになって、生長をつづけて居ります。●●大あるきと言って帰れますので、もうすぐ85才となる身には思に残す事はありません。3年前から社会福祉司の方に後見人になって頂き、娘名義の通帳一切お預けして有り、〇〇佐〇〇の方ですので、月1回は面会に行っており、不審な事は直接？本人に話した方が解決は早いと思います。

事例 253 不明 (中度)

拝啓 突然、お手紙で失礼いたします。実態調査での問4のところ、直接ではないがお話を聞いた事があるというところで、私が知っている事が、本人が自分の意思で性的行為をしてお金をもらえる事に、親が心を痛めたという事です。①きっかけは、その時本人は14才~15才軽度の女の子だったと思います。遊びに行った●●で、男性に声をかけられ、ついて行き、ホテルへいったらしいのです。その時、親は帰りが早く気がつかず、その次日から夜になると親にかくれてこっそり外に朝方には家へ、何日かして持っていないはずのお金に、買ってあげた事のない物が部屋にいっぱいあったそうです。様子がおかしいと思い、親がこっそり本人のあとをついていくと、一晩で何人かの男性とホテルへ行き、お金を持ってでてきたそうです。その次日から親と一緒に夜を過ごす事にしたそうですが、スキをみて出て行って、親が捜しまわるとい事が何回か繰り返したそうです。その繰り返しよりは、●●から離れたらと相談して、●●の方に引越しをしたそうです。相談は親が担任、Dr.と離したそうです。②本人は年齢はわかりませんが、軽度の女性？女の子ですかね？あやふやですいません。児童館で遊んでいるうちに仲よくなり、相手の方も軽度の男性？男の子ですが、児童館のトイレで性的行為をしていたそうなんです。本人が妊娠してしまい、親があわてて相手の親とも話し合い、中絶をさせたのですが、その後本人は家出をして、親が捜してみつけた時はソープ嬢になっていたそうです。やっと見つけたので、説得して家にもどしたそうです。①は本人は性的行為をする事で気持ちよくなってお金をもらえるのに、ダメなのはなぜかと話してきたそうです。②は、いままでも何をしても喜んでもらえる事が少なかったのに、私がこの仕事で沢山の人が喜んでくれる、それでお金ももらえるのに、と話しをしてきたそうなんです。本人をとりかこむ人達は、不適切な対応+虐待されたと思っていると思うのですが、本人達はそう思っていないところに差があり、アンケート用紙のどこにあてはめたらいいかわからなくなったので、こういうかたちで書きました。勝手な書き方をして申し訳ございません。 敬具

事例 254 不明 (中度)

①学校、入学について ②学校 ③校長 ④先生が来るまで親が見て下さい、業務教育で有りながらどうしてか、疑問です。知的障害の有る子の親です。私の考えですが、障害が有ると可哀相と思い、子の言いなりになる親が多いです。親と子だけの場合で有ればよいのです

が、社会に出た時にそれは通用しません。小さい頃からやはり虐待とまでは言わないですが、やはりしつけはだいじです。

事例 255 不明 (中度)

いろいろの設問を読んでいくうちに、私の考えている不適切な対応とは、ちょっとあてはまらないと思い、わからないと回答しました。友だちとの間でいい争いをしたとかいうことでしたので、今は記憶に残っていないのです。ただ、当時はゆとりもなく、どのように育てたいのか、将来への不安がいっぱいで、被害者意識も多かった気がします。小児科の先生から保育園、特学、緑生園、就労と、ほんとうにたくさんの方々の手伝、手助けで現在に至り、これからどうなるかはわかりませんが、困った時はいろいろな所に相談を持ちかけて、助けていただこうと思っています。本人にも話をきいてみましたが、ないとの返事でした。親からすると、何かしらあるのではないかと思います。心の傷に残らないので、ないに等しいのではないかと思います。個人会員としてこうしていろいろな配布物があるので、また、同じような人たちとつながっているの、その時がきたらアドバイスをいただきたいので、よろしくお願いします。気持ちがわかるのは、やはり同じような体験をつんだ人たちなんだと思います。相談したい人、家族・障害のある子の親・コーディネーター・知的障害者相談人精度・体制・通報機関の設置

事例 256 不明 (中度)

中学校1年時、学校で同じクラスの生徒や先生に足でけられたり、引きずられたり、学生服に足跡がついていたり、ドロ、ホコリがついていたり、また、時にはアザがあったりした。先生に相談して、無くなった。どうして、かわいそうに、脱毛もあった。中一になって、特殊の関係で今までの学区と違う所へ通う様になった。指示を理解しにくく、動かなかった為に、起こった事だと思ふ。先生の、どうせこの子らは、という接し方、ほめるのではなく、ばとうすることは残念に思った。

事例 257 不明 (軽度)

小学校低学年の時まで、おねしょやトイレへ行けず、もらしてしまう事が多かった。子どもに対して、つい2、3回足でけとばしてしまった。おねしょは週に2、3回していたし、ひどい時は毎日だった。又、おしっこをもらして、スポンがぬれていても、何も言わず、恥しい思いを何度もした。なんで何回言ってもわからないのか？もらしてしまった事はしかたない。もらしたらもらしたと言いなさい。すぐにズボンをはきかえなさい。そんな事ができない我が子にイライラしていたと思います。けとばしてしまった我が子は横になり、頭をかかえて丸くなっており、その姿を見た時、なんて事をしてしまったのだろうとハッとしました。失敗してしまうのは障害と何か関係があるかもしれない。数日後、医者へ連れて行きました。針治療をしてもらい、半年程でおねしょは治りました。なんでもっと早く医者へ連れていかなかったのか、まわりの人はそのうち治るわよと言ってくれますが、子どもを守るのはやはり親です。一番つらいのは本人です。けとばしても何も変わりません。あの時の子どもの姿は、私の心から消える事はありません。でも前を向いて進んでいきます。

事例 258 不明 (軽度)

4才~6才 保育園に行っているころ、園内での同学年の子供数人に、言葉の暴力や身体暴力をうけた。目の前でやられるのを見た。その子の親に言ったのだが、ぎゃくにもんくを言われた。園の先生にも相談などしたのだが、手が回らないようだった。本人は、その子達の言うことを聞かなかったことで、イジメが始まった。解決しないまま、卒園までつづいた。イジメではないと言って、その子の親もしらない顔をしていた。その子自身にも問題のあるのがわかり、家庭の問題などをかかえて、それによるストレスで、自分より弱い子供にそのストレスをぶつけていたようだ。10才~12才 小学校で学校内や登下校で、同級生や年上の子達に、言葉の暴力や、身体的な暴力をうけた。本人の体にあざがあり、本人に聞いたところ、話をしてくれた。先生に相談をしたのだが、それはイジメではないと言われた。解決はしていないが、卒業するまで続いた。イジメをした子に聞いてもイジメではないと言って、その子の親もしらない顔をしていた。その子自身にも問題のあるのがわかり、家庭の問題などをかかえて、それによる

ストレスで、自分より弱い子供にそのストレスをぶつけていたようだ。

事例 259 不明（中度）

①本人の就学後～現在（下の子が生まれてから） ②家庭 ③父親 ④障害をバカにするようなことば”おまえは生きてる価値ない・・・”など、ののしる、髪をひっぱったり、たたく、けるなど ⑤家族の目の前でおこるので、かばうと私に攻撃してくる ⑥自分（母）の親、カウンセラー ⑦障害者本人が成長したので、回数や程度はずい分へったと思うが、時折理不尽な言動がまだある。私（母）が守りに入ると、よけい逆上するので、他の兄弟たちが止める ⑧母子で家を出たりしたこともあったが、本人も自分が悪いことはわかっているがあやまれず、なんとなくやむやに……。でも、障害者本人はずい分キズついてきた様子。→兄弟たちも、本人の現在のメンタルな部分が強く影響していると思う。 ⑨父親自身が自分のことでいっぱいというかんじで、どうにもならず、どうしていいかわからない。本当は父親の両親に間に入れてもらいたいのに、この両親は息子の悪いところを信じようとしなない。 ⑩小・中学校のころ、娘（障害者本人）もずい分不安定で、手にあまったのは確か。私ももちろんストレスがたまるのに、主人がこの状態では、一緒に考えてくれる人がいなくてつらかった。

事例 260 不明（軽度）

中学卒業してある会社での出来事です。お金は毎日ゆすられていました。最初は私も分からなかったのですが、お金が1万ずつ少なくなり4万取られました。それから作業衣のズボンのチャックの所に男性のシンボルをマジックで書かれていました。それはその日のうちに洗濯をする時にわかりました。でもつらい事を一度も言わずにおり、可愛そうな事をしたと思いました。それから家族父母兄二人と子供と5人で会社に行ってその人を呼び出して話をしました。お金を取った人は息子の下級生でしたので親にも学校にも言わずこれから家の子供だけではなくほかの人にもしてはいけない事を約束させました。悪い人達ばかりではなくとも親切な人もおり、私達家族は感謝して居ります。今は作業所で楽しく先生方もとても言い人達なので感謝して居ります。本人は父親が亡くなりましたので働きたいと思って居りますが、私はあの思いをするのが頭をかすめます。